

事業評価結果(評価No.1~203)

No.1	事務事業名	広聴広報事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	市長への手紙を受付・回答することにより、市政に対する皆さんの率直なご意見、ご提言をいただく。 infoメール(北杜市総合お問い合わせメール)の受付・回答により、手軽にお問い合わせいただく。 広報紙を作成し、月1回(毎月1日、18,700部)発行することにより、市の主要施策、事業やイベントなどの周知を行う。			市長への手紙は、本来の目的である市政への提言・意見という趣旨が薄れ、苦情の利用が多いため、制度のあり方を検討する必要があります。 infoメールは、回答までの時間も短く、有効に機能しています。 広報紙では、求められるニーズを把握し、市民の方が必要としている情報を提供していきます。	
指標に係る評価					
事業費	18,254千円	活動指標	市長への手紙	達成率	市長への手紙を、年間297受付・回答しました。 infoメールを、年間 件受付・回答しました。 広報紙を月1回(毎月1日、18,700部)発行しました。
			目標	253	
			実績	297	
			単位	件	A
担当課	北杜未来部秘書広報課	成果指標	アンケート①市の広報や公開情報を見聞していますか	達成率	広報・情報発信の充実により、多くの方に本市の魅力について興味を持っていただくため、北杜市魅力発信委員会を設置し、情報発信の方向性及び方法、内容について、ご意見をいただいた。R4年は委員会を年3回開催し、委員の皆様からは、広聴広報の内容について一定の評価をいただくとともに、課題も挙げられた。
			目標	42.0	
			実績	50.0	
			単位	%	B

No.2	事務事業名	ホームページ等による情報提供事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	魅力発信委員(職員等)のHP編集SHIRASAGIの操作研修を行い、広く市の情報等を発信できる体制をつくる他、保守業者と連携し保守体制の充実を図る。			ホームページ記事について、庁内魅力発信委員にイベント終了期限の設定にいただくため、北杜市魅力発信委員会を設置し、情報発信の方向性及び方法、内容について、ご意見をいただいた。R4年は委員会を年3回開催し、委員の皆様からは、広聴広報の内容について一定の評価をいただくとともに、課題も挙げられた。	
指標に係る評価					
事業費	4,257千円	活動指標	庁内魅力発信委員研修	達成率	庁内魅力発信委員研修を4月行い、各担当課で記事を更新し新しい情報をHP閲覧者に発信する。 事業終了年月が設定されず、事業終了後も掲載される事例があったため回覧で周知し改善を求めた。
			目標	1	
			実績	1	
			単位	回	A
担当課	北杜未来部秘書広報課	成果指標	アクセス数	達成率	ホームページビュー数は、前年の4,958,535件から4,496,086件へ9.33%減。
			目標	4,958,535	
			実績	4,496,086	
			単位	件	A

No.3	事務事業名	ケーブルテレビ事業		評価に対する今後の方向性	④方法改善
事業内容	北杜市の情報を提供し、いきいきとした市の姿を伝えることで市民の一体感を育てる。 週刊ほくとニュースを、月～金2回(19:30、22:30)、土日4回(7:30、12:30、19:30、22:30)放送する。			引き続き「週刊ほくとニュース」の周知活動を行なうとともに、多くの市民ニーズに応えるために様々な内容のニュースを放送していく必要がある。	
指標に係る評価					
事業費	27,729千円	活動指標	週刊ほくとニュースの放送回数	達成率	平成29年度に実施した番組アンケート結果で朝～昼の視聴者が少ないため平日は19時30分と22時30分の2回放送に変更。視聴者の声を聞きより良い番組作りを心がけた。また令和4年度からは月曜～日曜日まで毎日19時30分と22時30分の2回放送を検討。
			目標	18	
			実績	18	
			単位	回	A
担当課	北杜未来部秘書広報課	成果指標	アンケート①市の広報や公開情報を見聞していますか	達成率	令和3年度導入のLINEや既存のYouTubeでいつでも北杜市CATVニュースを視聴できる状況になっている。
			目標	42	
			実績	50	
			単位	%	B

事業評価結果(評価No.1~203)

No.4	事務事業名	一般管理事業			評価に対する今後の方向性	⑦縮小・方法改善
事業内容	市政運営に関し専門的な知見・経験を有する国際・観光戦略官の設置など				観光や教育面など姉妹都市との新たな交流が期待され、輸出に関してもアジア圏への市特産品のセールス拡大や、インバウンド観光の推進につなげていきます。	指標に係る評価
事業費	5,409千円	活動指標	国際・観光戦略官の設置	達成率	豊富な専門的知識・経験を有する人材に委嘱。	
			目標	1		A
			実績	1		
			単位	人		
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	姉妹都市交流の再開	達成率	姉妹都市との交流が再開され、また市特産品の輸出拡大にあたり関係機関との協定を締結しました。	
			目標	2		A
			実績	2		
			単位	回		

No.5	事務事業名	地域力創造アドバイザー事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	各課で抱える課題等の解決に向け、アドバイザーによる相談会を開催(年2回) 第1回 令和4年7月20日・21日 第2回 令和5年1月24日・25日				多様化、複雑化する市民ニーズへの対応、新たな課題への対応や継続事業の改善等を鑑み、現状を維持していくことが必要と考えます。	指標に係る評価
事業費	519千円	活動指標	地域力創造アドバイザーへの相談件数	達成率	各課等から新規事業、継続事業についての相談が行われました。	
			目標	8		A
			実績	8		
			単位	件		
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	アドバイスにより改善等が図られた件数	達成率	市が抱える様々な課題について、専門的なアドバイスをいただき改善が図られました。	
			目標	8		A
			実績	8		
			単位	件		

No.6	事務事業名	ハケ岳スケートセンター周辺地域活性化協議会運営事業			評価に対する今後の方向性	⑨休廃止・終期設定
事業内容	活性化策を検討するための組織として、「ハケ岳スケートセンター周辺地域活性化協議会」を設置し、地域、関係団体・企業、学識経験者、教育機関、県等の関係者等、様々な立場からの御意見を伺いながら、活性化構想について協議する。				令和4年度で活性化構想の策定が完了し、令和5年度以降については、観光課において構想の推進を行うことから、令和4年度をもって本協議会は廃止します。	指標に係る評価
事業費	210千円	活動指標	協議会開催回数	達成率	3回の協議会、2回のワーキンググループを開催し、活性化構想について協議を進めることができました。	
			目標	3		A
			実績	3		
			単位	回		
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	活性化構想の策定	達成率	地域や関係事業者・団体等の委員のコンセンサスを得る中で、小淵沢エリアの活性化構想を取りまとめることができました。	
			目標	1		A
			実績	1		
			単位	式		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.7	事務事業名	政策調査事業			評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続	
事業内容	地域の諸課題や社会情勢の現状を的確に把握するための各種調査を実施する。				主要施策の検討における基礎調査がスムーズに実施でき、迅速な検討が可能となりましたが、予算規模については市政の状況を考慮しながら再度検討が必要と考えられます。		
					指標に係る評価		
事業費	639千円	活動指標	各種調査の実施		達成率	施策検討に必要な現状把握や施策の将来像の作成など調査等を円滑に行うことができました。	
			目標	3			A
			実績	3			
単位	件						
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	政策検討時の基礎資料となった件数		達成率	調査等の成果を施策検討時の基礎資料として活用し、事業化に向けた効果的な検討を行うことができました。	
			目標	3			A
			実績	3			
単位	件						

No.8	事務事業名	行政改革推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進体制 行政改革推進本部を中心に行政改革に係る重要事項や組織横断的な課題等の検討を行う。また、チェック機能として、有識者等から構成される行政改革推進委員会に進捗等を報告するとともに、専門的知見や市民目線からの提言・評価を踏まえ、必要な見直し、改善等を図る。</li> <li>・進行管理 取組を着実に推進するため、具体的な活動目標を設定したアクションプランに基づき、適切な進捗管理を行うとともに、市民、議会への公表を行う。</li> <li>・情報共有 行政改革の取組を市民とともに一体となって進めていくため、様々な媒体を通じて市財政の状況等を発信する。</li> </ul>				当該年度の検証を行い、次年度以降、更に改善を図る中で目標達成に向けた取組を進めていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	285千円	活動指標	北杜市行政改革推進委員会の開催回数		達成率	有識者等で構成する北杜市行政改革推進委員会を開催し、アクションプランの内容を審議いただき、当初の予定のとおり策定しました。	
			目標	2			A
			実績	2			
単位	回						
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	取組項目における達成状況		達成率	69の取組項目数に対し、48項目、約70%の達成状況であります。	
			目標	69			B
			実績	48			
単位	項目						

No.9	事務事業名	公共施設等総合管理計画推進事業			評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続	
事業内容	公共施設等総合管理計画に基づき、施設ごとの適正な配置と財政規模に応じた対策費用の平準化を実践していくための基本方針や方向性、年次計画を定める個別施設計画を策定し、業務サイクル(PDCAサイクル)を構築する中で計画の進捗状況を着実に進める。				個別施設計画に基づき、毎年、業務サイクル(PDCAサイクル)によりフォローアップを行っていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	6,907千円	活動指標	北杜市公共施設等総合管理計画推進本部会議の開催		達成率	個別施設計画の策定に当たり、当初予定したとおり推進本部会議を開催しました。	
			目標	4			A
			実績	4			
単位	回						
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	計画の評価に基づく達成状況		達成率	令和4年度、令和5年度に個別施設計画を策定するため、達成状況の確認は令和6年度以降となります。	
			目標	80			/
			実績				
単位	%						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.10	事務事業名	未来創造オープンカレッジ事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	産業(ヘルスケア、IT、アウトドア、食品、農業等)、芸術・文化、子育て、教育、環境など、本市の活力ある未来を創るうえで必要な各分野に係る対談及び講演会を開催。				講師の理解を得る中で、YouTubeライブ配信を実施することで、視聴者の増加を図っていききたい。 また、講師料を安価で実施してもらっていたのですが、対価はしっかり支払うことで、事業が継続できると感じております。	指標に係る評価	
					指標に係る評価		
事業費	162千円	活動指標	セミナー開催回数		達成率	新型コロナウイルス感染拡大防止により、セミナー等の開催数が計画通りに開催できなかったため。	
			目標	5			B
			実績	2			
単位	回						
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	イベント等の参加人数		達成率	新型コロナウイルス感染拡大防止により、セミナー等への参加人数を集客することができなかった。	
			目標	1,000			B
			実績	246			
単位	人						

No.11	事務事業名	テレワーク普及促進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の管理運営。</li> <li>コミュニティマネージャーによる企業・個人利用者同士の交流や地域住民及び地元事業者との交流を推進。</li> <li>地域コミュニティの創出や地域の定着を促進。</li> <li>イベント、教室など開催による利用者増を図る。</li> </ul>				イベント、教室等を開催することにより、コワーキングスペースを知ってもらうことはもちろん、北杜市内の企業や個人事業主にも周知及び情報発信を実施することで、利用者の増加を図っていききたい。	指標に係る評価	
					指標に係る評価		
事業費	3,194千円	活動指標	イベント、教室開催件数		達成率	施設利用の促進をするため、県内外の企業等に周知及び情報発信を実施した。	
			目標	11			B
			実績	10			
単位	件						
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	コワーキングスペース施設利用者人数		達成率	イベント、教室等を開催することにより施設利用者の増を図ることができた。	
			目標	400			B
			実績	721			
単位	人						

No.12	事務事業名	情報化推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	ログミーツ(議事録システム)導入し、職員の議事録作成業務の軽減を図った。専用端末及び専用マイクを購入し本庁、各総合支所(8支所)、包括支援センター、ネウボラ推進課、上下水道センターへ配布し運用を行っている。				現在は100時間/月の契約を行っており、目標及び現在の利用時間から現状維持で実施していく。	指標に係る評価	
					指標に係る評価		
事業費	1,161千円	活動指標	ログミーツ(議事録システム)の使用時間		達成率	利用時間の目的に対し十分な利用があった。また、業務に対する時間の削減が行えた。	
			目標	90			A
			実績	113			
単位	時間						
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	職員の議事録作成時間の短縮		達成率	職員の議事録作成に係る業務時間の削減に効果があった。実際に利用した者に対しヒアリングを行い効果検証を行った。	
			目標	30			A
			実績	30			
単位	%						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.13	事務事業名	産官学連携事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	連携協定を締結している大学等と協働して地域活性化事業等に取り組む。 山梨大学:アートマネジメント講座 東京藝術大学:生涯学習講座 北杜高校:地域に根ざした人材育成 日本体育大学:体育分野における相互振興 山梨学院大学:地域活性化と山梨学院大学の教育研究推進の連携協定 株式会社LIFULL:二拠点居住、移住定住促進の連携協定 株式会社スリサンロード:市民が健康的で安心して暮らせる社会の実現に向け相互に連携し市民サービスの向上を図るための協定 JETROやまなし:北杜市における企業等の海外展開を通じて地域経済の活性化を図るための協定			包括連携の締結をしたことによって、お互いの課題解決に向け、協議を重ねながら取り組み、魅力あるまちづくりを推進していく。			
				指標に係る評価			
事業費	17千円	活動指標	地域活性化事業数		達成率	各大学・企業との連携協定のもと、地域課題解決のため、相互に協力しながら地域活性化に取り組んでいます。	
			目標	1			A
			実績	17			
単位	事業						
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	施策提言数		達成率	各大学・企業が、本市をフィールドとして、地域活性化策に取り組んでくれています。また、大学教授のセミナー開催など実施することで、シビックプライドの醸成に取り組んでいます。	
			目標	0			A
			実績	0			
単位	施策						

No.14	事務事業名	国際交流事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	米国ケンタッキー州マディソン郡 10月派遣 事前学習会 計3回開催			今後グローバル化が進み、更なる国際感覚の醸成が必要であることが見込まれることから、国際交流の推進は必要です。			
				指標に係る評価			
事業費	8,294千円	活動指標	マディソン郡中学生ホームステイの派遣・受入人数		達成率	コロナ感染拡大により、マディソン郡側米国市民受入れの実施ができなかったが、コロナ行動制限の緩和により米国ケンタッキー州マディソン郡の訪問については実施した。	
			目標	12			B
			実績	0			
単位	人						
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	中学生ホームステイ派遣者の満足度		達成率	コロナ感染拡大により、マディソン郡側米国市民及び中学生の受入れ事業が実施できなかったため。	
			目標	80			C
			実績	0			
単位	パーセント						

No.15	事務事業名	姉妹・友好都市国内交流事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	姉妹都市:新潟県上越市、東京都羽村市 友好都市:静岡県袋井市、東京都東東京市、荒川区、新宿区、東村山市 北杜市と7自治体間において、行政組織の交流に加え、各イベント等への参加などの幅広い交流活動を行う。			本事業は、継続により定着し、効果が図れます。また、近年は災害発生時に姉妹・友好都市が相互協力するなど、交流事業の取組みが多角化しています。このような背景から、事業継続が必要である。			
				指標に係る評価			
事業費	133千円	活動指標	姉妹・友好都市の参加・受入イベント数		達成率	新型コロナウイルス感染拡大防止により羽村市・袋井市のイベント以外、全て事業中止。	
			目標	25			C
			実績	3			
単位	人						
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	姉妹・友好都市の交流人数		達成率	新型コロナウイルス感染拡大防止により羽村市・袋井市のイベント以外、全て事業中止。	
			目標	400			C
			実績	13			
単位	人						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.16	事務事業名	企業誘致・立地活動推進事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で新たに設備投資を行う企業に対し、固定資産税の課税免除措置を講ずる。</li> <li>・企業立地、企業投資を実施する際の手続き等について、企業負担の軽減を図るために支援する。</li> <li>・企業動向や事業用地などについて、情報の取得や発信に努める。</li> <li>・産業立地事業費助成金交付要綱により、県の補助制度と併せて市内に立地した企業へ助成する。</li> </ul>				本市においても工業団地を整備したいとは考えているが、計画及び整備に数年経過することが予想されるため、アンテナを高くし、企業誘致したい企業が、本市においてスムーズに交渉できるように努める。	
					指標に係る評価	
事業費	1,305千円	活動指標	指定事業所の件数		達成率	企業ニーズに適合する立地用地の情報をできるだけ早く提供できるよう情報収集を積極的に行った。
			目標	1		
			実績	1		
		単位		件		
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	/		達成率	目標の企業件数の誘致を図ることが出来た。また、税の優遇を図るよう指導した。
			目標	/		
			実績	/		
		単位		/		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.17	事務事業名	共生ビジョン懇談会開催事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	北杜市(7人)、富士見町(7人)、原村(6人)の各分野の関係者を委員として任命し、ハケ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催し、事業の進捗状況等について意見交換を行う。			今後もビジョンの推進を図るため、懇談会を開催し、事業の進捗状況の把握、共生ビジョンの変更など協議を行います。	
指標に係る評価					
事業費	74千円	活動指標	共生ビジョン懇談会開催数	達成率	※山梨県観光入込客統計調査の結果公表待ちのため、評価できません。
			目標	2	
			実績	1	
			単位	回	
担当課	企画部企画課	成果指標	KPI達成事業数	達成率	※山梨県観光入込客統計調査の結果公表待ちのため、評価できません。
			目標	-	
			実績	-	
			単位	事業	

No.18	事務事業名	ほくと子ども育成戦略会議開催事業		評価に対する今後の方向性	⑨休廃止・終期設定
事業内容	市民、子育て支援関係者、学識経験者など19名で構成する委員会を3回開催し、諸課題を検討する。			令和4年度は、子育て支援施設の在り方などに関して検討を行いました。少子化対策、移住定住に関する事など、市を取り巻く諸課題に対する検討、意見は令和3年度に取りまとめを行い、第3次北杜市総合計画策定時に市へ提言を行いました。このことにより、本事業の目的は概ね達成されたため、令和4年度をもって廃止しました。	
指標に係る評価					
事業費	87千円	活動指標	会議の開催回数	達成率	予定回数より少ない開催でありましたが、意見交換や検討がスムーズに行われ、意見の取りまとめができました。また、取りまとめた意見は所管課へ提出をしました。
			目標	3	
			実績	2	
			単位	回	
担当課	企画部企画課	成果指標	年少人口(0-14歳)の社会増減	達成率	子育て支援施設をテーマに検討を行い、子育て世代、移住・関係人口の増加等に関する意見を取りまとめました。目標値には達しませんが、年少人口の社会増減は順調に増加しています。
			目標	240	
			実績	86	
			単位	人/年	

No.19	事務事業名	市民バス運行事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市内を4つのエリア(明野・須玉エリア、高根・長坂・大泉エリア、小淵沢エリア、白州・武川エリア)に区分し、エリアを結ぶ幹線の路線バスとエリア内の支線(デマンドバス、明野・須玉エリアは小型路線バス)による運行を、交通事業者に委託して行う。			人口は減少するものの、交通不便者の数は増加することが見込まれることから、公共交通としての市民バスの需要は高まるため、これを維持していく必要があります。引き続き、公共交通のあり方について、エリアごとに評価・検証し、市全体の公共交通として最適なものにしていきます。	
指標に係る評価					
事業費	139,809千円	活動指標	幹線の路線数	達成率	地域による議論を深め、地域の特性にあったエリアごとの支線を運行し、4つのエリア(生活圏)を有機的につなげるため、幹線を整備して一定の運行頻度を確保することにより、地域交通ネットワークを構築し、地域間移動の利便性を高めています。
			目標	8	
			実績	8	
			単位	路線	
担当課	企画部企画課	成果指標	幹線の利用者数	達成率	幹線、支線ともに利用者数は増加しており、エリアをまたぐ移動を担う幹線とエリア内の移動を担う支線の組み合わせは成果を上げています。路線ごとの利用者数や1乗車当たりの運行経費等を評価・検証し、利用者数が増加するよう検証していきます。
			目標	68,700	
			実績	73,253	
			単位	人	

事業評価結果(評価No.1~203)

No.20	事務事業名	廃止代替バス路線運行委託		評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	<p>葦崎市と共同で廃止代替バスの運行を交通事業者に委託し、市民の日常生活を営むために必要な交通手段を維持する。</p>			<p>市民の日常生活の移動手段として必要な公共交通であるため、廃止代替バス路線は維持していきます。今後、北杜市地域公共交通計画に基づき、利用促進による利用者の維持・増加を図るとともに、幹線の市民バスを含めた最適化に向けて、地域でのあり方の検討を進めます。</p>									
指標に係る評価													
事業費	21,501千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>廃止代替バス運行距離</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>キロメートル</td> </tr> </table>	廃止代替バス運行距離	達成率	目標	12	実績	12	単位	キロメートル	A	<p>民間のバス路線廃止前の路線を維持し、市民が日常生活を営むために必要な代替の交通手段を確保しました。</p>
廃止代替バス運行距離	達成率												
目標	12												
実績	12												
単位	キロメートル												
担当課	企画部企画課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>利用者数</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>4,900</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5,623</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>人</td> </tr> </table>	利用者数	達成率	目標	4,900	実績	5,623	単位	人	A	<p>乗車人数、1人当たりの公費負担額ともに目標値を達成する成果を得ることができました。</p>
利用者数	達成率												
目標	4,900												
実績	5,623												
単位	人												

No.21	事務事業名	地域委員会運営事業		評価に対する今後の方向性	⑦縮小・方法改善								
事業内容	<p>各町に地域委員会委員(124名)を任命し、各地域委員会の代表者で組織する地域委員会連絡協議会を開催する。また、地域委員会委員に対し、市議会の定例会閉会後に市政報告を行う。</p>			<p>地域委員会連絡協議会を開催し、コロナ禍での事業実施の方法などについて情報交換や検討を行い、地域委員会予算使途提案事業の全事業実施を目指します。一方、合併から17年が経過しており、地域委員会の在り方の検討、地域委員会予算使途提案事業の内容等の見直しを行います。</p>									
指標に係る評価													
事業費	5,002千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>地域委員会連絡協議会開催回数</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>回</td> </tr> </table>	地域委員会連絡協議会開催回数	達成率	目標	2	実績	2	単位	回	A	<p>各町地域委員会正副会長による地域委員会連絡協議会を開催し、地域づくりの課題解決のため、情報交換を行いました。</p>
地域委員会連絡協議会開催回数	達成率												
目標	2												
実績	2												
単位	回												
担当課	企画部企画課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>地域委員会予算使途提案事業の実施割合</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>84.6</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>%</td> </tr> </table>	地域委員会予算使途提案事業の実施割合	達成率	目標	100	実績	84.6	単位	%	B	<p>ウィズコロナにて各事業を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となった事業が出たため、達成できませんでした。</p>
地域委員会予算使途提案事業の実施割合	達成率												
目標	100												
実績	84.6												
単位	%												



事業評価結果(評価No.1~203)

No.22	事務事業名	シティプロモーション推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	首都圏を中心に北杜市の知名度を高めるためのプロモーション活動を行う。				移住希望者、関係人口に対し、市の魅力発信を行うため、継続して対面での相談機会を設け、また、SNS等による北杜市の魅力を発信するを行う必要があります。令和5年度において、相談会で移住に関するアンケートによる調査等を行います。	
指標に係る評価						
事業費	2,438千円	活動指標	相談会開催数		達成率	A
			目標	30		
			実績	33		
		単位		日		
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	15~49歳の転入者数		達成率	C
			目標	720		
			実績	201		
		単位		人		

No.23	事務事業名	移住定住ガイドブック作成事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	移住定住ガイドブックを作成し、トップセールス及び移住相談会において配布したり、公共施設の窓口等に設置したりする。				本市で生活することの不安を解消するため、必要な各種支援制度などを網羅したガイドブックを作成し、継続的にPRすることは必要であります。	
指標に係る評価						
事業費	1,098千円	活動指標	作成数		達成率	A
			目標	3,000		
			実績	3,000		
		単位		部		
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	配布数		達成率	B
			目標	3,000		
			実績	1,746		
		単位		部		

No.24	事務事業名	田舎体験ツアー開催事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	農業、グルメ、しごと、子育て及び住まい等を体験してもらうことや施設を見学することのほか、先輩移住者との交流会を開催する。				移住を後押しするため、引き続き本市の魅力を知って、体験していただく機会を提供することは必要であります。	
指標に係る評価						
事業費	589千円	活動指標	開催数		達成率	B
			目標	2		
			実績	2		
		単位		回		
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	移住相談件数(全体)		達成率	B
			目標	693		
			実績	492		
		単位		件		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.25	事務事業名	移住定住相談推進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	・移住定住相談員を設置し、相談員が各種相談会及びセミナーに参加する。 ・ふるさと帰郷支援センター等に開設する移住定住臨時相談所に、地域おこし協力隊、移住定住相談員及び職員がオンラインや対面で、移住定住に関する情報を提供する。 ・住居、空き家バンク等の移住定住に関する相談に対応するため、移住定住相談窓口において情報の提供及び発信を行う。				移住定住を促進する上で、移住定住希望者が求める様々な情報提供やニーズに対応し、移住定住を円滑に進める体制を構築する必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	8,693千円	活動指標	空き家物件登録数		達成率	B	コロナ禍の混乱が落ち着きを取り戻してきているため、空き家の利活用の問い合わせ、成立がコロナ禍前に戻っています。
			目標	35			
			実績	31			
			単位	件			
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	移住相談件数		達成率	B	コロナ禍を契機に地方移住への関心は高い状態です。
			目標	693			
			実績	492			
			単位	件			
No.26	事務事業名	ふるさと納税推進事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実	
事業内容	ふるさと納税パンフレットの作成、配布及び寄附者へ返礼品を送付することにより、本市の魅力を外にPRし、寄附者の獲得を図る。また、「企業版ふるさと納税制度」を積極的に活用していくため周知活動を行う。				ふるさと納税業務の一部について外部委託を行い、事務処理の効率化を整備してきた。その結果、新たな地場産品創出に向けた業務に取り組むことができた。引き続き、同体制を維持していくなかで、「ガバメントクラウドファンディング」の積極的な活用と「企業版ふるさと納税」を推進するために、各企業への働きかけなど事業の拡充に努める。		
					指標に係る評価		
事業費	721,907千円	活動指標	ふるさと納税事業者説明会実施数		達成率	A	ふるさと納税制度の趣旨と参画するメリットに一定の理解を得られた。
			目標	2			
			実績	2			
			単位	回			
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	寄附件数		達成率	A	北社ファン獲得に想定以上の成果を上げた。
			目標	16,000			
			実績	51,863			
			単位	件			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.27	事務事業名	交通災害共済事業			評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続	
事業内容	●加入申込書を郵送 前年度加入世帯+新規転入世帯:約4,700世帯  ●情報の周知 ケーブルテレビ:1回 市広報誌:1回				山梨県総合事務組合が実施主体となり県内市町村が共同利用している事業であります。山梨県総合事務組合から事務費が交付されるが、当市も一般財源を投入しており、年々加入者数が減少している現状を踏まえると、事業継続の是非について検討する必要があります。		
	指標に係る評価						
事業費	706千円	活動指標	ケーブルテレビを利用した情報の周知		達成率	ケーブルテレビや市の広報誌等を利用し、市民に対し情報の周知を図りました。	
			目標	1			A
			実績	1			
単位	回						
担当課	総務部総務課	成果指標	加入者数		達成率	市の総人口の約17%が交通災害共済に加入している状況であるが、同様の制度を利用している近隣市町と比較すると加入率は低い。ケーブルテレビ等の広報活動を行っているが、加入率は年々減少しています。	
			目標	9,218			C
			実績	7,864			
単位	人						

No.28	事務事業名	行政区運営事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	区長報酬、行政事務取扱い交付金、区長研修会の補助等により円滑な区の運営及び活動を促すほか、行政区への加入促進を図り地域の活性化、自治会活動保険加入により安心して地域活動が行えるよう支援する。 持続可能な行政区運営ができるよう、各地域において時代の変化に対応するよう変革する必要性があることを説き、またそれを支援する。				引続き行政と行政区の良好な関係を維持し、連携を円滑にいく必要があります。 行政区への加入率についても、根気強く地域コミュニティの重要性を理解してもらい、加入促進を図っていく必要があります。 行政区においても、新規転入者及び未加入者が区に加入しやすいような環境を整えるよう変革をしていく必要があります。		
	指標に係る評価						
事業費	35,413千円	活動指標	各町の区長会実施回数		達成率	行政区長会を開催し、行政からの依頼や行政区からの要望、取組み等を吸上げ連携を図りました。コロナ禍により、開催回数を最小限としました。 転入窓口において、全転入者を対象に行政区の案内及び加入促進を図りました 行政区の運営や新規加入促進を支援するために、行政区長に配布する「行政区ハンドブック」作成しました。	
			目標	2			B
			実績	1			
単位	回						
担当課	総務部総務課	成果指標	行政区加入率		達成率	転入者に対し行政区の意義について説明し、加入の促進を図った。行政区加入率は低下幅は縮まったものの依然低下傾向にあり、引続き地域コミュニティの役割について理解を求めていく必要があります。	
			目標	70.0			B
			実績	68.1			
単位	%						

No.29	事務事業名	消費生活研究会育成事業			評価に対する今後の方向性	⑨休廃止・終期設定	
事業内容	消費生活知識を啓蒙するため、北杜市消費生活研究会へ市民を対象にした消費者知識の普及・啓発業務を委託し、市民の消費生活上及び研究会員の資質向上を図る。				この事業を継続してきたことにより、啓発環境の下地は整ってきています。 今後は消費者知識の普及・啓発業務は消費生活研究会に委託せず事業を廃止するが、これらの活動は研究会が基本活動の一環として引続き行っていくよう、行政が支援します。		
	指標に係る評価						
事業費	130千円	活動指標	研究会員研修会		達成率	研修会等により会員の消費生活に関する知識を高めるとともに、環境イベント等に参加し、リーフレット等を配布することによって、市民の消費生活に対する意識の普及・啓発に努めています。	
			目標	1			A
			実績	1			
単位	回						
担当課	総務部総務課	成果指標			達成率	消費生活に対する市民の意識が高まることによって、市民生活が向上したかどうかは、成果として把握することが難しく、指標として表すことが困難であります。	
			目標				
			実績				
単位							

事業評価結果(評価No.1~203)

No.30	事務事業名	消費者行政相談事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	消費生活相談窓口を毎週木曜日に開設し、国家資格を有する相談員を配置。消費知識の普及啓発を目的に、広報紙への注意喚起の記事の掲載や、リーフレット等の配布。				市民からの相談は消費生活が行われている限り一定数あるため、現状の消費生活相談体制を維持する必要があります。	
指標に係る評価						
事業費	4,036千円	活動指標	消費生活相談窓口の開設	達成率	消費生活相談員を配置し、消費生活相談窓口を週1回開設しました。	
			目標	A		
			実績			
			単位			
担当課	総務部総務課	成果指標		達成率	相談窓口を開設することで救われた消費者はいる一方で、近年特殊詐欺等が多様化・巧妙化するなかで消費者問題は絶えず、成果指標を表すことは困難です。	
			目標			
			実績			
			単位			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.31	事務事業名	職員研修事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	北杜市人材育成基本方針に基づき、山梨県市町村職員研修所等で開催される研修を計画的かつ積極的、有効的に活用する。また、市独自の研修会を実施する。				多様化、複雑化する市民ニーズへの対応のため、職員の資質向上や能力開発を効果的に行っていく必要があると考えます。		
					指標に係る評価		
事業費	4,773千円	活動指標	研修受講者数		達成率	新型コロナウイルス感染症の拡大により研修の中止や集合研修の実施が減少しました。	
			目標	1,000			B
			実績	998			
			単位	人			
担当課	総務部人事課	成果指標	職員研修受講率		達成率	当初予定していた受講予定者が、市町村職員研修所の新型コロナウイルス感染症対策による定員減により、推薦しても受講できない者が続いておりますが、抽選により参加できなかった者を除くと、受講率は改善しました。	
			目標	100			B
			実績	67.2			
			単位	%			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.32	事務事業名	消防団員活動推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	消防団員に報酬や出勤手当を支給するとともに、公務災害補償や福祉共済への加入、退職報償金の支給などを通じて活動を支援する。				地域防災力の中核を担う組織として、今後も団員確保に努めるとともに、団員活動を支援していきます。	
指標に係る評価						
事業費	73,086千円	活動指標	出勤人数(延べ)	達成率	火災・台風等の災害出動、火災予防などの啓発活動、ポンプ操法や中継送水などの訓練を実施しています。	A
			目標			
			実績	4,918		
			単位	人		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	消防団員	達成率	平時から消防団員の確保に努めていますが、少子化、若者の減少により条例定数との乖離が顕著になっています。	B
			目標	1,884		
			実績	1,595		
			単位	人		

No.33	事務事業名	消防団運営事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	消防車両・消防ポンプの維持管理や消防物品の購入、教育訓練の実施など消防団の運営を支援する。				地域防災力の中核を担う組織として、今後も運営を支援していきます。	
指標に係る評価						
事業費	21,398千円	活動指標	消防車両保有台数	達成率	火災やその他災害に備え、保有している消防車両・消防ポンプ、その他消防資機材の管理を適切に行っています。	A
			目標	116		
			実績	116		
			単位	台		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	小型ポンプの更新	達成率	更新年数に達した小型ポンプを更新計画どおりに行っています。(令和4年度は更新年数に達したものはありませんでした。)	A
			目標			
			実績			
			単位	台		

No.34	事務事業名	女性消防団員活動支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	女性の視点で防火・防災・防犯に関する啓発活動を幅広く実施できるよう報酬や出勤手当の支給、活動服の貸与などを通じて女性消防団員を支援する。				女性消防団員の必要性は今後も高まっていますので、人員確保に努めていきます。	
指標に係る評価						
事業費	478千円	活動指標	女性団員数	達成率	それぞれの事情により活動が継続できず、女性消防団員数が減少していますが、ラッパ隊に女性消防団員が加入するなど活動範囲を広げるような取組みを行っています。	B
			目標	20		
			実績	10		
			単位	人		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	啓発活動	達成率	市内の放課後児童クラブと連携し、小学生に対して防災教室を実施しています。	A
			目標	3		
			実績	4		
			単位	回		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.35	事務事業名	消防団員安全装備品整備事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	消防団の装備の基準(消防庁)に基づき、消防団員の救助用半長靴や耐切削性手袋、雨衣などを整備・貸与する。				地域防災力を担う組織として、今後も安全装備品を整備していきます。	
					指標に係る評価	
事業費	1,039千円	活動指標	耐切削性手袋		達成率	整備計画に基づき貸与できました。
			目標	285	A	
			実績	285		
			単位	足		
担当課	総務部消防防災課	成果指標			達成率	成果指標の設定が困難な事業です。
			目標			
			実績			
			単位			

No.36	事務事業名	消防団員運転免許取得事業補助金			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	消防団員が取得する「準中型免許」及び「オートマチック限定解除」に係る経費の一部を助成する。				地域消防職維持のため、今後も消防活動の支援に努めます。	
					指標に係る評価	
事業費	0千円	活動指標	免許取得人数		達成率	活動指標の設定が困難な事業です。
			目標	2		
			実績	0		
			単位	人		
担当課	総務部消防防災課	成果指標			達成率	成果指標の設定が困難な事業です。
			目標			
			実績			
			単位			

No.37	事務事業名	消防施設維持管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	火災等の有事に備えるため消防施設等の維持管理を図る。				消防施設の適切な維持管理を実施し消防団活動を支援していく	
					指標に係る評価	
事業費	10,083千円	活動指標	消防車両車庫の管理		達成率	ポンプ車などの消防車両を保管している車庫について消防活動に支障がないよう適切に管理している
			目標	116	A	
			実績	116		
			単位	箇所		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	修繕件数		達成率	消防施設の適切な管理のため修繕を実施している
			目標	14	A	
			実績	14		
			単位	件		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.38	事務事業名	消防施設整備事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	火災等の災害に備えるため、耐震性貯水槽(防火水槽)の新設及び消防施設の整備を図る。				地域の要望を考慮し、消防水利や消防施設を整備します。		
					指標に係る評価		
事業費	23,041千円	活動指標	防火水槽の管理数		達成率	火災をはじめとする災害時に使用する防火水槽や消火栓などの消防水利、また、消防ポンプ庫など消防施設を管理しています。	
			目標	872			A
			実績	872			
			単位	基			
担当課	総務部消防防災課	成果指標	防火水槽の設置数		達成率	耐震性貯水槽(防火水槽)や消防施設の整備に努めています。	
			目標				A
			実績				
			単位	基			

No.39	事務事業名	水防活動事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	水防資機材の充実を図る。				水防計画に基づく資機材整備を行います。		
					指標に係る評価		
事業費	0千円	活動指標	水防資機材整備箇所数		達成率	予定箇所への水防資機材配備の充実を図ったが、予定個所の資機材に不足がなかったため整備しなかった。	
			目標	3			C
			実績	0			
			単位	式			
担当課	総務部消防防災課	成果指標			達成率	成果指標の設定が困難な事業であります。	
			目標				
			実績				
			単位				

No.40	事務事業名	防災ラジオ運営事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	災害時に自動的に起動して緊急情報を受信する防災ラジオの放送設備について維持管理を行う。				避難情報を配信には様々な媒体で配信することが求められているため必要な事業です。		
					指標に係る評価		
事業費	388千円	活動指標	防災ラジオの保守点検		達成率	防災ラジオの配信のため保守点検を行います。	
			目標	1			A
			実績	1			
			単位	回			
担当課	総務部消防防災課	成果指標	防災ラジオ配信試験		達成率	月に1回試験放送を行い配信訓練を含めて実施しています。	
			目標	12			A
			実績	12			
			単位	回			



事業評価結果(評価No.1~203)

No.41	事務事業名	災害対策事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	災害用衛星携帯電話の維持管理を行う。 災害発生時に住民が迅速・的確に避難するため、ハザードマップの作成及びWeb版ハザードマップの保守・更新を行います。 防災における地域のリーダーの育成を行います。				関係法令に基づき継続して事業を行う必要があります。 災害対策事業は市民の防災意識の高揚を図る上で有効な事業であり、継続的に行う必要があります。	
指標に係る評価						
事業費	6,570千円	活動指標	衛星電話配備数	達成率	発災時に備え関係機関との通信手段として衛星電話やを備えています。 防災リーダー養成事業へ2名参加しました。	B
			目標	2		
			実績	2		
			単位	台		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	防災士取得者数	達成率	防災士を2名が取得しました。	B
			目標	5		
			実績	2		
			単位	人		

No.42	事務事業名	地域防災計画推進事業			評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続
事業内容	法令や上位計画の改正等を踏まえ、市地域防災計画、業務継続計画の見直しを行います。 災害時に迅速に対応できるよう、職員の初動体制の確立を図ります。				法令、上位計画等の更新や市の防災施策の変更に対応するよう毎年計画の見直しを行うため、事業を継続する必要があります。	
指標に係る評価						
事業費	68,445千円	活動指標	地域防災計画改訂の回数	達成率	地域防災計画、業務継続計画等の改訂により災害対策の更新がされました。	A
			目標	1		
			実績	1		
			単位	回		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	北杜市防災会議の回数	達成率	防災会議を開催し関係機関との協議により改訂を行いました。	A
			目標	2		
			実績	2		
			単位	回		

No.43	事務事業名	防災訓練事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	地域の防災力を高めるため、訓練を実施する。				訓練方法を検討し、実施して行きます。	
指標に係る評価						
事業費	583千円	活動指標	防災訓練実施依頼の数	達成率	行政区・自治会等に通知を行い防災訓練の実施を依頼しました。	A
			目標	165		
			実績	165		
			単位	団体		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	防災訓練参加者数	達成率	新型コロナウイルス感染症の中、地域でも工夫して訓練を実施する地区が増加しました。	A
			目標	11,523		
			実績	3,864		
			単位	人		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.44	事務事業名	防災備蓄品整備事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	防災備蓄食品及び備蓄資機材の整備や各避難所が速やかに開設できるよう避難所に防災備蓄倉庫を設置します。				5年間で避難者総定数の12000人分の備蓄食、備蓄水や必要な資機材を備蓄、また、避難所の速やかな開設のため各避難所へ防災備蓄倉庫を設置していく必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	25,768千円	活動指標	災害用備蓄食		達成率	A	災害に備え、想定避難者数12,000人の1日3食分、水3ℓを備蓄します。
			目標	7,200			
			実績	7,200			
			単位	食			
担当課	総務部消防防災課	成果指標	防災備蓄倉庫設置数		達成率	A	備蓄倉庫を設置し備蓄品を保管することで避難所の速やかな開設を行うことができます。
			目標	8			
			実績	8			
			単位	棟			

No.45	事務事業名	AED管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	緊急時に誰もがいつでも使用できるよう適正に管理するために保守点検業務を委託する。				現状で引き続き維持管理を行っていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	369千円	活動指標	AED設置台数		達成率	A	各総合支所及び本庁に設置したAEDを適正に管理できました。
			目標	9			
			実績	9			
			単位	台			
担当課	総務部消防防災課	成果指標	点検を行った回数		達成率	A	AEDは緊急時に使用出来るよう配備しています。
			目標	1			
			実績	1			
			単位	回			

No.46	事務事業名	防犯街路灯整備事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	地域の要望により、予算の範囲内で防犯灯を支給する。				地区からの要望により、予算の範囲内で購入し支給を行っていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	1,142千円	活動指標	区長会での情報の周知		達成率	A	各地区に広く周知を行い、適正に設置・管理することができました。
			目標	8			
			実績	8			
			単位	回			
担当課	総務部消防防災課	成果指標	支給数		達成率	A	予算の範囲内で地区からの要望に対応し、効率的に支給することができました。
			目標	145			
			実績	145			
			単位	基			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.47	事務事業名	減災力の強いまちづくり推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	平常時から自然災害に対する自助力・共助力を高めるため、「減災に強いまちづくり事業」として、出前塾・地域減災リーダー育成・特定地区総合防災訓練を行う。				減災力の強いまちづくり事業は市民の意識の高揚を図る上で有効な事業であり、継続的に行う必要があります。	
指標に係る評価						
事業費	1,622千円	活動指標	地域減災リーダー育成研修開催回数		達成率	B
			目標	5		
			実績	4		
		単位		回		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	地域減災リーダー認定者累計数		達成率	B
			目標	100		
			実績	98		
		単位		人		
地域減災リーダー育成研修を4回実施しました。特定地区総合防災訓練を1回実施しました。						
11名を減災リーダーとして認定しました。指定避難所1ヶ所の施設利用合意書の締結を行いました。						

No.48	事務事業名	防災行政無線維持管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	防災行政無線は災害時における市民への情報の伝達手段としており、災害時に適切に運用できるよう、平常時から整備をするものである。				現状で難聴箇所等の確認を行い、有事に備えていきます。	
指標に係る評価						
事業費	29,002千円	活動指標	難聴箇所点検件数		達成率	A
			目標	3		
			実績	3		
		単位		件		
担当課	総務部消防防災課	成果指標			達成率	
			目標			
			実績			
		単位				
申請のあった難聴箇所については、全て点検調整を行いました。						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.49	事務事業名	多文化共生推進事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	外国人の生活基盤支援を充実させるため、地域におけるつながりの強化や、日本語を学ぶ機会の創出、就業支援など地域・社会での活躍促進を図ります。				様々な国籍、文化的違いを持つ外国人の方々の生活基盤を充実させるためには、より多くの人々のつながりや、日本語を学ぶ機会の促進が必要になると考えます。地域、社会で多くの外国人が活躍できるよう、さらに充実した学習する機会を創設していく必要があると考えます。	指標に係る評価
事業費	704千円	活動指標	日本語教室の開催回数		達成率	A
			目標	15		
			実績	15		
			単位	回		
担当課	市民環境部市民サービス課	成果指標	日本語教室への参加人数		達成率	A
			目標	30		
			実績	37		
			単位	人		

No.50	事務事業名	男女共同参画推進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善
事業内容	「男女共同参画都市宣言」・第2次北杜市男女共同参画推進プラン(ほくとほほえみ夢プラン)に基づき、男女共同参画推進委員会を中心に、情報誌「杜のほほえみ」の発行や「ほほえみふぉーむ」の開催などによる推進活動及び啓発活動を行う。				男女共同参画の全体像・評価については、ものさしで測るのは難しいが、男女共同参画推進委員会の日常的な取り組みを積み重ねていくことがひとつの方法と考えます。女性も男性も、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮できる豊かな社会の実現を目指すことが必要と考えます。	指標に係る評価
事業費	696千円	活動指標	情報誌「杜のほほえみ」発行		達成率	C
			目標	1		
			実績	0		
			単位	回		
担当課	市民環境部市民サービス課	成果指標	各種委員会の女性の登用率		達成率	B
			目標	33.2		
			実績	27.8		
			単位	%		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.51	事務事業名	未収納金対策充実・強化事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	催告に応じない滞納者について、滞納者が保有する預貯金、不動産、動産等の財産を調査し、換価可能な財産を調査し、換価可能な財産を差し押さえ、税負担の公平性、公正性の観点から適切な滞納処分を実施する。				<p>・滞納者に対し滞納処分を実施し、247件の差押えと、214件の執行停止を行いました。今後につきましても適切に滞納処分を実施し、執行停止の要件に該当する場合は早期に実施していく必要があります。</p> <p>・外部アドバイザーによる研修会を1回、相談会を年12回開催し35件の困難事案についてアドバイスをいただきました。問題解決につながるのと同時に、職員の知識の習得及び資質向上にも繋がっているので、継続して行っていきます。</p>	
指標に係る評価						
事業費	858千円	活動指標	滞納処分の実施件数	達成率	<p>預貯金138件、給与19件、年金12件、保険17件、その他債権等61件の、計247件の差し押さえを実施した。</p> <p>目標件数には達しなかったが、成果指標は目標値を上回った。</p>	
			目標	B		
			実績			
			単位			
担当課	市民環境部収納課	成果指標	市税収納率(現年分)	達成率	<p>令和4年度収納率については、現年度及び過年度ともに目標値を上回った。</p>	
			目標	A		
			実績			
			単位			

No.52	事務事業名	収納率向上事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	税金は本来自主納付であるが、滞納者や交通手段がない高齢者等に対して自宅等を訪問して納税交渉、納税相談及び徴収を行い、滞納整理を促進する。				<p>滞納者及び交通弱者の納税折衝には必要不可欠で、継続して行っていかなければならない事業です。現状を維持しながら継続した事業実施を行っていきます。</p>	
指標に係る評価						
事業費	17,220千円	活動指標	臨戸訪問徴収	達成率	<p>督促や催告に応じない滞納者や交通手段がない高齢者等には、自宅等を訪問して納税交渉したり徴収をする必要があります。活動指標について、目標件数に達しなかったが、成果指標は目標値を上回った。</p>	
			目標	B		
			実績			
			単位			
担当課	市民環境部収納課	成果指標	市税収納率(現年分)	達成率	<p>成果指標の収納率(現年・過年)については、目標を達成しております。</p>	
			目標	A		
			実績			
			単位			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.53	事務事業名	河川等水質調査事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	専門機関に水質調査を依頼・実施。継続調査を行うことで監視の強化を図り、水質管理を行う。				今後も水環境保全の基礎資料となるべく、継続して水質調査を実施します。	
					指標に係る評価	
事業費	5,513千円	活動指標	市内河川調査箇所数(水質調査)		達成率	A
			目標	45		
			実績	45		
			単位	箇所		
担当課	市民環境部環境課	成果指標	河川水質基準AA値(BOD)		達成率	B
			目標	45		
			実績	44		
			単位	箇所		
平成28年度よりBOD値では95%以上の割合で水質基準AAを維持しており、良好な水質にあります。						

No.54	事務事業名	環境活動推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市民・事業者・市それぞれの役割、責任、環境への取組を確認しつつ、社会環境、自然環境、生活環境、地球環境、環境行政についての施策を確認しながら環境保全への取り組みを進める。				第2次北杜市環境基本計画による基本方針及び施策について、進捗状況を随時確認し、施策を推進します。	
					指標に係る評価	
事業費	182千円	活動指標	環境審議会開催回数		達成率	A
			目標	2		
			実績	3		
			単位	回		
担当課	市民環境部環境課	成果指標	一般廃棄物総排出量		達成率	B
			目標	11,452		
			実績	14,112		
			単位	t		
廃棄物の排出量については、令和3年度に策定した北杜市一般廃棄物処理基本計画により再精査を実施しました。						

No.55	事務事業名	環境教育普及啓発事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市がグリーン北杜、キープ協会等と連携し、省エネ、再生可能エネルギー、自然資源活用、廃棄物削減、自然保護などの環境問題に関わる内容について、環境学習プログラム等により体験型授業を中心とした環境学習会や環境教育リーダー養成講座を実施するほか、子ども環境フェスタを開催する。				教育は目に見えた結果がすぐには出ませんが、身近なところから環境教育を続けていくことで、環境問題に取り組んで行く意識改革を図ります。	
					指標に係る評価	
事業費	4,704千円	活動指標	事業実施回数		達成率	B
			目標	38		
			実績	33		
			単位	回		
担当課	市民環境部環境課	成果指標	受講、参加人数(延べ)		達成率	A
			目標	1,425		
			実績	677(動画再生数21,870)		
			単位	人		
全体を通して目標に対し、実績が上回っています。特に、幼児教育プログラムにおいては、保育園児が興味を持って参加しており、今後も引き続き環境教育を実施していきます。また、環境リーダー養成講座は保育園等でのヒヤリハット防止に貢献しています。						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.56	事務事業名	新エネルギー推進等事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	再生可能エネルギーの普及促進やクリーンエネルギー利活用の検討など、新エネルギーに関する検討・推進を行う。 また、市の新エネルギー事業に対する審議、提言を行う。				地域に存するエネルギーを生かした新エネルギーの更なる普及促進に積極的に取り組み、本市の恵まれた自然に配慮し、後世に持続可能となる社会の実現を図りながら、今後も助言及び提案をしていただきます。	
指標に係る評価						
事業費	85千円	活動指標	新エネルギー推進機構開催回数	達成率	新エネルギー推進機構の理事10名により会議を開催し、本市の新エネルギー事業等に対して、各分野の立場から貴重な意見を聞けます。	
			目標	A		
			実績			
			単位		回	
担当課	市民環境部環境課	成果指標	/		達成率	北杜市地球温暖化対策実行計画策定において、エネルギーに関する運用改善に向けた意見を反映しました。 また、今後ゼロカーボンシティを達成する上で、本組織の役割は重要であり、施策の核となる組織として機能させていく方針です。
			/		A	
			/			
			/			

No.57	事務事業名	地域環境美化活動推進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善
事業内容	地域環境委員会を各町別にて開催。環境関連事業について、行政との連絡調整やごみ減量化の推進、ごみ及び資源物収集所の管理などの依頼、指導を行うことで、市民への環境に対する理解を深めてもらい、より一層自然環境を創造する活動を推進する。				今後も地域環境委員会を開催し、委員にごみ及び資源物の排出について広く周知を図ることでより正確に排出できるよう努めます。	
指標に係る評価						
事業費	1,976千円	活動指標	地域環境委員会開催回数	達成率	市内8地区において地域環境委員あて各総合支所地域市民課を中心に会議を開催し(書面開催含む)、活動内容を確認していただきました。	
			目標	A		
			実績			
			単位		回	
担当課	市民環境部環境課	成果指標	地域環境委員数	達成率	市内8地区において地域環境委員により排出時の分別指導等を行っております。	
			目標	B		
			実績			
			単位		人	

No.58	事務事業名	環境パトロール実施事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	峡北シルバー人材センター及び中北地域廃棄物対策連絡協議会監視パトロール員による監視活動、不法投棄物の撤去処理を併せて実施する。				不法投棄の多発地区(他県、他市からの投棄が目立つ県道沿い)を重点的にパトロールするなど発生防止対策の強化を行います。	
指標に係る評価						
事業費	6,146千円	活動指標	不法投棄監視パトロール実施日数	達成率	各総合支所職員の協力により、巡回しているスタッフとの連携を密にして巡回する区域等を判断しています。	
			目標	A		
			実績			
			単位		日	
担当課	市民環境部環境課	成果指標	不法投棄物撤去処理量	達成率	不法投棄監視パトロールの成果があり、年々、不法投棄が減少傾向であります。	
			目標	A		
			実績			
			単位		t	

事業評価結果(評価No.1~203)

No.59	事務事業名	一般廃棄物収集・運搬事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	市内で発生した生活系一般廃棄物を、行政区等が管理するごみステーションからの拠点収集により、環境保全上支障が生じないよう効率的、確実に運搬する。また、リサイクル推進事業との連携により減量化を推進する。				生活系一般廃棄物の減量化に向けての取り組みを強化し、廃棄物処理法に規定されている市と排出者(住民)それぞれの責務を明確化することで、より安全で効率的な収集運搬に取り組めるよう努めます。		
					指標に係る評価		
事業費	130,590千円	活動指標	ごみステーション数		達成率	ごみステーションは増加傾向にあります。確実な収集運搬が行われている状況にあります。	
			目標	707			A
			実績	710			
			単位	箇所			
担当課	市民環境部環境課	成果指標	生活系一般廃棄物収集運搬量(可燃・不燃)		達成率	コロナウィルスの影響もあり在宅時間の変動があることから、ごみの排出量は年度により変動がある状況であります。	
			目標	5,800			B
			実績	7,165			
			単位	t			

No.60	事務事業名	適正処理困難物等収集事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	一般廃棄物は、市町村に処理義務があるが、広域処理施設で処理出来ない廃棄物(タイヤ、農機具、バッテリー、スプリング入りマット、ポイラー、温水器等)及び1辺が1.5mを超える大型粗大ごみについては、年1回、町ごとに有料収集を実施し、市で一括処理する。				市民サービスの提供という面では一定の成果があると考えますが、今後も継続して行く中で、収集量が増えていくことによる財政負担の増加や、支所が縮小されたあとの人手不足など、取り組むべき課題もある状況です。		
					指標に係る評価		
事業費	1,115千円	活動指標	収集運搬箇所数		達成率	収集実績から、本事業の周知は充分にできていると考えます。	
			目標	8			A
			実績	8			
			単位	箇所			
担当課	市民環境部環境課	成果指標	適正困難廃棄物収集運搬量(排出量)		達成率	年々排出量が増加していることから、事業周知は充分出来てはいます。この事業の成果により不法投棄の減少につながっていると考えます。	
			目標	10			A
			実績	16			
			単位	t			

No.61	事務事業名	リサイクル推進・ごみ減量化事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	一般廃棄物の分別排出の徹底を推進し、適正な資源分別収集・運搬・処理により資源化率の向上を図る。				地域環境委員会等の協力により、資源物の分別や排出方法を指導し、各地区における分別の徹底、資源化率の向上を目指します。		
					指標に係る評価		
事業費	65,301千円	活動指標	資源物の排出量		達成率	資源化率を目標に設定した排出量には届いていない状況です。	
			目標	2,100			B
			実績	1,426			
			単位	t			
担当課	市民環境部環境課	成果指標	資源化率		達成率	廃棄物の総排出量は減少傾向ではありますが、それ以上に資源物の排出量が減少しているため資源化率が向上しない状況です。	
			目標	24.0			B
			実績	17.0			
			単位	%			



事業評価結果(評価No.1~203)

No.62	事務事業名	分別収集マニュアル、収集袋等作成事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	ごみ・資源物排出日程表の作成、収集袋の作成を行い、ごみの適正な分別の徹底や減量化・資源化を図るとともに効率的な収集体制を確立する。				分別の徹底を図るため、分別マニュアルについては随時更新を行います。 ごみ収集袋については、廃プラスチック適正処理の考えに基づき材質、サイズの変更を考えています。	
指標に係る評価						
事業費	13,490千円	活動指標	ごみ・資源物排出日程表の印刷	達成率	ごみ・資源物排出日程表を配布、活用する中でごみ及び資源物の分別については、市民の間にある程度浸透していると考えられます。	
			目標	23,000	B	
			実績	23,500		
			単位	枚		
担当課	市民環境部環境課	成果指標	生活系一般廃棄物収集運搬量	達成率	ごみの排出量については横ばいの状況です。	
			目標	5,800	B	
			実績	7,165		
			単位	t		

No.63	事務事業名	食品ロス削減推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	食品ロス削減啓発キャンペーンを実施する。				意識づけから食品ロスにつなげていくことが必要であると考えます。	
指標に係る評価						
事業費	22千円	活動指標	食品ロス削減啓発キャンペーンの実施	達成率	食品ロスキャンペーンを実施することにより、食品ロスの削減を目指すことが大切なことであることが、市民の間にある程度浸透していると考えられます。	
			目標	2	B	
			実績	2		
			単位	回		
担当課	市民環境部環境課	成果指標	家庭系ごみの減量化	達成率	ごみの排出量は減少傾向にあります。	
			目標	9,054	B	
			実績	8,609		
			単位	t		

No.64	事務事業名	環境保全基金活用事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	事業の提案に基づいた補助金の交付を行い、実績にてその効果を確認する。環境保全基金の意向を理解いただける企業等への協力金の呼びかけ。環境保全事業、環境教育事業、南アルプス・甲武信ユネスコエコパーク関連事業を行う団体に対し、対象経費の2/3を補助。地域住民と協働で行う規模の大きい事業は100万円、その他事業は30万円を上限とする。上記事項を審査するための活用検討委員会の開催。職員のスキル向上のためのSDGs研修会の開催。				環境保全基金の活用検討委員会においては市民提案や各課提案事業を適正に審査できた。また、今後の活用基金活用方法において協議し、令和5年度からの審査に盛り込むことができた。	
指標に係る評価						
事業費	3千円	活動指標	活用検討委員会の開催	達成率	環境保全基金の活用検討委員会は計画通りに遂行。協力金においては大口の減収とふるさと納税の影響もあり前年度を下回った。市民提案事業については新型コロナウイルスの影響により縮小を余儀なくされた案件もあったが、感染予防対策を万全に行い、概ね実施できている。実績書などからも環境保全に対するモチベーションも感じ取れる。なお、SDGs研修会は新型コロナウイルスの影響により開催を見送った。	
			目標	2	A	
			実績	2		
			単位	回		
担当課	市民環境部環境課	成果指標		達成率	環境保全基金の活用検討委員会は計画通りに遂行。協力金においては大口の減収とふるさと納税の影響もあり前年度を下回った。市民提案事業については新型コロナウイルスの影響により縮小を余儀なくされた案件もあったが、感染予防対策を万全に行い、概ね実施できている。実績書などからも環境保全に対するモチベーションも感じ取れる。なお、SDGs研修会は新型コロナウイルスの影響により開催を見送った。	
			目標		A	
			実績			
			単位			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.65	事務事業名	環境保全事業補助金		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	市民、各種法人・団体等からの環境保全等を目的とした事業の提案に対し、補助金の交付を行い、実績にてその効果を確認する。 環境保全の意向を理解いただける企業等への協力金の呼びかけ。			環境保全は長期を経過し、寄与するものである。環境保全に対する市民の熱意及び企業の協力がいただける間は事業は実施すべきと考える。		
指標に係る評価						
事業費	2,858千円	活動指標	環境保全協力金件数	達成率	協力金についてはふるさと納税の関係もあり金額、件数共に残念ながら前年度を下回った。 市民提案型事業については新型コロナウイルスの影響により、規模縮小を余儀なくされた案件もあったが、工夫を凝らした感染予防対策を行い、概ね実施できている。実績報告書などからも環境保全に対するモチベーションの高さが感じ取れる。	
			目標	81		A
			実績	77		
単位	件					
担当課	市民環境部環境課	成果指標	環境保全協力金件数	達成率	協力金についてはふるさと納税の関係もあり金額、件数共に残念ながら前年度を下回った。 市民提案型事業については新型コロナウイルスの影響により、規模縮小を余儀なくされた案件もあったが、工夫を凝らした感染予防対策を行い、概ね実施できている。実績報告書などからも環境保全に対するモチベーションの高さが感じ取れる。	
			目標			A
			実績			
単位						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.66	事務事業名	健康福祉大会事業		評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	市と北杜市社会福祉協議会との合同開催で実施。 期日:令和4年10月18日(火) 内容:各種表彰(ダイヤモンド婚、4世代同居等)表彰 市民公開講座「～生涯健康でいきいきと暮らす～」をテーマに座談会を開催。 コーディネーター:県立大学准教授高木寛之氏 パネリスト:市長、鈴木春花氏(北杜市親善大使)、竹内敬一氏(北杜市親善大使)、みなみおばちゃん氏			健康増進課及び介護支援課においても講演会等を実施していることから、健康福祉大会の名称を変更し、これらの課と合同による講演会を開催します。 今後も福祉・健康・介護予防に対する知識を広く市民に啓発するため、幅広い世代が参加できる魅力あるイベントを開催していきます。		
				指標に係る評価		
事業費	320千円	活動指標	健康福祉大会参加人数	達成率	新型コロナウイルスの感染拡大により、集客してのイベント開催は中止としたことから活動指標に係る評価は下がっています。なお、表彰は、ダイヤモンド婚と4世代同居家族とし賞状と記念品を贈呈しました。また、公開講座については、収録を行い、YouTube配信及び対談内容をまとめた紙面の新聞折込により市民の健康づくりの機運向上を図っています。	
			目標	0		C
			実績	0		
単位	人					
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	健康測定実施者数	達成率	新型コロナウイルスの感染拡大により、集客してのイベント開催は中止しました。このため、今年度の活動指標に係る評価は下がっています。なお、公開講座については、収録を行い、YouTube配信及び対談内容をまとめた紙面の新聞折込により、市民の健康づくりの機運向上を図っています。	
			目標	0		C
			実績	0		
単位	人					

No.67	事務事業名	成年後見制度利用促進事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実	
事業内容	成年後見制度に関する相談や関係機関による支援会議等を開催するため、成年後見制度利用促進に伴う中核機関を設置する。			令和4年度に中核機関を設置したことから、関係機関による情報共有を図り、相談体制の充実や制度の普及啓発を積極的に行い、制度の利用促進を図ってまいります。		
				指標に係る評価		
事業費	4,248千円	活動指標	チーム支援会議の開催	達成率	チーム支援会議の開催により、個別案件に関する状況を関係機関が把握し、本人等の意思や状況を継続的に情報共有することで対象者に必要で適切な対応をすることができました。	
			目標	22		A
			実績	22		
単位	回					
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	新規相談件数	達成率	中核機関の設置に伴い、市民等からの成年後見制度や支援に関する相談体制を構築し、関係機関と連携した適切な対応と制度の利用促進を図ることができました。	
			目標	64		A
			実績	64		
単位	件					

No.68	事務事業名	シルバーハウジング生活援助員派遣事業		評価に対する今後の方向性	⑨休廃止・終期設定	
事業内容	シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、社会福祉法人高根福祉みのの会から生活援助員を派遣して、生活指導、相談、安否確認、緊急時の対応等のサービスを行い、高齢者が自立して安全で快適な生活を営むことができるよう在宅生活を支援する。世帯棟5棟、単身棟5棟がある。			委託業務先の人員の確保が困難なことや介護保険事業サービスの充実、その他の見守り事業の確保により、令和4年度末をもって事業を終了としました。		
				指標に係る評価		
事業費	1,181千円	活動指標	シルバーハウジング生活援助員相談等件数	達成率	生活援助員が朝夕の見守りを行い、入居者への相談に対し、すべて対応しているため、安心して自立生活を送ることに繋がっています。	
			目標	20		A
			実績	20		
単位	件					
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	集会参加延べ人数	達成率	コロナ禍において、活動ができない状況でした。対象が高齢者であることから、やむを得ない部分もありますが、生活の質の向上のためにも、参加を啓発したり、参加しやすい企画をすることが求められます。	
			目標	13		C
			実績	0		
単位	人					

事業評価結果(評価No.1~203)

No.69	事務事業名	高齢者祝福事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	敬老祝金:9月15日の敬老の日から一週間の「敬老週間」に敬老祝金(満88歳)を支給する。支給については、民生委員児童委員に安否確認を兼ねて配布を依頼。 また、100歳に到達した高齢者宅を市長が訪問し、祝金と花束を贈り、長寿を祝福する。				趣旨及び対象者や対象者の家族の声からも、継続が望まれます。		
					指標に係る評価		
事業費	4,615千円	活動指標	88歳敬老祝金		達成率	高齢者への長寿祝福、敬愛をもって、対象者に配布しています。 対象者への配布率は100%です。	
			目標	351			A
			実績	351			
			単位	人			
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	市内小学生による敬老の手紙発送数		達成率	市内小学生が長寿者へ手紙を作成することにより敬老・敬愛の心を育てることにつながっています。自宅不在でどうしても連絡が不可能な方がおり、今年度については99.7%の配布率となっています。また、百歳慶祝について広報へ掲載することにより(広報への掲載を了承された方のみ)市民の敬老意識の高揚につながります。	
			目標	352			A
			実績	351			
			単位	通			

No.70	事務事業名	お楽しみ給食サービス事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	北杜市社会福祉協議会への委託事業で、社協各支所単位で実施している。各地区民生委員児童委員、ボランティア等に協力をお願いし、各地区で年4回の給食サービスと年1回の栄養補助飲料の提供を行っている。				ひとり暮らし高齢者の安否確認と栄養補助のほか、交流を楽しみにしている高齢者も多いことから、効果的な配布方法を検討し、継続して展開していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	1,386千円	活動指標	お楽しみ給食配食数		達成率	お楽しみ給食については、年度当初の予定数はクリアしていませんが、対象者の都合によりキャンセルになったものであり、対象の希望者に漏れなく提供できています。	
			目標	3,028			A
			実績	2,806			
			単位	食			
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	給食の配食により安否を確認できた件数		達成率	対象希望者の安否確認が漏れなくできています。また、提供時に対象者と交流が図られるため、事業目的の安否確認及び栄養管理補助以上の成果が得られています。	
			目標	3,539			A
			実績	3,539			
			単位	件			

No.71	事務事業名	外出支援サービス事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	庁内のサービス調整会議により認定された高齢者が、通院の際にタクシーを利用する場合、初乗り分を助成するタクシー券を月2枚支給する。				判断基準をサービス調整会議の中で諮りながら、制度の利用促進を図るため事業内容の改善について検討していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	79千円	活動指標	サービス対象者数		達成率	利用申請をするものの長期入院や施設入所等の事情により利用実績のない方がいます。更新申請の際には、必要の有無の確認を行っています。	
			目標	20			B
			実績	22			
			単位	人			
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	サービス利用率		達成率	登録者の支給枚数に対する利用枚数の割合が低い要因は、対象が高齢者であるため、年度途中での長期入院、施設入所、死亡などのケースがあるためとなります。	
			目標	329			C
			実績	106			
			単位	枚			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.72	事務事業名	ふれあいペンダント事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	庁内のサービス調整会議により認定された高齢者が、急病等の緊急時に、自宅に設置された機械のボタンを押すことでNPO法人安心安全見守りセンターに通報され、協力員の支援のもと、迅速かつ適切な対応を図ることができる。				高齢化の進行と高齢者のみ世代の増加から必要性は高く、継続して事業展開していきます。ただし、事業開始には固定電話が必要ですが、固定電話のない家庭も生じてきていることから、新しい仕組みでの事業継続も視野に入れて検討していく必要があります。	指標に係る評価	
							指標に係る評価
事業費	2,013千円	活動指標	設置台数状況		達成率	市の保有台数は100台であり、現在の設置台数はおよそ5~6割になります。新規登録者とおよそ同数の返却者があり、返却者は、死亡、入院、施設入所等によるものです。	
			目標	100			B
			実績	50			
単位	台						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	緊急通報件数		達成率	実際に緊急を要する通報は10件を満たさない状況ですが、緊急時には100%対応できています。また、緊急時に対する安心感が、健康な生活の確保につながっています。	
			目標	7			A
			実績	7			
単位	件						

No.73	事務事業名	タクシー利用料金助成事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	対象者の申請に基づき、タクシー利用券(650円×3枚/月×交付決定をした月からその年度の3月までの月数)を交付する。				引き続き、手帳の交付時に、対象となる手帳所持者には制度の案内・説明を行っていく。 また令和4年度より、腎臓機能障がいにより人工透析を定期的に行っている重度心身障害者(児)を新たに対象者としたことから、受診等の利用拡大につながり、コロナ感染症が5類に引き下げられたことで外出の機会も増えていくと思われる。 また、新しく介護タクシー事業所が設立した際には、助成事業の協定を結び、介助を必要とする対象者が利用しやすくなるよう努めます。	指標に係る評価	
							指標に係る評価
事業費	398千円	活動指標	タクシー利用券利用者数		達成率	障害者手帳の交付の際に、対象となる方に案内をしている。 コロナウイルス感染症の感染の恐れから外出を自粛していることから、交付者数に比べ、実利用者人数は微減しています。	
			目標	49			B
			実績	37			
単位	人						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	タクシー利用券利用枚数		達成率	コロナウイルス感染症に伴う外出自粛等の影響により、交付枚数に比べ実利用枚数が少なく、タクシー利用率は低い状態です。	
			目標	2,007			C
			実績	583			
単位	枚						

No.74	事務事業名	ボランティア養成及び地域交流事業			評価に対する今後の方向性	⑦縮小・方法改善	
事業内容	・障害者総合支援センターが支援の対象としている3障害(知的・身体・精神)について、講師から各障害についての概要や関わり方を学び、各障害に対しての理解を深めていただき、地域活動支援事業(デイケア)でのボランティア活動をしていただく。 ・就労支援事業所等の各種出し物及び出店販売を行うことによって、地域住民に就労支援事業所等の活動内容を知ってもらうとともに、障害を持つ方とその家族や地域住民とが交流する機会を作り、障害に対する理解の輪を広げる。(直近では、令和元年11月13日に高根町農村環境改善センターにて開催)				ボランティア養成講座は、通常の事業内容まで回復。今後も事業を継続していきます。 ほかほかハートまつりについては、新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、飲食の提供の見直し開催時間の短縮等事業実施の在り方を今後検討していきます。	指標に係る評価	
							指標に係る評価
事業費	20千円	活動指標	ボランティア養成講座及びフォローアップ研修(隔年実施)参加者		達成率	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大していたことからフォローアップ研修に変更して実施していたが、令和4年度については拡大が減少傾向であったため通常通りボランティア養成講座を実施した。参加者人数も例年まで回復しています。 ほかほかハートまつりについては、参加者数が100人を越え飲食等を伴う事業のため感染予防が難しく実施を見合わせています。	
			目標	30			B
			実績	29			
単位	人						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	ボランティア登録者数		達成率	ボランティア登録者数については増加しています。今後も現状を維持していきます。	
			目標	30			A
			実績	33			
単位	人						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.75	事務事業名	相談支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	来所、訪問、電話などにより相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うものである。福祉サービスの利用援助、社会資源の紹介、専門機関等の情報提供、虐待の防止及び早期発見のため関係機関と連絡調整を行うとともに、権利擁護のための必要な援助を行うものである。				障害者の相談支援場所として、現状を維持し事業を実施していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	3,797千円	活動指標	相談実人員		達成率	相談件数については、実数及び延べ人数ともに目標を大きく上回る件数で推移しています。	
			目標	360			A
			実績	626			
単位	人						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	達成率		達成率		
			目標				
			実績				
			単位				

No.76	事務事業名	地域活動支援センター事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	障害者総合支援センターにおいて週5回、創作活動(料理、絵手紙、習字、工作、手芸等)・農園芸作業(野菜作り、花の栽培等)・軽スポーツ(卓球、グラウンドゴルフ、ペタンク、散歩等)・社会見学のための外出などのプログラムを実施している。できるだけプログラムが自主的にできるよう、指導員2名が支援しながら運営している。来所が困難な方については、曜日により地区ごとに送迎を行ない、自分の車、公共の交通機関を使える方や徒歩で来られる方は自力で来所してもらっている。				地域活動支援サービスの場として、現状を維持し障害者総合支援センターかざぐるまを有効に活用し実施していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	5,638千円	活動指標	参加実人員		達成率	デイケア参加数については、新型コロナウイルス感染症拡大のため利用可能人数を15人から10人に減らす措置を取っています。また、利用者本人や家族、各種障害者サービス提供事業者等が利用を控えている状況なので減少しています。新型コロナウイルス感染終息後には、通常の参加数に増やす措置を取ります。	
			目標	2,000			B
			実績	1,844			
単位	人						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	達成率		達成率		
			目標				
			実績				
			単位				

No.77	事務事業名	障害者総合支援センター管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	障害者の地域活動支援や基幹相談支援センターとしての役割を担う場所として、当施設の適正な維持補修管理を行い。光熱水費の使用、公用車の管理運用も適正に行うものである。				障害者の基幹相談支援センター及び地域活動支援の場として、現状を維持し施設を有効に活用していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	6,481千円	活動指標	デイケア参加数		達成率	本人及び家族、各種障害者サービス提供事業者の相談に応じ、地域活動支援事業(デイケア)利用対象者を発見し利用を促進しています。相談件数も年々増加しており、市HPや広報において障害者総合支援センターの周知を図っています。	
			目標	60			B
			実績	43			
単位	人						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	達成率		達成率		
			目標				
			実績				
			単位				

事業評価結果(評価No.1~203)

No.78	事務事業名	生活困窮者自立支援事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実	
事業内容	生活困窮者への支援を行うため、福祉相談窓口を設置し、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、その他任意事業等の支援、ほくとハッピーワークを活用した就労支援を行う。				生活困窮者自立支援法の改正に伴い、任意事業である就労準備支援事業、家計改善支援事業の実施は努力義務化されており、令和5年度以降の法改正時には必須事業化される動向があります。本市では令和元年度より、家計改善支援事業を再開し、また就労準備支援事業を開始することにより、自立支援事業・就労準備支援事業・家計改善支援事業を三位一体で実施することで、複雑かつ多様化している生活困窮者の課題に対し、包括的な支援体制の強化を図っています。		
					指標に係る評価		
事業費	28,710千円	活動指標	新規相談件数		達成率	生活困窮等の相談を、福祉相談窓口を開設しワンストップ型の相談に応じています。	
			目標	167			A
			実績	167			
単位	件						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	就職者数		達成率	複合的な生活課題(家族関係やひきこもり等)を有する利用者の中で、一般就労を目標にしている方への、支援プランを作成した中での活動成果となります。	
			目標	15			B
			実績	10			
単位	人						
No.79	事務事業名	被保護者就労支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	就労支援員は、被保護者からの求職相談に応じ、求職の方法・意識・心構え等について助言したり、ほくとハッピーワーク等と連携しながら、求人情報の収集・提供を行う。また、必要に応じて、履歴書の書き方や面接の受け方等について助言したり、就労が継続するよう、就業中の被保護者の相談に応じる。				本事業については効果的な事業であると考えておりますが、被保護者で働ける世帯(高齢者、母子、障害者、傷病者以外の世帯)の減少により、就労支援の対象者が減少しています。しかし、社会情勢の変化への対応ができるようしながら、支援対象者や支援内容はこれまでどおりを維持して実施していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	2,980千円	活動指標	就労支援者数(延べ)		達成率	担当ケースワーカーと連携し、被保護者の意向を踏まえ就労希望者全員の支援を行いました。	
			目標	12			A
			実績	28			
単位	人						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	就職者数(延べ)		達成率	一部の方については、個人の能力、家庭の事情、雇い先の都合等により就労に至りませんでした。支援した約5割の方が就職できました。	
			目標	12			B
			実績	6			
単位	人						
No.80	事務事業名	医療扶助適正実施推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	医療扶助相談員を配置し、後発医薬品の利用促進、頻回受診・重複受診の防止を図るとともに、医療レセプト点検の委託により、医療行為と請求が適正に行われているかを確認する。				医学的見地から後発医薬品の使用が認められない場合や、薬局で在庫切れとなっていた場合などやむを得ない場合を除き、概ね後発医薬品が利用されるようになりました。この状況を継続していくためにも、引き続き被保護者及び医療機関の理解が得られるよう取り組みが必要となります。		
					指標に係る評価		
事業費	3,416千円	活動指標	指導対象の抽出数		達成率	毎月レセプトデータを分析し、多受診等の恐れがある方、後発医薬品の利用が可能と思われる方に対して、指導を行いました。	
			目標	12			A
			実績	12			
単位	回						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	後発医薬品使用割合		達成率	後発医薬品の利用割合は、全国平均で78.7%、山梨県内平均で76.9%であり、本市の89.02%(89%)は極めて高い水準となりました。	
			目標	75.0			A
			実績	89.0			
単位	%						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.81	事務事業名	高齢者虐待一時保護事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続										
事業内容	<p>養護者による虐待の事実を確認し、緊急に保護する必要があると認めるとき、介護保険法第8条第9項に規定する短期入所生活介護を行う社会福祉法人等に対象者を一時保護する。</p>			<p>本来は、虐待が発生しないことが望ましい状態です。そのためには、高齢者虐待に関しての正しい知識の普及啓発と介護者の負担軽減を図る必要があります。引き続き普及啓発に努め、虐待の発生が疑われる場合については、適切に対応するための人員(社会福祉士)の確保に努めていきます。また、認知症高齢者の徘徊や介護者不在となる事案が発生することがありました。そのため、虐待だけではなく緊急的な対応ができるように要綱を改正し、体制の整備を行いました。</p>											
指標に係る評価															
事業費	0千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">普及啓発活動回数</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>20</td> <td rowspan="3">B</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>回</td> </tr> </table>	普及啓発活動回数		達成率	目標	20	B	実績	11	単位	回	<p>虐待の事実に対して緊急に対応するものです。保護件数が増えることがないよう虐待防止の普及啓発活動に力を入れ予防に努めています。</p>	
普及啓発活動回数		達成率													
目標	20	B													
実績	11														
単位	回														
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">一時保護対応件数</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>1</td> <td rowspan="3">A</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>回</td> </tr> </table>	一時保護対応件数		達成率	目標	1	A	実績	0	単位	回	<p>虐待の事実に対して緊急に対応するものであり成果を問う事業ではないため、成果指標はありません。令和4年度は一時保護事案はありませんでした。本事業は、虐待の事実確認をし、本人・家族に適切に対応することで安心安全を確保した生活を送ることにつながります。そのため、高齢者虐待通報があった場合には、適切な対応がとれる体制を整備しています。</p>	
一時保護対応件数		達成率													
目標	1	A													
実績	0														
単位	回														

No.82	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続										
事業内容	<p>・通所型サービスを週1~2回実施し交流や外出の機会を設け、運動機能の向上や生きがいづくりを行う。各事業所の特性を活かし、高齢者の状態に応じた活動を行い、参加者自らが介護予防に積極的に取り組めるよう支援する。 ・訪問型サービスでは安定した生活を送れるよう、居宅に訪問し、本人の状態に合わせた生活支援を行う。 ・サービスC事業では、要支援者を対象に筋力元気あつぷ事業を年間3クールに分けて開催する。</p>			<p>介護人材が不足する中で住民主体型のサービスの創設が重要であることから団体育成に努める必要がある。社会福祉協議会との連携を強化し、住民と協働した取組みを行い、総合事業と合わせた支え合い地域づくりを進めていきます。</p>											
指標に係る評価															
事業費	84,392千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">通所型サービスBの実施箇所</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>3</td> <td rowspan="3">B</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>箇所</td> </tr> </table>	通所型サービスBの実施箇所		達成率	目標	3	B	実績	1	単位	箇所	<p>ボランティア等による訪問型サービスBが1カ所新規に実施され、計2団体で運営されました。通所型サービスBは昨年度より1箇所減り1団体のみの実施となりました。</p>	
通所型サービスBの実施箇所		達成率													
目標	3	B													
実績	1														
単位	箇所														
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">要支援者・事業対象者が要介護認定に移行しない率</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>79.0</td> <td rowspan="3">B</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>%</td> </tr> </table>	要支援者・事業対象者が要介護認定に移行しない率		達成率	目標	79.0	B	実績	66.7	単位	%	<p>総合事業利用者が介護認定に移行しない割合は訪問型サービスAが25%と低くなったため目標に達しなかったが、通所系サービスについては80%を超えています。</p>	
要支援者・事業対象者が要介護認定に移行しない率		達成率													
目標	79.0	B													
実績	66.7														
単位	%														

No.83	事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続										
事業内容	<p>介護予防サービスの計画を作成し、自立に向けたサービスを提供し、目標達成状況の評価を行う。</p>			<p>高齢者が有する能力に応じ、自立した生活が送れるよう、今後も自立支援に向けて適切なマネジメントを継続していきます。</p>											
指標に係る評価															
事業費	334千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">ケアマネジメント実人員</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>580</td> <td rowspan="3">B</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>578</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>人</td> </tr> </table>	ケアマネジメント実人員		達成率	目標	580	B	実績	578	単位	人	<p>支援が必要な対象者に適切にケアマネジメントを実施し、高齢者が自立した生活を送ることができるよう支援しています。</p>	
ケアマネジメント実人員		達成率													
目標	580	B													
実績	578														
単位	人														
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">支援を行い、自立になった人数</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>10</td> <td rowspan="3">A</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>人</td> </tr> </table>	支援を行い、自立になった人数		達成率	目標	10	A	実績	13	単位	人	<p>対象者に必要なサービスが提供出来るようなケアマネジメントを実施し、自立支援に向けて支援し、成果が見えています。</p>	
支援を行い、自立になった人数		達成率													
目標	10	A													
実績	13														
単位	人														



事業評価結果(評価No.1~203)

No.84	事務事業名	介護予防普及啓発事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	①介護予防講演会:開催1回、福祉・健康介護をテーマに健康増進課等との共同開催を行う。 ②はつらつシルバーのつどい事業:保健福祉推進員等が市の指定した専門講師を招いて、地区公民館等で介護予防講座を開催する。 ③介護予防応援WEBサイト製作事業:介護予防に役立つ情報を集約し、市民に情報発信するためのWEBサイトをホームページ上に開設する。 ④人生100年時代のマネジメント講座:健康、口腔、栄養、お金等をテーマに各専門講師を招いた講座を開催する。 ⑤フレイル予防事業:トレーナーやサポーターの育成や研修を実施し、地域ごとにフレイルチェックを開催する。			感染症対策を講じたうえで、①介護予防講演会 ②はつらつシルバーのつどい ③人生100年時代マネジメント講座の各事業を計画通り実施するとともに、介護予防応援Webサイトの動画や写真のリニューアル、掲載内容の充実を行うことで、介護予防の普及啓発を図ります。		
				指標に係る評価		
事業費	1,737千円	活動指標	介護予防講演会参加者数	達成率	新型コロナウイルス感染症の影響により、介護予防講演会は、2年連続の中止となった。はつらつシルバーのつどい事業は、感染症対策を講じて開催を行ったが、感染拡大前の状態に戻ることなく、目標を大きく下回る結果となりました。	
			目標	160		C
			実績	0		
単位	人					
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	高齢者の住民主体の通いの場の設置数	達成率	昨年度より減少したが、普及啓発の成果により目標値を上回る結果となりました。	
			目標	62		A
			実績	64		
単位	箇所					

No.85	事務事業名	介護予防サポートリーダー養成事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	養成講座、フォローアップ研修を実施し、介護予防サポートリーダーの育成を図るとともに、介護予防事業への参加を通じて、高齢者の特徴やかかわり方を学び、それぞれの住む地域の公民館等で、高齢者が定期的に交流が図れる「公民館カフェ」「高齢者通いの場」等の担い手として活躍できるように支援を行う。 令和4年度 169名			介護予防サポートリーダーも高齢化になるため、毎年、新規の方を対象とした介護予防サポートリーダー養成講座が必要となります。地域での介護予防の普及や実践を行っていく上でも、介護予防サポートリーダーのフォローアップ研修は重要ですので、継続し支援していく必要があります。		
				指標に係る評価		
事業費	550千円	活動指標	介護予防サポートリーダーの登録者数	達成率	介護予防サポートリーダー養成講座を開催し、新たに22名のサポートリーダーが登録となりました。フォローアップ研修を9回開催(延べ279名参加)し、知識の取得や技術のスキルアップが図られました。	
			目標	155		A
			実績	169		
単位	人					
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	地域活動の参加者数	達成率	設置数が昨年度より減少しましたが、普及啓発事業の成果により目標値は上回る結果となりました。	
			目標	450		A
			実績	850		
単位	人					

No.86	事務事業名	高齢者交流の場促進事業		評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続	
事業内容	住民主体のボランティアによる通いの場(公民館カフェ・コミュニティカフェ)を地域で月1回~週1回以上開催し、レクリエーションや運動、交流などを行う団体に、活動費の補助を行い、地域での支え合いの環境づくりや高齢者が身近な地域での社会参加できる介護予防の拠点づくりを行う。			面積が広い本市にあっては、身近に通いの場あることが理想ですが、地域によってバラつきがあることが課題です。通いの場の数は増えていますが、補助金交付額も増加しています。補助金適正化ガイドラインに沿って見直していきます。		
				指標に係る評価		
事業費	3,996千円	活動指標	高齢者交流の場補助金交付数(公民館カフェ・コミュニティカフェ等)	達成率	補助金交付の説明会を開催し、制度の理解を図りました。また、事務手続きについてもスムーズに行えるよう指導した結果、56か所の支援を行うことができました。	
			目標	50		A
			実績	56		
単位	箇所					
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	高齢者の住民主体の通いの場の設置数	達成率	設置数が昨年度より減少しましたが、普及啓発事業の成果により目標値は上回る結果となった。	
			目標	62		A
			実績	64		
単位	箇所					

事業評価結果(評価No.1~203)

No.87	事務事業名	介護支援ボランティア事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	ボランティア登録者が「受入施設で行ったボランティア活動」や「市等が行う介護予防に資する講演会等への参加」の活動を行うごとにポイントを付与し、年度末に本人の申し出により活動交付金を交付することで、ボランティア継続のモチベーションアップ、住民主体の介護予防活動の創出や自身の介護予防につなげる。				当該制度のPRをイベント・情報誌等で広く行い、ボランティア登録者数、事業者数等を増やし、高齢者の社会参加活動を通じた介護予防を推進していきます。	
					指標に係る評価	
事業費	652千円	活動指標	ボランティア研修の開催		達成率	A
			目標	5		
			実績	15		
			単位	回		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	ボランティア新規登録者数		達成率	A
			目標	5		
			実績	15		
			単位	人		

No.88	事務事業名	地域リハビリテーション活動支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	地域における介護予防の取組を機能強化するため、通所介護事業所、訪問介護事業所、住民主体の交流の場等にリハビリ専門職を派遣し、自立支援の観点から効果的に介護予防に取組めるよう技術的助言を行っていく。				今後も事業を継続するため、参加者、従事者のニーズにあった充実した事業が展開できるように、事業の改善に努めます。 また、専門職のスキルアップに向けた研修への取り組みについても実施していきます。 なお、地域密着型サービス事業所への機能訓練・口腔機能向上・栄養改善の取組を推進するため、継続して市内事業所において開催していきます。	
					指標に係る評価	
事業費	165千円	活動指標	住民主体の交流の場への支援		達成率	B
			目標	9		
			実績	1		
			単位	回		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	元気高齢者の割合		達成率	B
			目標	87.3		
			実績	86.5		
			単位	%		

No.89	事務事業名	総合相談事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	電話や来所による相談の受付後、必要に応じ、家庭訪問等による実態把握とチームアプローチで相談支援を行う。				高齢者の増加に伴い、認知症の方、身寄りのない方、8050問題等支援困難ケースや虐待対応が増加しています。課題解決が図れるよう職員のスキルアップを図ると共に人員体制を整備し機能強化を図ります。	
					指標に係る評価	
事業費	3,320千円	活動指標	総合相談件数		達成率	A
			目標	4,100		
			実績	6,784		
			単位	件数		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	総合相談解決件数		達成率	A
			目標	6,784		
			実績	6,784		
			単位	件		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.90	事務事業名	権利擁護事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	高齢者虐待への対応、虐待防止法の周知・啓発活動。成年後見制度の普及・啓発活動。 高齢者が消費者被害に遭わない為の啓発活動。				権利擁護支援が必要な場合において、支援困難な状況になる前から予防的アプローチができるように、普及啓発を行いながら早期発見に努めます。特に、身寄りのない高齢者の増加から地域包括支援センターの強化を行い、関係機関と連携しながら権利擁護支援を行える体制を整えられるようにしていきます。	
					指標に係る評価	
事業費	71千円	活動指標	普及啓発活動回数		達成率	B
			目標	20		
			実績	11		
			単位	回		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	高齢者虐待通報相談件数		達成率	A
			目標	15		
			実績	19		
			単位	件		

No.91	事務事業名	地域包括支援センター運営事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	地域包括支援センターの運営。 地域包括支援センター運営協議会の開催。				介護保険法に基づき運営を行っているため、今後も継続運営を行います。虐待や困難事例等の複雑化・増加により、支援に係るアプローチも増加している現状があります。困難事例への対応を的確にタイミングを逃さず支援するには、三職種(主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士)のチームアプローチは不可欠で、それぞれの専門性を発揮することで地域包括ケアの推進につながります。今後さらに増加する多問題を内包する事例への支援に対応するためには、専門職の確保充実を行い、地域包括支援センターを運営していくことが重要になります。	
					指標に係る評価	
事業費	32,858千円	活動指標	地域包括支援センター運営協議会開催数		達成率	A
			目標	2		
			実績	4		
			単位	回		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	/		達成率	/
			目標	/		
			実績	/		
			単位	/		

No.92	事務事業名	地域ケア会議推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	支援困難型地域ケア個別会議・自立支援型地域ケア個別会議等を開催し地域課題を抽出し、抽出された地域課題を解決するために地域ケア推進会議で検討する。				自立支援型地域ケア個別会議や支援困難型地域ケア個別会議は、個別の生活課題から地域の生活課題を抽出するためのツールとして機能しています。高齢者の生活課題が複雑化している中で医療、介護等の専門家から課題に対する意見は貴重であり課題解決のための意見にもなっています。地域ケア推進会議は課題解決のための意見をまとめ上げる機能と必要に応じて政策提言をする機能があるので継続して開催します。	
					指標に係る評価	
事業費	354千円	活動指標	支援困難型地域ケア個別会議開催回数		達成率	A
			目標	6		
			実績	15		
			単位	回		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	地域課題のカテゴリーの抽出		達成率	A
			目標	1		
			実績	5		
			単位	件		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.93	事務事業名	介護給付等費用適正化事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	・住宅改修の点検 受給者の動線の確認と理学療法士、作業療法士の意見を参考にケアプランとの整合性を点検、施工指導を行う。 ・介護給付費通知 受給者本人(家族)に対し、サービスの請求状況・費用等について通知する。 ・ケアプラン点検 介護支援専門員が作成した居宅介護サービス計画書等の記載内容を事業者から提出や訪問調査により点検・指導する。				限られた財源や時間を有効活用し、効果を最大限に上げるため、効率的にケアプラン点検等を実施できるよう、適宜、PDCAサイクルによる進捗管理を行います。	
	指標に係る評価					
事業費	3,790千円	活動指標	住宅改修の事前確認件数	達成率	第6次ほくとゆうゆうふれあい計画に位置付けられた介護給付等費用適正化事業の取組と目標の数値と整合しています。	
			目標	85		B
			実績	64		
単位	件					
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	不適切な給付の発見件数	達成率	国保連の給付適正化システムから提供される情報を活用し点検を行った結果、不適切な給付は見られませんでした。	
			目標	0		A
			実績	0		
単位	件					

No.94	事務事業名	家族介護支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	介護者同士の交流を促進し、介護者の精神的負担の軽減を図るとともに、介護家族が適切な介護知識や技術を習得できるよう教室を開催する。				要介護者の増加に伴い、家族介護者が精神的、身体的に大きな負担を抱えるケースも増えています。家族介護者が抱えている問題を共有し、社会全体で家族介護者を支えていくためには、今後も介護者交流会を継続していく必要があります。	
	指標に係る評価					
事業費	250千円	活動指標	交流会の開催回数	達成率	介護者交流会は男性介護者のつどいを「ほくと男性介護者を支える会」に委託して行っています。男性介護者のつどいでは健康づくりを兼ねた講座や楽しみながら参加できる講座を定期開催し、バラエティーに富んだ内容となっています。	
			目標	6		A
			実績	12		
単位	回					
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	交流会の参加者数	達成率	男性介護者のつどいでは、バラエティーに富んだ内容となっており、介護者のみならず、支援者も参加し、介護家族の支援を行っています。また、介護者の身体的・精神的負担の軽減につながっています。	
			目標	250		B
			実績	221		
単位	人					

No.95	事務事業名	介護用品支給事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	介護用品(紙おむつ等)を次の限度額の範囲内において、月に1回在宅へ直接配達(現物支給)する。 ・要介護4・5 月限度額6,000円 * R3より課税世帯の場合年6万円までの支給制限あり ・要介護1~3、要支援1・2で介護認定調査票における排尿・排便が全介助の者 月限度額4,000円 ・要介護1~3、要支援1・2で介護認定調査票排尿・排便が一部介助の者 月限度額2,000円				現在、地域支援事業の任意事業で予算措置されてるが、国が事業見直しの方向を示してきており、R6年度よりは地域支援事業の交付金対象外となる予定。そのため、介護用品を必要とする高齢者を介護する者の身体的・精神的・経済的負担を軽減することを目的を考慮の上、事業の方向性や、財源確保について協議していく必要があります。	
	指標に係る評価					
事業費	5,125千円	活動指標	要介護者認定件数(おむつ支給者数)	達成率	介護用品支給事業実施要綱に基づく、在宅の要介護者の支給認定の決定を行っています。	
			目標	175		A
			実績	227		
単位	人					
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	支給回数(延べ人数)	達成率	介護用品を支給することで、介護者の精神的、経済的負担の軽減につながっています。	
			目標	1,550		A
			実績	1,636		
単位	件					

事業評価結果(評価No.1~203)

No.96	事務事業名	成年後見制度利用支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	①成年後見制度の申立てに係る費用の助成(収入印紙代、郵便切手代、診断書及び鑑定料その他申立てに必要なもの) ②成年後見人等の報酬に係る費用の助成(在宅生活の場合は月額28,000円、施設入所の場合は月額18,000円)				成年後見制度を利用促進していくための中核的な機関の設置がれたため、必要時には連携を図り、成年後見制度が必要な方が適切に制度活用ができるようにしていきます。	指標に係る評価
					指標に係る評価	
事業費	74千円	活動指標	普及啓発活動回数		達成率	成年後見制度を知ってもらえるように、関係機関にポスター及びパンフレットを配布しました。
			目標	15		
			実績	10		
			単位	回		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	申立て費用、報酬の助成をした数		達成率	成年後見制度の利用促進を目的とし、実務的な所管を福祉課に設け、中核的な機関が設置されたため、必要時には連携を行い対応しました。
			目標	4		
			実績	8		
			単位	人		

No.97	事務事業名	認知症サポーター等養成事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	一般市民・小中高校・民生委員などの希望者に対して、認知症の正しい理解と認知症の方への対応方法を学ぶ「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域で認知症の人と家族を支えるサポーターを養成する。また認知症サポーター養成講座の企画・運営を行うキャラバン・メイトへのフォローアップ研修を行い、自主的な活動の場を増やす。				今後も市民が認知症についての理解を深め、地域全体で支援できる体制を構築するため、幅広い年齢層の市民に対して養成講座を実施していきます。また、認知症サポーター養成講座を受けた方がステップアップ講座を受け、地域で活躍できる人材を増やしていきます。	指標に係る評価
					指標に係る評価	
事業費	194千円	活動指標	認知症サポーター養成講座の開催数		達成率	キャラバンメイトのチームによる活動が広がっています。キャラバンメイトが主体的に開催した数も増え、主体的に活動出来てきています。
			目標	20		
			実績	24		
			単位	回		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	認知症への理解及び認知症サポーターの役割の理解度		達成率	認知症サポーターの役割の理解については、講座実施前後で理解度は上がっています。また、認知症サポーター養成講座終了者の人数は毎年増加しており、認知症の理解が出来ている市民が増えています。
			目標	90.0		
			実績	81.2		
			単位	%		

No.98	事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	1.医療機関・介護保険事業者等マップ作成。2.医療・介護関係者等による会議の開催。3.医療・介護関係者間の情報共有ツールの整備。4.在宅医療・介護連携相談窓口の設置。5.多職種対象の「グループワーク」や「研修会」の開催。6.在宅医療・介護の市民向け講演会等の開催。				地域包括ケアシステムの構築は重要であり、本市の現状や課題を分析して市民を含め、在宅医療・介護に従事する職種が互いに理解し協力して構築に向けて継続的に取り組む必要があります。取り組むべき方向性を今後は体系的に整理して、推進会議を中心にPDCAを図りながら、よりよい体制づくりを実現していくことが大切です。	指標に係る評価
					指標に係る評価	
事業費	3,418千円	活動指標	医療・介護関係者の研修会開催回数		達成率	在宅医療・介護従事者が研修会に参加して様々な内容をグループワークする中で、連携の必要性について考える機会となりました。
			目標	3		
			実績	6		
			単位	回		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	在宅医療・介護の市民公開講座参加人数		達成率	市民へ普及啓発の機会として多数参加が見込まれる講演会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。感染症拡大の懸念から啓発の機会が減少していることを鑑み今回は、環境を十分に考慮して少人数を対象にした講座の開催をし、ACPなど市民が身近な人とするきっかけづくりとなりました。多職種研修会では多数の従事者が参加し、相互職種の理解につながり連携について考える機会となりました。
			目標	100		
			実績	57		
			単位	人		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.99	事務事業名	生活支援体制整備事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	①生活支援・介護予防サービスの体制整備に関する協議体を開催し、協議体の機能と役割、今後の取り組み等について協議を行う。 ②地域の中学校区域といわれる第2層協議体を各町に設置し、住民主体型の支え合い地域づくりを構築する。 ③住民主体による移動・外出支援として「外出支援サービスモデル事業」を実施、検証し、交通弱者等への移動手段への支援について方向性を検討する。				高年齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、在宅生活を支えるすそ野を広げるため、生活支援・介護予防サービスの開発や担い手の養成、地域住民や介護事業所などの関係者間のネットワークを構築し、話し合いの場である協議体を通じ、生活支援体制を充実させていきます。また、住民主体による介護予防活動の創出・継続支援や高齢者の通いの場などの介護予防機能強化などにより、住民が気軽に介護予防に取り組むことのできる拠点づくりや多様な主体による生活支援・介護予防サービスの支援体制の充実を図る活動を行えるよう支援をしていきます。	
					指標に係る評価	
事業費	15,904千円	活動指標	第1層協議体の会議の開催数	達成率	第1層協議会を1回実施し、第2層生活支援コーディネーターを2名配置しました。また、地域支えあい地域づくりの話し合いの場となる第2層協議体の設置に向けて、市社会福祉協議会と連携を図り勉強会、研修会等を毎月定例で実施し、支え合いの地域づくり事業の推進を図ります。	
			目標	3		B
			実績	1		
単位	回					
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	高齢者外出支援モデル事業実施団体	達成率	支え合い外出支援サービスモデル事業として、2地区1団体での活動を行いました。毎月1回の定例会を実施し、ボランティア会員や利用者の声を聞き、運営方法等について協議、検討を行い事業に取り組みました。また、モデル事業終了に伴い、H29年度からR4年までのモデル事業の検証を行い、検証結果をまとめ、訪問型サービスDの要綱策定に繋がったと言えます。	
			目標	3		A
			実績	1		
単位	団体					

No.100	事務事業名	認知症総合支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	①認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築するため、認知症専門医等による「認知症初期集中支援チーム」を配置する。 ②認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員を配置し、医療・介護等の連携の強化等を図る。 ③認知症ケアに携わる多職種協働のための研修会などを行う。 ④認知症で行方不明になる恐れがある方の支援体制を整えていく。				今後も認知症への理解を深めるため一般市民への普及啓発を行います。認知症になっても住み慣れた地域で適時、適切な医療・介護の提供を行えるよう体制を整備し、認知症の方・家族が安心して生活出来る仕組みづくりを行っていきます。	
					指標に係る評価	
事業費	5,138千円	活動指標	認知症初期集中支援チームの配置	達成率	認知症初期集中支援チームは1か所配置しましたが、チーム員の欠員により、稼働が出来なくなりました。多職種協働研修会を2回開催し、顔の見える関係作りとそれぞれの職種で出来る事の意見交換は出来ました。	
			目標	2		B
			実績	1		
単位	箇所					
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	多職種協働研修会の参加者人数	達成率	研修会に参加し、多職種が協働して取り組むことで、医療・介護の現場において、認知症への対応力や専門性の向上が図れています。また、顔の見える関係作りの一助ともなり、連携を図ることも出来ています。	
			目標	80		A
			実績	91		
単位	人					

事業評価結果(評価No.1~203)

No.101	事務事業名	救急医療体制負担金			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	初期救急及び二次救急時と休日夜間における医療対応 小児救急医療研修会への参加 こども救急ガイドブックの配布				今後も引き続き、安心して受けられる医療体制づくりのため、救急医療体制を維持していく必要があります。	
					指標に係る評価	
事業費	23,893千円	活動指標	初期救急及び二次救急における延べ診療人数		達成率	A
			目標	167		
			実績	299		
		単位	人		救急時に受診する件数は例年横ばいでしたが、コロナ禍により、受診件数が急増しました。	
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	初期救急及び二次救急時における医療体制		達成率	A
			目標	2		
			実績	2		
		単位	病院		小児救急や輪番型病院の体制は確立しています	

No.102	事務事業名	休日夜間急患診療体制整備事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	休日の日中及び平日の夜間時の救急医療体制を韮崎市・甲斐市(旧双葉町)と共同で北巨摩医師会へ委託し、診療事業を実施(在宅当番医制)				今後も引き続き、安心して受けられる医療体制づくりのため、在宅当番医制を維持していく必要があります	
					指標に係る評価	
事業費	33,696千円	活動指標	休日及び夜間における当番医数		達成率	A
			目標	44		
			実績	44		
		単位	病院		休日夜間時に受診する人数は、コロナ禍により、特に休日の患者が急増しました。	
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	休日及び夜間における患者延べ人数		達成率	A
			目標	888		
			実績	1,291		
		単位	人		延べ診察日数は、若干減少しました。	

No.103	事務事業名	健康づくり推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	いいことチャレンジ2022 ・市民が、9月の健康づくり普及月間にあわせて実施した健康づくり活動を報告し、取り組んだ健康づくりの内容を周知することで市民の健康づくりのきっかけづくりとする。 ・健康づくりに取り組む市民や団体などにインタビューを行い、継続の秘訣などを聞きながら健康づくりの実践例の紹介を通じ、健康づくり活動を身近に感じてもらい、何か始める気運を高める。				第3次健康増進計画を策定するために実施した市民アンケートでは、いいことチャレンジの認知度は21.6%で、市民のおよそ8割が事業を知らないという結果でした。令和4年度からは、事業の周知と定着化を図るため、健康づくりをしている市民団体や個人の紹介をCATVや広報で始めました。引き続き周知をすすめ、より定着するために事業を長く続け、9月だけでなく年間を通して健康づくりにチャレンジしていける環境づくりをしていきます。	
					指標に係る評価	
事業費	134千円	活動指標	いいことチャレンジ2022普及啓発手段数		達成率	A
			目標	15		
			実績	15		
		単位	手段		いいことチャレンジ2022を9月の健康増進普及月間にあわせて実施しました。事業を広く周知するため、保健福祉推進員・食生活改善推進員・北杜市母子愛育会等の組織や小中学校保護者・市内商業施設・温泉施設などへのちらし等の配布、支所へののぼり旗の設置や広報・ホームページ・CATV・LINEへの掲載など、周知を積極的に行いました。CATVでは、健康づくりをしている市民団体を紹介することができました。	
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	いいことチャレンジ2022参加者数		達成率	A
			目標	2,500		
			実績	3,650		
		単位	人		新型コロナウイルス感染症の蔓延によりイベントが制限され、集団で健康活動を実施した報告が減少し、個人での活動報告が増加しました。令和4年度から指標を取組回数から取り組み報告件数に変更しました。令和2年度から一旦落ち込んだ報告件数ですが、令和4年度は昨年度よりも多くの方に報告をいただきました。取り組み項目別の延べ件数は令和3年度は577件だったところ令和4年度は約2倍に増加しました。	

事業評価結果(評価No.1~203)

No.104	事務事業名	食生活改善推進員養成・活動事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい食生活改善推進員を養成するために講習会を実施する。</li> <li>・食生活改善推進員が地域で開催する研修会や勉強会を支援する。</li> <li>・食生活改善推進員は食を通じた健康に関する知識・情報・技術を身につけ、習得したものを地域の人々に講話や調理実習で周知していく。</li> </ul>				食生活改善推進員の組織を維持し、地域における活動をさらに推進していくことが、地域の食育を推進し、自分の健康を自分で守るための知識を市民が深めることに繋がります。また、食生活改善だけでなく、母子や介護、福祉に係る地域に密着したボランティア活動も行っています。会員が徐々に減少していますが、現状の活動が維持できるように新規会員を増やすとともに、より効果的な活動方法を検討していきます。	
指標に係る評価						
事業費	1,469千円	活動指標	代表者研修会開催数	達成率	養成講習会は隔年実施のため今年度は実施していません。代表者研修会は、(株)はくばくと連携協定による大妻の勉強会を各地区代表者を対象に実施しました。令和3年度は中止でしたが、今年度は感染対策をしながら調理実習も含めて実施することができ、食の知識を深め、スキルアップを図ることができました。	
			目標	4		
			実績	4		
			単位	回	食生活改善推進員による地域での地区伝達講習会は、新型コロナウイルス感染症も3年目となったため対策をしながら活動拡大を目指しました。しかしながら、地域での感染症対策の状況から開催ができず、令和3年度よりさらに減った結果となりました。食の情報提供をちらしの配布で実施しましたが、地区伝達講習会開催としての目標は達成することができませんでした。	
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	地区活動回数	達成率		
			目標	160		
			実績	103	C	
			単位	回		

No.105	事務事業名	健康づくり推進協議会運営事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次北杜市健康増進計画の策定、推進、評価を審議する。</li> <li>・健康づくりに関する知識の啓発・普及に関すること等について審議する。</li> <li>・保健、医療、福祉、教育等の代表者15人に2年間の任期で委嘱する。</li> </ul>				各種団体の代表者で構成される健康づくり推進協議会での意見は、市民の意見を反映したものです。委員の意見を事業に反映することや市の事業を委員へ説明することで理解を深めていただくことができます。お互いに協働して健康づくり事業を推進するための大切な機会ととらえて継続して実施していきます。	
指標に係る評価						
事業費	73千円	活動指標	協議会開催回数	達成率	第3次北杜市健康増進計画に基づいた議題とし、今年度は重点目標「健康管理」についてご意見をいただきました。予定通り3回開催することができましたが、2回目は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため書面会議としました。いただいたご意見を参考に、令和5年度の事業計画をたてることができました。	
			目標	3		
			実績	3		
			単位	回	第3次北杜市健康増進計画が策定されたことから、指標を「週2回以上運動する人の割合」から「運動をしていない人の割合」としました。令和元年度は、52.4%のところ令和4年度は50.6%と減少しています。健康に関する正しい知識を周知することで、更なる減少を目指しますが、効果的な情報周知ができるよう、健康づくり推進協議会で委員のご意見をいただいています。	
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	運動をしていない人の割合	達成率		
			目標	50.0		
			実績	50.6	B	
			単位	%		

No.106	事務事業名	自殺対策強化事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成事業(地域の支援者の育成・確保):ゲートキーパーの養成</li> <li>・普及啓発事業:こころの体温計チェックサイトの開設、9月の自殺予防週間・3月の自殺対策強化月間の際に広報に記事を掲載、こころの健康相談窓口のチラシ・リーフレットの配布、こころの健康づくり講演会の実施</li> <li>・メンタルヘルス事業:市内高校生への講演会、小中学生への授業</li> <li>・ハイリスク地対策:市内ハイリスク地への対策の実施</li> </ul>				自殺は追い込まれた上での死であり、その対策は、行政と地域が一体となって取り組んでいく必要があります。一人でも多くの命を救うためには、継続的な活動が必要となります。市民の自殺を防ぐための普及啓発活動に加え、ハイリスク地での自殺を防ぐための対策事業の実施をしていきます。	
指標に係る評価						
事業費	2,236千円	活動指標	ゲートキーパー養成講座開催回数	達成率	ゲートキーパー養成事業は、学童保育支援員、市職員、医療介護関係者を対象に開催し、合計139名がゲートキーパーの役割について理解を深めることができました。高校生メンタルヘルス事業では、市内2高校の高校生473名に実施しました。	
			目標	2		
			実績	5		
			単位	回	住居地ベースの自殺率です。自殺率が減少していくためには、市民・地域・市が一体となって一人ひとりのこころの健康と地域で支える体制づくりが必要です。自殺対策計画に基づく事業を続けていくことが自殺率減少につながっていきます。	
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	自殺率(居住地)	達成率		
			目標	13.0		
			実績	15.1	B	
			単位	%		



事業評価結果(評価No.1~203)

No.107	事務事業名	保健福祉推進員活動事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	・研修会の開催 1回目:委嘱状の交付、推進員の役割と活動について説明 2回目:北杜市の現状説明、健康セミナー 3回目:1年間の活動の振り返り				指標に係る評価	
					地域での担い手不足や、他の役職との兼務の負担を訴える地域もあり、地区ごとの選出数の見直しや、保健福祉推進員の役割、今後の活動内容について、地域のニーズを把握しながら検討していく必要があります。保健福祉推進員になることで、地域の実情を把握しやすく、顔なじみの関係で健康づくりの活動を誘い合っていくことで、地域に密着し継続した活動につながるため、地域の健康づくりの要として今後も継続していけるように研修会の内容等を工夫していきます。	
事業費	534千円	活動指標	研修会実施回数		達成率	B
			目標	3		
			実績	2		
		単位		回		
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	地域の健康や活動の理解度		達成率	B
			目標	100		
			実績	92.0		
		単位		%		

No.108	事務事業名	健康相談事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	・本庁で総合相談窓口を開設し、市民の健康問題について、対面・電話・訪問等による指導、助言を行う。 ・総合健診結果報告会として各地区を巡回し、精密検査の受診勧奨や個々の生活状況にあった生活習慣の改善に向けた指導、支援を行う。 ・口腔内の環境を改善し歯周疾患の増加を防ぐため、総合健診時に歯科衛生士による歯科相談、歯磨き指導等を行う。				指標に係る評価	
					生活習慣病や重症化予防に対する相談指導は、市民の身体的負担の軽減に加え、医療費の抑制にもつながるため、継続した取り組みを行うことが必要です。市民が自身の健康状況を知り、適切な医療を受ける助けとなることで、健康寿命を延伸する効果が期待でき、生き生きとした健康的な市民が増えます。生活習慣の改善や数値の改善には、市民自身の気づきや行動の変容、長期的な継続が必要となります。改善に向けた専門職の寄り添った相談体制を維持するとともに、自身の健康に関心を持ち、行動できる市民を増やすための周知活動も積極的に実施していきます。	
事業費	642千円	活動指標	所内相談窓口開設日		達成率	A
			目標	243		
			実績	243		
		単位		日		
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	総合健診で血圧が正常な人の割合		達成率	B
			目標	63.7		
			実績	59.1		
		単位		%		

No.109	事務事業名	健康診査事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	各種がん検診(子宮頸がん検診を除く)は、総合健診として8地区の公共施設にて実施します。 ・胃がん検診:胃部X線検査 ・肺がん検診:胸部X線検査、肺ヘリカルCT検査 ・大腸がん検診:便潜血検査 ・肝がん検診:腹部超音波検査 ・乳がん検診:乳房X線(マンモグラフィ)検査、乳腺超音波検査 ・前立腺がん検診:PSA検査 子宮頸がん検診は医療機関に委託して実施。(子宮頸がん検診:細胞診検査)				指標に係る評価	
					がんによる死亡率を減少させるために、今後もがん検診を実施し市民に受診の機会を提供していきます。また、がん検診受診の必要性について機会を捉えて周知や受診勧奨を実施するとともに、受診しない理由などを調査分析し、周知方法や勧奨方法を工夫していきます。	
事業費	76,335千円	活動指標	がん検診の実施日数		達成率	A
			目標	45		
			実績	45		
		単位		日		
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	大腸がん検診受診率		達成率	B
			目標	23.1		
			実績	23.2		
		単位		%		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.110	事務事業名	健康教育事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防教室:病態別健康教室</li> <li>・健康教室</li> <li>・地区別健康教室:出前講座</li> <li>・市民健康公開講座</li> <li>・運動施設、自主グループ一覧表作成</li> </ul>			<p>情報が氾濫する社会の中で、正しい情報を選ぶための方向性を示す必要があり、それが市の役割と考えています。健康診断の受診で自分の体の現状を知ると同時に、ポピュレーションアプローチとして多くの市民に必要な情報を伝え、選べる機会として健康教育の場を設けていきます。</p>		
				指標に係る評価		
事業費	687千円	活動指標	健康教室開催数	達成率	<p>新型コロナウイルス感染症も3年目となり徐々に活動を再開する地区もあり、出前講座の回数が増加しました。健康教室は今年度から「かかりつけ医による講演会」として身近な市内の開業医に講師をお願いしました。今後シリーズ化して市民の健康管理の一助としていきたいです。市民公開講座の集客は、今年度も実施せず、収録した録画をYouTubeで配信しました。また、概要版を作成し新聞折り込みで周知しました。</p>	
			目標	20		B
			実績	14		
			単位	回		
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	健康教室参加者数	達成率	<p>出前講座の回数が増加したことや、健康教室の開催で参加者数が増加しました。市民公開講座はYouTube配信としたため、視聴人数や講座の理解度がわからず評価ができませんでした。今年度は新聞折り込みも行い、インターネット環境のない市民へも周知をすることができました。</p>	
			目標	200		B
			実績	209		
			単位	人		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.111	事務事業名	後期高齢者健康診査事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	山梨県後期高齢者健康診査事業実施計画に基づき、後期高齢者医療被保険者を対象に、集団検診による特定健診の検診項目(腹囲を除く)を実施する。				受診率向上のため、引き続き高齢者への事業の周知を行っていきます。	指標に係る評価
					指標に係る評価	
事業費	0千円	活動指標	達成率		健康増進課と国保年金課高齢者医療担当と国保担当で連絡会議等を行うなど情報を共有する中で受診率向上の方策に努めていますが、健康診査事業の活動主体は健康増進課であるため、活動指標は未入力とします。	
			目標			
			実績			
担当課	福祉保健部国保年金課	成果指標	健康診査受診率		達成率	B
			目標	28		
			実績	26		
			単位	%		
目標達成のため、高齢者の健康管理に対する意識の向上を図ります。 コロナ禍の影響が続いていますが、感染症予防対策を行い、受診も事前予約で行うなどの工夫をし、受診率はコロナ禍前の水準に戻りつつあります。						

No.112	事務事業名	特定健康診査・保健指導事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	北杜市特定健康診査等実施計画に基づき、総合健診(集団健診)及び人間ドックにおいて、国民健康保険被保険者の40歳~74歳の受診対象者に対して、特定健康診査・特定保健指導を実施する。				健診対象者への希望調査を行い、市内各町の巡回健診や医療機関で受診する人間ドックを実施しました。巡回健診は45日間9ヶ所、特定保健指導(巡回健診)は24日間8ヶ所で行いました。 引き続き健康増進課と連携して受診勧奨していきます。	指標に係る評価
					指標に係る評価	
事業費	74,622千円	活動指標	特定健診周知件数		達成率	A
			目標	9		
			実績	9		
担当課	福祉保健部国保年金課	成果指標	特定健康診査受診率		達成率	A
			目標	58		
			実績	47(暫定)		
			単位	%		
令和5年度以降も受診率60%を達成出来るよう、国保連と連携し未受診者対策をしていきます。						

No.113	事務事業名	疾病予防事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	レセプト点検の強化、医療費通知の実施、第三者求償事務の充実、医療機関における適正受診の普及啓発、柔道整復療養費の適正化への取組、ジェネリック医薬品希望カードの作成やジェネリック医薬品差額通知などの医療費適正化対策を実施する。				引き続き医療費適正化対策を行い、医療費を抑制していきます。	指標に係る評価
					指標に係る評価	
事業費	5,342千円	活動指標	ジェネリック医薬品利用促進通知発送数		達成率	A
			目標	471		
			実績	471		
担当課	福祉保健部国保年金課	成果指標	ジェネリック医薬品利用率		達成率	B
			目標	80		
			実績	78		
			単位	%		
ジェネリック医薬品利用率を上げるため、通知発送作業は継続し、医療費を抑制していきます。						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.114	事務事業名	子ども・子育て会議事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	「北杜市子ども・子育て支援事業計画」の基本施策等について、計画期間である令和2年～令和6年度(令和4年度)の進捗状況について評価検証を行う。また、子育て施策全般について必要に応じ意見を聴取し、施策に反映させていく。				必要に応じて会議を開催し、子育てに関する多様化したニーズに対し、意見を収集し、実行した事業の評価と検討を繰り返す、よりよい施策に反映していきます。	
指標に係る評価						
事業費	124千円	活動指標	子ども・子育て会議開催回数	達成率	子育て支援に関する会議であり、必要に応じて開催しています。そのため、開催回数等の目標は設定せず、実績数値のみとします。	
			目標	A		
			実績			
			単位		回	
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	子ども・子育て会議議題件数	達成率	子育て支援に関する会議であり、必要に応じて開催しています。そのため、議題件数等の目標は設定せず、実績数値のみとします。	
			目標	A		
			実績			
			単位		件	

No.115	事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	ひとり親家庭の親と子に対して、医療費の一部負担金として負担すべき額を医療費助成金として支給し、医療費を無料化する。医療費助成金の支給は、窓口無料化または償還払いによって行う。対象者の所得税が非課税等の所得制限がある。北杜市の独自施策として、入院時食事療養費の助成も償還払いにて令和元年12月から実施している。令和3年6月には制度改正し、その対象を中学3年生までから、高校3年生までに拡大した。				ひとり親家庭の経済的負担の軽減のため、現状維持を保ちます。	
指標に係る評価						
事業費	18,113千円	活動指標	助成件数	達成率	ひとり親家庭の医療費の助成を行っています。	
			目標	A		
			実績			
			単位		件	
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	受給家庭数	達成率	ひとり親で対象となる世帯の医療費に対し助成を行っています。	
			目標	A		
			実績			
			単位		件	

No.116	事務事業名	子ども医療費助成事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	高校3年生までの子どもの入院・通院にかかる医療費の一部負担金の額を、保護者に対し医療費助成金として支給し、医療費を無料にする。助成金の支給は、窓口無料化または償還払いによって行う。※令和3年10月から対象年齢を、中学3年生までから高校3年生までに拡大した。				北杜市独自の施策として、入院時食事代の助成については令和元年12月から拡大し、医療費助成対象の範囲については令和3年10月から高校3年生まで拡大したところです。	
指標に係る評価						
事業費	146,452千円	活動指標	助成件数	達成率	子育ての経済的負担を軽減するとともに、子どもの健やかな成長に寄与するための医療費の助成を行っています。	
			目標	A		
			実績			
			単位		件	
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	受給者数	達成率	子育ての経済的負担を軽減するとともに、子どもの健やかな成長に寄与するための医療費の助成を行っています。令和3年度に医療費助成対象を高校3年生まで拡大したことから、制度変更の周知も広く行いました。	
			目標	A		
			実績			
			単位		人	

事業評価結果(評価No.1~203)

No.117	事務事業名	放課後児童クラブ事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	小学校の放課後や夏休み等の長期休業中に支援員等の指導のもと、児童が遊びや生活を通して成長発達することを基本として保育等を行う。			年度初めに登録申請をされた児童数を基に、支援員等の配置を見直したり、受け入れの学年分けを見直したり、小学校の空き教室等の利用を学校と協議するなどして、待機児童を出さないための運営に努めます。 児童数が減少傾向にありますが、放課後児童クラブの利用率は上昇傾向にあります。子ども・子育て支援事業計画による推計状況を基に、必要に応じて事業等の拡大も検討する必要があります。事業の拡大にあたっては、支援員等の確保と育成も必要となります。	
指標に係る評価					
事業費	148,889千円	活動指標	待機児童数	達成率	15施設全体としては730名の定員内に収まっています。ただし、核家族化、共働き、自営の保護者の増加の傾向が見られ、地域によっては(高根東・高根西・長坂・小淵沢)年度途中からの新規受け入れが難しい場合があります。支援員不足が、追加入力ができない要因にもなっています。
			目標	A	
			実績		
			単位		人
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	登録児童数(R4.5.1時点) 成果指標は定員数	達成率	年度初めに登録申請をされた児童数を基に、支援員等の配置を見直したり、受け入れの学年分けを見直したり、小学校の空き教室等の利用を学校と協議するなどして、待機児童を出さないための運営に努めました。
			目標	B	
			実績		
			単位		人

No.118	事務事業名	児童館運営事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	(1)健全な遊びを通じて、児童の集団及び個別指導の実施並びに中学生、高校生等の自主的な活動に対する支援を行う。(2)母親クラブ、子どもクラブ等の地域組織活動の育成助長及びその指導者の養成を図る。(3)子育てに対して不安や悩みを抱える母親からの相談に応じるなど、子育て家庭の支援を行う。			各児童館で英語教室や囲碁教室、親子3B体操の実施など、児童や乳幼児親子が参加できるプログラムを行っており、子ども達にも楽しんでもらっています。 新型コロナウイルス感染が長期化する中でありますが、基本的な感染防止対策を講じ、児童等の受け入れを再開しました。 イベントについては、ほとんどの事業の実施を自粛しております。	
指標に係る評価					
事業費	13,568千円	活動指標	開館日数	達成率	新型コロナウイルス感染が長期化する中でありますが、基本的な感染防止対策を講じ、児童等の受け入れを再開しました。
			目標	A	
			実績		
			単位		日
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	利用者数	達成率	新型コロナウイルス感染が長期化する中でありますが、基本的な感染防止対策を講じ、児童等の受け入れを再開しました。 イベントについては、ほとんどの事業の実施を自粛しております。
			目標	A	
			実績		
			単位		人

No.119	事務事業名	放課後子ども教室事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	地域の方々にスタッフとして協力していただき、子どもたちを対象とした学習や様々な体験・交流活動を行い、地域社会全体の教育力の向上を図るとともに、子どもたちの健全な育成を推進する。			概ね月2回程度の実施をしている。放課後子ども教室、児童館と合わせて今後も児童の放課後の安全な居場所として現状維持での実施を行いたい。	
指標に係る評価					
事業費	1,868千円	活動指標	登録率	達成率	新型コロナの影響のため活動を控えていたが、7月より各地区の活動を再開することができた。登録率については、コロナや再開時期の影響と思われるが以前と比べ減少した。また、スタッフ数は毎年の課題ではあるが不足が続いている。今後も児童への活動周知とスタッフの募集を強化していきたい。
			目標	B	
			実績		
			単位		%
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	延べ参加者数	達成率	目標値を達成することができた。
			目標	A	
			実績		
			単位		人

事業評価結果(評価No.1~203)

No.120	事務事業名	保育園施設整備事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	北杜市立保育園整備計画に基づく、保育園の施設整備を行う。 令和4年度は小淵沢保育園建設工事に伴う道路復旧工事の実施。また、白州保育園・西部こども園の大規模改修に係る設計業務委託を実施。				施設整備については、北杜市立保育園整備計画に基づき、地域の方、保護者などの意見を反映させながら、施設整備を進めていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	2,783千円	活動指標	施設整備取組み数		達成率	整備計画に基づき白州保育園・西部こども園の大規模改修に取り組んでいます。 令和4年度については、小淵沢保育園建設工事に伴う道路復旧工事を行いました。また、白州保育園・西部こども園の大規模改修に伴う設計業務委託業務を契約しました。	
			目標	1			A
			実績	1			
			単位	施設			
担当課	こども政策部こども保育課	成果指標	統合した小淵沢保育園の入園児数		達成率	小淵沢東保育園、小淵沢西保育園を統合し、小淵沢保育園を整備しました。小淵沢保育園の令和5年度入園児童数は91名です。	
			目標	150			A
			実績	96			
			単位	人			

No.121	事務事業名	保育実習生受入事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	実習生受入広報活動及び実習受入を行い、本市の魅力を伝える。				実習生が北杜市で保育士として働くことを目指せるよう、積極的な受け入れを行います。		
					指標に係る評価		
事業費	268千円	活動指標	実習生受入数(大学生)		達成率	コロナ禍ではあったが、積極的に実習生の受け入れを行いました。	
			目標				A
			実績	23			
			単位	人			
担当課	こども政策部こども保育課	成果指標	実習生のうち職員採用数(会計年度任用職員含む)		達成率	実習生の中には1年生も含まれていたため、職員採用には至りませんでした。	
			目標	1			B
			実績	0			
			単位	人			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.122	事務事業名	要保護児童対策地域協議会事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	①代表者会議 1回:R4.7.8 ②実務者会議 4回:R4.5.20、8.19、11.11 R5.2.13 ③個別ケース会議 14回:R4.6.7、6.23、6.27、7.8、7.20 7.25、8.3、10.5、10.20、11.22 12.9、12.12、12.19 R5.1.27			児童虐待等に関する情報を早期に収集し、関係機関で共有することができるため、初期段階での対応が可能となります。			
	指標に係る評価						
事業費	0千円	活動指標	代表者会議の開催		達成率	実務者会議、個別ケース会議を行い必要な対応ができています。	
			目標	1			A
			実績	1			
単位	回						
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	児童虐待相談件数		達成率	相談件数は全国的にも、当市においても増加傾向にありますが、適切な対応が取れています。	
			目標	22			A
			実績	22			
単位	件						

No.123	事務事業名	ほくとっこ誕生事業		評価に対する今後の方向性	⑨休廃止・終期設定		
事業内容	申請日(出生後5か月以上1年以内)まで北杜市の住民基本台帳に登録されている児1人につき10万円を支給する。			令和4年度から、経済的負担の軽減を図るため創設されました子育て応援金を支給し、移住定住の促進に努めます。			
	指標に係る評価						
事業費	10,159千円	活動指標	支給件数 目標出生数、実績は申請数。		達成率	令和4年4月1日以降の出生児は新事業へ移行したため、数値は令和4年3月31日までに生まれた対象児となります。	
			目標	100			A
			実績	100			
単位	件						
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	祝金支給者の定住率		達成率	直近年度末現在の支給者に対する転出件数を算出しました。若干ですが受給者が転出しており、この事業が確実に定住につながっているものではないと考えます。	
			目標	100			A
			実績	96			
単位	%						

No.124	事務事業名	交通安全対策乳幼児用補助装置購入補助金		評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	保護者からの申請により、チャイルドシート等の購入費用の2分の1(限度額2万円)を助成します。			チャイルドシート(乳幼児用補助装置)の装着義務は法定から19年が経過し、その趣旨や装着の重要性は広く周知され、初期の目的は十分に達成されていますが、市独自の子育て支援施策として継続していく。			
	指標に係る評価						
事業費	1,477千円	活動指標	助成件数		達成率	子育て支援施策の一つとして子育て世代の経済的負担の軽減に寄与しています。	
			目標	111			B
			実績	111			
単位	件						
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	満足度		達成率	経済的負担の軽減になり、満足しているとの声が多く聞かれました。	
			目標				B
			実績	100			
単位	%						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.125	事務事業名	ファミリーサポートセンター運営事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	地域において育児の援助を行いたい者(協力会員)と育児の援助を受けたい者(依頼会員)を組織化し、市がアドバイザーを設置し、連絡調整を行う中で、育児の援助を行います。 依頼会員:452人 協力会員:59人 両方会員:24人 その他:0人 計:535人 活動件数:1036件				核家族化等で利用者数は増加しているため、協力会員の更なる確保のために周知を行っていきます。 また、育児を支援することにより、子育てと仕事等の両立を図り、安心して子どもを産み育てることのできる社会づくりを推進していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	322千円	活動指標	活動件数		達成率	核家族化等で活動件数は増加しているため、必要な子育て支援事業であります。	
			目標	719			B
			実績	1,036			
			単位	件			
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	満足度		達成率	利用者から子どもの送迎等、とても助かっているとの声が聞かれました。	
			目標				B
			実績	100			
			単位	%			

No.126	事務事業名	ファミリーサポートセンター事業補助金			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	育児の援助を受けたい者(依頼会員)から育児の援助を行いたい者(協力会員)へ支払われる報酬の一部を補助します。 依頼会員:452人 協力会員:59人 両方会員:24人 その他:0人 計:535人 活動件数:1036件				核家族化等で利用者数は増加しているため、協力会員の更なる確保のために周知を行っていきます。 また、育児を支援することにより、子育てと仕事等の両立を図り、安心して子どもを産み育てることのできる社会づくりを推進していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	339千円	活動指標	補助金対象時間数		達成率	核家族化等で補助金対象時間が増加しているため、必要な子育て支援事業であります。	
			目標	2,050			B
			実績	1,735			
			単位	時間			
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	活動件数		達成率	核家族化等で活動件数は増加しているため、必要な子育て支援事業であります。	
			目標	719			B
			実績	1,036			
			単位	件			

No.127	事務事業名	利用者支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	子ども・子育て支援法に基づき、保護者等が子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、保護者等の相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を総合的に実施する。				利用者支援専門員2名が、子育て支援拠点や放課後児童クラブ等を訪問し、保護者や職員とコミュニケーションを図る中で虐待の早期発見や、専門相談員、保健師などへのつなぎを行っていく体制を維持していきます。また、より効果が見えるように、関係機関へつないだ件数を把握していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	6,961千円	活動指標	相談件数		達成率	乳幼児健診や妊娠出産包括支援事業、子育て支援拠点などを利用する保護者、産婦に訪問後のフォローも兼ね声かけを行ったことにより、昨年度と同様の相談件数になりました。	
			目標	911			A
			実績	911			
			単位	件			
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	関係機関につないだ件数		達成率	目標設定はふさわしくないため実績数とします。	
			目標	162			
			実績	162			
			単位	件			



事業評価結果(評価No.1~203)

No.128	事務事業名	子育て応援金支給事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	出生時(出生後、最初の住民登録が北杜市の者) 第1子 10万円、第2子 30万円、第3子以降 30万円  第3子以降 満3歳に達する年度 20万円 満7歳に達する年度 50万円 ※支給条件あり				令和4年度より開始した事業であり、目的を達成するため継続して行います。	
	指標に係る評価					
事業費	10,159千円	活動指標	子育て応援金支給件数		達成率	令和4年度から開始した事業のため、比較できる数値がありません。
			目標	152		
			実績	152		
			単位	件		
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	子育て応援金受給者の定住率		達成率	若干、受給者が転出しておりますが、転動等のやむを得ない事情がある方です。
			目標	100		
			実績	96		
			単位	%		

No.129	事務事業名	つどいの広場事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市内4カ所のつどいの広場において、子育てアドバイザーが子育て親子に、(1)子育て親子の遊びの場等の提供と交流の促進、(2)子育て等に関する相談、援助の実施、(3)地域の子育て関連情報の提供、(4)子育て及び子育て支援に関する講習等の実施などの事業を行います。				他の施策の充実や、少子化に伴い、利用者数は少ない状況ですが、乳幼児期には不可欠な事業であります。	
	指標に係る評価					
事業費	15,960千円	活動指標	つどいの広場利用者数		達成率	コロナ禍のため、予約制・組数を制限して運営を行い、11月より利用制限を大幅に緩和しました。緩和後、利用者数も増加しましたが、一部施設において利用者がいない日もあるため、つどいの広場のあり方を検討していく必要があります。
			目標	8,915		
			実績	7,370		
			単位	人		
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	満足度		達成率	コロナ禍での利用制限を徐々に緩和し、利用しやすくなったとの意見がありました。
			目標			
			実績	100		
			単位	%		

No.130	事務事業名	母子相談員事業			評価に対する今後の方向性	⑨休廃止・終期設定
事業内容	ひとり親家庭を対象に身上相談に応じ、その自立に必要な指導を行い、生活意欲の向上を図る。				母子父子相談事業の廃止に伴い、今後は子育て世代包括支援センターの総合相談窓口及び家庭児童相談室「おひさま」を活用しながら、母子家庭等の福祉の増進に努めていきます。	
	指標に係る評価					
事業費	42千円	活動指標	連絡会、研修会の実施		達成率	地域での母子家庭等の見守りが主な仕事でしたが、社会情勢等の変化により、該当世帯の把握が難しい状況となりました。そのため、令和4年9月末で事業を廃止。それまでの、数値となります。
			目標	1		
			実績	1		
			単位	回数		
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	個別相談件数		達成率	母子・父子自立支援員へのつなぎ役として、地域住民の身近に相談員がいることは意義がありますが、見守り的要素が強く、直接相談を受ける機会はありません。
			目標	24		
			実績	0		
			単位	件		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.131	事務事業名	マタニティカフェ事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	年12回開催。市内の妊婦及び夫が交流できる場とし、妊娠・出産・育児について学びながら仲間づくりを行っている。妊娠中や産後の生活を両親共に身近に感じられるよう、育児体験談の紹介や赤ちゃんだっこ体験、夫に対する妊婦疑似体験、絵本の読み聞かせなども実施する。				年間日程で開催日をお知らせしていることで、日程調整しやすくなり、夫婦での参加が増えてきています。決められた日程に参加できない場合は、助産師の相談日を利用して相談に来る妊婦も増えていきます。	指標に係る評価	
					指標に係る評価		
事業費	88千円	活動指標	教室の満足度		達成率	B	育児不安の高い初産婦や転入の妊婦が参加することで、妊娠経過や育児に対する不安を取り除いていくことの効果が高いと考えています。
			目標	100			
			実績	100			
			単位	%			
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	初産婦の参加率		達成率	B	妊娠5~6か月の妊婦には、体調の確認や教室の勧めを行っています。
			目標	50.0			
			実績	67.5			
			単位	%			

No.132	事務事業名	妊娠・出産包括支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	保健師・助産師が市保健センターに常駐し、母と子の相談室を設置し妊娠中やお産の悩み、母乳ケア、赤ちゃんの発育等の相談を行う。また、ベビーマッサージ教室などの教室を開催し、育児についての技術、関わり方等を学び、母親同士の交流の場とする。				教室や相談室に参加し、助産師・栄養士・保健師から正しい知識の提供をすることで、子育ての悩みや不安が解消され、また情報を共有することで仲間づくりにもなり、母親同士のつながりもできます。参加後の満足度は高く妊娠期や産後には必要な教室や相談の機会となっています。今後も各種教室を継続し開催していきます。	指標に係る評価	
					指標に係る評価		
事業費	10,841千円	活動指標	母と子の相談件数(延べ)		達成率	A	運営体制の充実に伴い参加者は年々増加しています。
			目標	508			
			実績	508			
			単位	件			
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	各種教室の参加数(延べ)		達成率	B	保健師の新生児訪問後、利用者支援専門員が乳児訪問を行い、状況の確認や各種教室への参加を促しています。出生数の減少に伴い、参加者は微減しています。
			目標	750			
			実績	459			
			単位	人			

No.133	事務事業名	親子すくすく相談事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	子どもの特性を保護者が知ることによって育児不安や言葉の発達に関して対応方法が理解できることで、子どもの発達を促し、子育てへの負担感が軽減するよう、言語聴覚士・公認心理師・保健師により個別相談を行う。				子どもの数は減少傾向にありますが、DMS5(精神疾患の診断と統計マニュアル)が2014年に改定をされ、吃音やゲーム依存などの幅広い疾患も含まれるようになっていきます。将来的に発達や精神的な障害につながりそうな心配を抱えている児に対して、幅広く支援ができる体制が必要になっています。そのため、現状の支援体制の維持が必要です。	指標に係る評価	
					指標に係る評価		
事業費	226千円	活動指標	教室参加者延べ人数		達成率	B	月一回、半日で行っている事業であることから、受け入れられる人数にも限界があるため、実績は横ばいの数字になります。発音の経過観察児については、10分枠の相談時間より短縮して受け入れることがあるので、1日の受け入れ定員数が固定していません。
			目標	112			
			実績	106			
			単位	人			
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	不安解消による満足度		達成率	B	保護者のニーズが多様化しています。言葉の発達という切り口で当事業に参加している方でも、精神面での発達支援も視野に入れた対象者がいます。その様な場合、保護者と支援者の当事業に対する目的の見方が違うこともあるため、100%の満足度を得ることは難しいです。
			目標	100			
			実績	92.2			
			単位	%			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.134	事務事業名	乳児全戸訪問事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	保健師等による家庭訪問を実施し、①乳児の身体計測、問診・観察、②母の育児に関する不安や悩みの相談、③母子保健事業や子育て支援に関するサービスの説明、④支援の必要な家庭には、提供するサービスの検討や関係機関との連絡調整を行います。				全数に対し早期に状態を確認することができています。また、ケースによっては保健師でなく助産師が訪問をすることもあり、状況に即して専門性を発揮した訪問をしようとしています。	
指標に係る評価						
事業費	44千円	活動指標	訪問件数	達成率	訪問対象者に対して実際に実施できた数値です。	
			目標	175		
			実績	175		
			単位	件	B	
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	訪問実施率	達成率	訪問が必要な対象者にはほぼ100%と実施することができています。	
			目標	100		
			実績	100		
			単位	%	B	

No.135	事務事業名	5歳児相談事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善
事業内容	保健師、栄養士、公認心理師、保育士で情報共有しながら問診、集団あそび、講話(食育、歯科、就学に向けて)、心理相談等を行い、就学に向けての方向性を見出すことを目的とする。				ネウボラ推進課の保健師数の減少に伴い、問診や児の行動の確認などに多くのマンパワーを必要とすることから、業務の効率化の検討が不可欠です。雇い上げ保健師の活用に人材コストは必要であります。	
指標に係る評価						
事業費	224千円	活動指標	事業実施状況の中の要観察者の割合	達成率	2005年に行われた調査では5歳児健診で発見された発達障がい児の頻度は9.6%でしたが、その半数が3歳児健診では発見できていませんでした。そこから、就学に向けて5歳児相談で幅広く観察し見守る必要があるため、一定の効果が出ていると考えています。	
			目標	30		
			実績	40.2		
			単位	%	A	
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	相談参加率	達成率	対象者を保育園ごとに分け、保育園と連携することで、相談者数の確保を図ることができ一定の効果がありました。	
			目標	100		
			実績	96.0		
			単位	%	B	

No.136	事務事業名	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	小児慢性特定疾患にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等が在宅で生活していくための日常生活用具を給付します。				日常生活に著しく支障のある小児慢性疾患児にとって日常生活用具は必要不可欠であるため、今後も国の要綱に基づき事業を行っていきます。	
指標に係る評価						
事業費	0千円	活動指標	周知回数	達成率	該当する児童がいた場合、福祉課と連携し制度の周知を行います。令和4年度、該当者はいませんでした。	
			目標	1		
			実績	0		
			単位	回	A	
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標		達成率	障害者手帳からの給付が優先されるため、成果指標(補助の実績)はありませんが、対象者がいた場合には必要な事業になります。	
			目標			
			実績			
			単位			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.137	事務事業名	農村地域新エネルギー利活用推進事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業により設置した太陽光発電設備を、誘致企業が利用しづらい農地法面に設置することにより土地の有効活用を行い、商用電源利用に比べ、低炭素社会実現のために活用が望まれる新エネルギー(太陽光発電)を使用し、地球温暖化防止に貢献を行う。			地域の環境負荷低減と施設の維持管理費負担の軽減が図られることから、今後も太陽光発電施設を維持していく必要があります。		
						指標に係る評価
事業費	20,853千円	活動指標	太陽光発電施設による発電量	達成率	恵まれた環境条件を有効に活用し、地域の環境負荷低減と農業の生産性向上が図られております。	
			目標	750,000		B
			実績	737,009		
単位	kwh					
担当課	産業観光部農業振興課	成果指標	維持管理費	達成率	売電収入により、農業施設の維持管理費が賄えており経費の削減となっております。	
			目標	34,700		B
			実績	20,853		
単位	千円					

No.138	事務事業名	北杜市農業振興公社委託事業		評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	地域の実情に合った農地の流動化や集団化を円滑に行い、農地の有効利用を推進する。優良農地確保のため、農地中間管理機構の事業を活用しながら、耕作放棄地の解消事業や面的集積を行い、市と県と連携し、圃場整備事業の推進、大規模野菜生産企業の参入推進を図る。また、新規就農者への営農・経営相談を行い人材確保にも努める。			高齢化や農家の減少による耕作放棄地化を防ぐため、新たな担い手の確保が課題となっております。しかしながら、新規に就農する場合には、営農計画以外にも住居、地域の方々との付き合い、農業経営等、就農するまでには多くのことが必要となります。今後、農業振興公社を窓口とし総合的な相談を行えるよう検討して参ります。		
						指標に係る評価
事業費	4,374千円	活動指標	農地中間管理事業	達成率	農地中間管理事業を活用し、優良農地の確保及び耕作放棄地の発生防止等を図ります。農業生産法人の高齢化・担い手不足が深刻化しているため、集積状況は停滞しています。	
			目標	100		B
			実績	174		
単位	ha					
担当課	産業観光部農業振興課	成果指標	農地の流動化	達成率	経営規模を拡大したい意欲ある農家や農業生産法人に対し、農地の流動化を進めたことにより効率的な生産及び安定的な経営が図られました。しかし、農家の高齢化が進み農業をリタイアする個々の農家が増加しています。	
			目標	250		A
			実績	265		
単位	ha					

事業評価結果(評価No.1~203)

No.139	事務事業名	観光PR事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	観光パンフレットの作成、観光誘客キャンペーン・観光イベント参加など、観光案内等を通して北杜市の魅力を発信し、観光客の誘客を図る。				情報発信は複合的に行っていくことにより効果がありますが、スマートホンの普及により多くの方がWEB、SNS等から情報収集をしている傾向にあり、今後益々傾向が強くなるが見込まれます。旅前、旅中、旅後と継続的なリーチができる情報発信へ重点を移行していきます。	
					指標に係る評価	
事業費	14,417千円	活動指標	観光キャンペーンの回数		達成率	A
			目標	8		
			実績	8		
単位	回					
担当課	産業観光部観光課	成果指標	パンフレット配布部数		達成率	B
			目標	50,000		
			実績	44,000		
単位	件					

No.140	事務事業名	観光地域おこし協力隊事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	隊員が市の観光関連団体(北杜市観光協会・清里観光振興会・北杜山守隊等)の事務や事業を支援しながら、地域住民との交流を深め、地域の活性化や情報発信など企画、活動をする。				地域課題の解決のため観光地域おこし協力隊には、積極的に地域に入り込み活動をしていただき、今後も、市は定住、定着に向けた支援を行っていきます。	
					指標に係る評価	
事業費	17,114千円	活動指標	地域おこし協力隊員数		達成率	B
			目標	5		
			実績	4		
単位	人					
担当課	産業観光部観光課	成果指標	協力隊終了後の定着者数		達成率	B
			目標	1		
			実績	1		
単位	人					

No.141	事務事業名	世界に誇る「水の山」北杜ブランド推進事業			評価に対する今後の方向性	⑦縮小・方法改善
事業内容	SNSを活用した情報発信、水の山webサイト更新など市内外に世界に誇る「水の山」北杜をPRする。				市民向けにシビックプライドの醸成に向けて、水の山プロジェクトパートナー企業と連携を図り、水の山に関連した「教育」をテーマに取り組みを推進します。	
					指標に係る評価	
事業費	4,210千円	活動指標	SNS投稿回数		達成率	A
			目標	24		
			実績	99		
単位	回					
担当課	産業観光部観光課	成果指標	水の山HP閲覧数		達成率	A
			目標	17,000		
			実績	22,467		
単位	件					

事業評価結果(評価No.1~203)

No.142	事務事業名	信玄公祭り出陣事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市民からの公募により、本市にゆかりのある「馬場美濃守信春」隊を編成し、市内で出陣式を行った後に、甲府市内で行われる信玄公祭りへ、甲州軍団の隊として行進する。隔年で実施をしている。				本事業に限らずSNSによる発信は低予算で広くPRができることから、今後も創意工夫し取り組んでいきます。	
指標に係る評価						
事業費	1,306千円	活動指標	北杜隊参加者数	達成率	海外への情報発信に繋がるよう市内在住のALTへの参加を呼び掛けたところ多くの参加があり、参加者自身のSNS等での情報発信に繋がっています。市のSNSにおいても、イベント前後での発信によりフォロワーの獲得に繋がっています。	
			目標	A		
			実績			
			単位		人	
担当課	産業観光部観光課	成果指標	SNS利用者数	達成率	全県あげてのイベントの中で、地方紙、雑誌等に北杜隊が取り上げられており、SNS以外の場面でも本市のPRが来ています。	
			目標	B		
			実績			
			単位		件	

No.143	事務事業名	甲武信ユネスコエコパーク推進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善
事業内容	甲武信ユネスコエコパーク推進協議会で自治体間の連携を図りつつ、市民の認知度を高め、環境保全を行っている団体の支援を行う。「北杜市甲武信ユネスコエコパーク地域連絡会」を設立し、自然環境や伝統文化を保全、利活用し、自然との共生を図り「魅力あるまちづくり」を目指す。				山林整備による景観の保全是観光資源としての魅力向上にもつながることから、財産区活動の支援は継続が必要です。	
指標に係る評価						
事業費	4,354千円	活動指標	支援する財産区数	達成率	財産区による山林整備活動に対する消耗品購入支援を行いました。	
			目標	B		
			実績			
			単位		団体	
担当課	産業観光部観光課	成果指標	活動回数	達成率	財産区による山林整備活動が実施されました。	
			目標	B		
			実績			
			単位		回	

No.144	事務事業名	ツーリズム推進事業			評価に対する今後の方向性	⑦縮小・方法改善
事業内容	令和4年度については、TNF連携事業による山の学校の開催、山情報に特化したHPの整備、サイクルツーリズムのためのモデルコース造成と雑誌掲載によるPR、市内美術館と宿泊施設を取りまとめた冊子の作成を行う。				山の学校については、参加者アンケートの結果から参加費、開催回数、内容などについて高い満足度を得ています。今後は、民間主体の運営へ移行するための経験が得られたため、業務委託による実施を検討します。	
指標に係る評価						
事業費	11,427千円	活動指標	山の学校の開催回数	達成率	6回の開催予定で年間計画をしたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により1回分が中止になっています。	
			目標	A		
			実績			
			単位		回	
担当課	産業観光部観光課	成果指標	山の学校延べ参加者数	達成率	年間プログラムの為、参加者側の都合がつかないケースがあります。	
			目標	B		
			実績			
			単位		人	

事業評価結果(評価No.1~203)

No.145	事務事業名	観光地活性化事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	令和4年度にあつては、清里地域の活性化及び持続的な発展に向けた取り組みを実施するため、将来の清里地域のあり方を検討する。				令和5年度は、清里地域活性化委員会による議論が進捗し事業が具体化する見込みであることから、清里観光振興会と連携し、新規事業の支援を行います。		
					指標に係る評価		
事業費	689千円	活動指標	委員会の開催		達成率	4回の委員会開催以外に、ワーキングを8回実施しています。	
			目標	3			B
			実績	4			
			単位	回			
担当課	産業観光部観光課	成果指標	住民主体による新規事業の開始		達成率	清里地域活性化に向けた計画について、年度内に委員会から市へ提言を行う予定でしたが、内容の整理には時間を要するため、翌年度も委員会及びワーキングを継続し、事業内容の具体化を進めます。	
			目標	1			/
			実績	0			
			単位	件			

No.146	事務事業名	観光事業者支援金支給事業			評価に対する今後の方向性	⑨休廃止・終期設定	
事業内容	本年4月から9月までのいずれかの月の売上が令和元年から3年の間の同月と比較して2割以上減少している事業者に支援金を支給する。 宿泊事業者 客室5部屋以上50万円、4部屋以下25万円 交通事業者 車両保有台数5台以上50万円、4台以下25万円 旅行事業者 従業者数3人以上50万円、2人以下25万円				国のコロナ対策交付金を活用した単年度事業のため、次年度以降は廃止する。		
					指標に係る評価		
事業費	69,333千円	活動指標	支給事業者数		達成率	当初予定した予算額、件数とも80%以上の執行率となっています。	
			目標	189			B
			実績	153			
			単位	社			
担当課	産業観光部観光課	成果指標	廃業件数		達成率	アンケート調査結果、昨年、一昨年と比較し、コロナ禍以前の入込客数には及ばないが回復しているとの回答もあったが、支援金事業を求める声は非常に多く、厳しい経営状況が伺えます。	
			目標	0			A
			実績	0			
			単位	社			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.147	事務事業名	北杜就労推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	○市内への就業希望者と市内企業のマッチングによる就職合同説明会や高校生企業説明会を開催。 ○テレワークや育児・子育てに応じた勤務など柔軟な働き方を希望する女性のためのセミナーを開催。 ○市内就労者に対する人材育成として、キャリアアップセミナーを開催。 ○起業を目指す方や、起業して間もない方を対象とした起業家交流会を開催。				就業希望者の支援及び市内企業の人材確保の支援は、就業希望者や企業からのニーズが高く、移住定住人口の確保及び地域経済の活性化を促進するためにも、必要な事業です。 また、様々な働き方やスキルアップの向上を求められる中、どのような支援が効果的であるか見極めながら、今後さらに充実した事業とするためにも、実施していく必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	3,483千円	活動指標	企業説明会の開催数		達成率	市内企業の魅力を高校生や就業希望者に向け発信することができました。常に人手不足に悩む業種もあり、就業希望者とマッチングを行うことで雇用に繋げることができました。	
			目標	3			B
			実績	3			
単位	回						
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	企業説明会採用内定者数		達成率	企業の人手不足の解消と就業希望者の就職に繋がる雇用の支援として、充実した事業となりました。	
			目標	15			B
			実績	6			
単位	人						

No.148	事務事業名	教育ファーム事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	生産者の指導を受けながら、野菜・大豆の栽培から収穫までの作業及び加工を行う。 ○小学生教育ファーム:すがたをかえる大豆づくり(原っぱ教育連携事業) ○保育園教育ファーム:市立保育園内の畑等で地元の農家の指導により野菜づくりなどを行う。				本事業は10年を迎えているが、市の特色ある食育の取組の一つであり、今後、教育ファームを経験した子ども達が親世代になることで、家庭でも食育の推進が図られ更なる事業効果が高まることも期待できるため、今後も継続して事業を実施していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	1,702千円	活動指標	小学校教育ファーム(大豆づくり)実施校数		達成率	すべての市立保育園、小学校において事業を実施することができました。	
			目標	9			A
			実績	9			
単位	校						
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	小学校教育ファーム(大豆づくり)参加人数		達成率	該当となる保育園児(年長児)、小学生(3年生)全員が参加し、事業を実施しました。	
			目標	309			A
			実績	286			
単位	人						

No.149	事務事業名	ハヶ岳定住自立圏農林産物販売連携会議			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	圏域市町村の担当者で構成する連携会議を開催し、特産品情報の共有・発信や食のイベントの共同開催などを検討し、相互連携を深める。				圏域内の市町村が連携する中で効果的な事業を展開していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	0千円	活動指標	連携会議開催数		達成率	連携会議を開催した。	
			目標	1			A
			実績	1			
単位	回						
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	連携会議開催数		達成率	連携会議を行った。	
			目標	1			A
			実績	1			
単位	回						



事業評価結果(評価No.1~203)

No.150	事務事業名	北の杜フードバレープロジェクト事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続												
事業内容	○市内の「食」と「農」に携わる関係者による横断的な地域運営ネットワーク(協働体制)を構築することにより、販路の拡大や新産業の創出、都市と農村の交流促進等、新しい事業展開への取組を市全体で推進していく。 ○地域再生計画の認定により事業費は、地方創生応援税制を活用して実施する。			更に効果的な取組内容を取り入れる中で事業を実施していきます。													
指標に係る評価																	
事業費	2,500千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>参加会員数</td> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>191</td> <td rowspan="3">A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>名</td> </tr> </table>	参加会員数		達成率		目標	191	A		実績	194	単位	名	効果的な取組を実施するため、フードバレー協議会において中心となる委員数名で運営委員会を組織し、毎月会議を開催しています。	
参加会員数		達成率															
目標	191	A															
実績	194																
単位	名																
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>農業産出額</td> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>428</td> <td rowspan="3">A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>701</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>千万円</td> </tr> </table>	農業産出額		達成率		目標	428	A		実績	701	単位	千万円	本事業の取組も一助となり、本市で生産された農産物の販路拡大につながっており、目標を上回る産出額となっています。	
農業産出額		達成率															
目標	428	A															
実績	701																
単位	千万円																

No.151	事務事業名	大豆・そば普及促進事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続												
事業内容	商品開発に迎えたワークショップ 6回開催 販売会 8回 ECサイト運営 ふるさと納税返礼品への出品  地元産のそばを使ったドレッシングの開発 地元産のそば粉を使ったレシピの開発 3事業者			商品数は増えたが、適切な価格であるか、材料の見直しが必要ではないか、とそれぞれの商品のブラッシュアップをする必要があります。ふるさと納税返礼品、ECサイトでの販売にもさらに力を入れて行きます。また、市内での販売会が予想以上の反響があったため、市内での販売会を続けて行き、より多くの市民の方に地域食材の魅力を広めて行きます。													
指標に係る評価																	
事業費	1,513千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>ワークショップの開催数</td> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>6</td> <td rowspan="3">A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>回</td> </tr> </table>	ワークショップの開催数		達成率		目標	6	A		実績	6	単位	回	ワークショップを通して、高校生と市内事業者による共同商品開発を実施し、地域資源の再発見や、地域の素晴らしさを再認識できました。北杜市への郷土愛が育まれ、若者の定住及びUターンが増加が見込まれます。	
ワークショップの開催数		達成率															
目標	6	A															
実績	6																
単位	回																
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>商品開発参加事業者数</td> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>5</td> <td rowspan="3">A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>事業者</td> </tr> </table>	商品開発参加事業者数		達成率		目標	5	A		実績	6	単位	事業者	高校生のアイデアを取り入れたことにより、新たな商品開発を実現できました。次世代の若者へ、稼ぐ力、地域資源や地域の魅力を伝えることで、市外進学や就職した者がやがて北杜市へ戻ってくるきっかけづくりになります。	
商品開発参加事業者数		達成率															
目標	5	A															
実績	6																
単位	事業者																

No.152	事務事業名	世界に誇るワイン産地化推進事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実												
事業内容	ワインの魅力と可能性について講演会を行い、ワイン県副知事の田崎真也様に講演をいただき、市内外の人に対し市を訪れ、市産ワインについて知っていただく機会の創出をする。			市内のワイン醸造者が協働することにより、ワインの産地として広く周知します。 今後ワインに限らず北杜の酒事業として事業を進めます。													
指標に係る評価																	
事業費	751千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>ワイン協議会を立ち上げ協賛ワイナリーを募集する</td> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>5</td> <td rowspan="3">A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>団体</td> </tr> </table>	ワイン協議会を立ち上げ協賛ワイナリーを募集する		達成率		目標	5	A		実績	7	単位	団体	近年、多くのワイン醸造者が市内でワイン作りを行っている。市産のワインを国内外に広く発信することで、ワインの産地化の取組みを推進し、市の知名度アップ、生産者の所得向上が見込まれる。ワイン協議会を設立することにより、多くの醸造者の意見を反映し、市の施策と協働することが可能に体制づくりを構築しました。	
ワイン協議会を立ち上げ協賛ワイナリーを募集する		達成率															
目標	5	A															
実績	7																
単位	団体																
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>ワイン講演会でのワイナリーの紹介ブース設置数</td> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>4</td> <td rowspan="3">A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>事業者</td> </tr> </table>	ワイン講演会でのワイナリーの紹介ブース設置数		達成率		目標	4	A		実績	4	単位	事業者	ワインに関心のある市内外の方に向け、講演会の休憩時間にワイン協議会から、ワインの紹介ブースを4事業者が設置し、後日発送の予約販売を行いました。	
ワイン講演会でのワイナリーの紹介ブース設置数		達成率															
目標	4	A															
実績	4																
単位	事業者																

事業評価結果(評価No.1~203)

No.153	事務事業名	オーガニックビレッジ事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産技術向上に向けた講習会の実施(農業者対象)</li> <li>有機農業により生産された農作物の商談会の実施</li> <li>有機農業プロモーション動画制作業務委託</li> <li>有機農業プロモーション動画広告業務委託</li> <li>有機農業推進食育用冊子制作業務委託</li> <li>有機農業により生産された農作物の学校給食への導入拡大</li> </ul>				有機農業のPR動画の作成と放映を行いました。事業初年度という事もあり、設置店舗数はクリアできました。今後も北杜市の有機農業により生産された農作物の販路拡大のため、PR事業を実施していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	12,740千円	活動指標	プロモーション動画放映店舗数		達成率	事業初年度という事もあり、周知・PRの取組みを行いました。	
			目標	5			A
			実績	6			
単位	店舗						
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	有機農業に取り組む農業者数		達成率	有機農業に取り組む農家経営体が微増しました。	
			目標	66			A
			実績	68			
単位	経営体						

No.154	事務事業名	地産地消関連施設整備事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅こぶちさわトイレ増築工事(設計・工事監理・工事)</li> <li>須玉町おいしい学校空調改修工事(工事監理・工事)</li> <li>おいしい市場看板(工事)</li> </ul>				引き続き、計画的に整備を進めていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	41,459千円	活動指標	施設整備数		達成率	施設からの要望に基づき、計画的に施設整備を実施しています。	
			目標	3			A
			実績	3			
単位	施設						
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	/		達成率	コロナの影響はありますが、施設整備により利用者の利便性の向上が図られ、施設利用者が安定しています。	
			目標				A
			実績				
単位							

事業評価結果(評価No.1~203)

No.155	事務事業名	有害鳥獣捕獲活動支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	野生鳥獣による農林産物及び人畜等への被害防止を図るため、野生鳥獣の捕獲等を行う猟友会に対し、有害鳥獣捕獲報償金、有害鳥獣捕獲活動等支援交付金を交付する。				猟友会の活動は、野生鳥獣による市内の農林産物、人畜等の被害軽減につながっています。今後も継続して活動を支援していきます。	
指標に係る評価						
事業費	3,929千円	活動指標	達成率			
		目標				
		実績				
		単位				
担当課	産業観光部林政課	成果指標	達成率			
		農業被害額(シカ・イノシシ・サル)				
		目標	21,707			
		実績	21,401	A		
		単位	千円			
農業被害の面積、被害額ともに減少しており、取り組みの成果が表れています。						

No.156	事務事業名	北の杜づくり講座開催事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	森林が果たす役割や森林の育成等について学ぶ講座やフィールドワークなど体験型の講座を開催する。				魅力ある企画を考えるなど、参加者を増やせるようさらに検討する必要があります。	
指標に係る評価						
事業費	140千円	活動指標	達成率			
		講座参加者数				
		目標	20			
		実績	15	B		
		単位	人			
担当課	産業観光部林政課	成果指標	達成率			
		目標				
		実績				
		単位				
当日のキャンセル等により予定参加者を迎えることが出来ませんでした。						

No.157	事務事業名	北杜産材活用促進事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	○市内の間伐木材等を活用し、市内木工作家が地域の自然や文化などをモチーフに制作した木のおもちゃを誕生祝品として贈呈することで、木に触れその温もりや良さを感じられる機会を創設する。 ○間伐材を使ったはし作りや森の間伐体験などを通じて、将来を担う子供たちに木の良さ、木材を使う大切さ、森の重要性を学ぶ機会を創設する。				引き続き間伐材を使ったはし作りや森の間伐体験などを通じて、将来を担う子供たちに木の良さ、木材を使う大切さ、森の重要性を学ぶ機会を創設する。今後木製玩具を新生児に贈呈し、木に触れその温もりや良さを感じられる機会を創設する。	
指標に係る評価						
事業費	3,045千円	活動指標	達成率			
		目標				
		実績				
		単位				
担当課	産業観光部林政課	成果指標	達成率			
		体験事業参加人数				
		目標	40			
		実績	60	A		
		単位	人			
参加型イベントについては、予定参加人数を大幅に超えたことから、イベントを追加で実施しました。木製玩具については、予定数量を作成することが出来ました。						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.158	事務事業名	空き家等対策事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	北杜市空き家等対策推進計画に基づき、空き家等の所有者に対して適切な管理について周知及び啓発を行った。				空き家対策の推進に関する特措法、北杜市空き家対策の推進に関する条例により、必要な調査・措置・施策を講じていく。 空き家は増加傾向であるので、適切な台帳管理を行い、活用できる空き家情報の整備を行っていく。		
指標に係る評価							
事業費	1,031千円	活動指標	苦情に対する対応割合	達成率	市民からの情報により、空き家の実態調査を行い、状況により所有者等に通知を行い、今後の管理について意向を確認する調査を行った。また、空き家等台帳に登録されている所有者等に対しても通知を行い、今後の管理について意向を確認する調査を行った。		
			目標	100			A
			実績	100			
			単位	%			
担当課	建設部まちづくり推進課	成果指標	県マニュアルにおけるDランクに該当する空き家の解消件数	達成率	相続登記が完了していない案件が多く、通知を送るべき所有者等を特定する作業に時間が費やされるので、効率的に所有者等を特定できる手法を検討が必要です。		
			目標	14			A
			実績	3			
			単位	件			

No.159	事務事業名	景観計画推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	山岳・眺望景観の形成、自然景観の形成、里山・農村景観の形成、歴史・文化的景観の形成、観光リゾート地域の景観形成、暮らしの景観の形成等の良好な景観形成を推進するため、一定のルールを定め、建築物及び工作物等の新築等の行為を規制・誘導する。				平成28年2月に北杜市景観計画を変更、平成28年6月1日から北杜市景観条例を一部改正したことから、10キロワット以上の太陽光発電設備(建築物へ設置するものは除く)を届出対象行為として追加し、太陽光発電設備の新設時には景観形成基準を遵守するよう指導を行い、今後も届出・指導を継続していきます。さらに太陽光発電設備の設置に対しては、より自然環境・生活環境との調和を図ることが求められていることから令和元年10月に条例を施行し、景観条例とあわせて指導を行っていきます。		
指標に係る評価							
事業費	44千円	活動指標	景観区域内行為届出件数(全数)	達成率	景観区域内建築物及び工作物等の新築等の届出審査及び景観区域内事業用太陽光発電施設(建築物への設置を除く)の新築等(変更込み)の届出に対する審査件数を指標としており、令和4年度は前年から微減となっているものの概ね例年並みの届出件数であると考えています。		
			目標	251			A
			実績	251			
			単位	件			
担当課	建設部まちづくり推進課	成果指標	景観区域内行為届出に対する適合通知件数(全数)	達成率	目的を達成するためには景観形成基準を満たすことが求められることから指標としており、適合するよう指導を行いました。		
			目標	251			A
			実績	251			
			単位	件			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.160	事務事業名	市営住宅維持管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続										
事業内容	市営住宅の維持管理を適正かつ合理的に実施するため次の事務を行う。①計画的に修繕、環境整備をして居住の安定を図る。②空室の状況をHPに掲載して入居率の向上に努める。③住宅使用料の滞納者への取組を更に強化し収納率の向上に努める。④収入申告を適切に実施し、家賃を適正に設定する。収入超過者、高額所得者への対応を適切に行う。				入居率は昨年度と同様であり、住宅困窮者を救うセーフティネットの役割である公営住宅を縮小させるべきではないため、事業を現状維持としています。また、コストについても日常的に発生する修繕があるため現状維持となります。											
指標に係る評価																
事業費	172,914千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">公営住宅入居戸数</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>553</td> <td rowspan="3">B</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>戸</td> </tr> </table>	公営住宅入居戸数		達成率	目標	553	B	実績	530	単位	戸	窓口でのわかりやすい案内に努めたことや市広報紙への募集案内を通年を通し掲載するなど入居希望者の目に留まりやすい周知方法を実施しました。また、計画的な修繕を行い入居率の向上に努めました。		
公営住宅入居戸数		達成率														
目標	553	B														
実績	530															
単位	戸															
担当課	建設部住宅課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">政策空き家戸数</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>225</td> <td rowspan="3">B</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>戸</td> </tr> </table>	政策空き家戸数		達成率	目標	225	B	実績	225	単位	戸	市営住宅の維持管理を計画的に実施し、廃止計画の住宅に退去があった場合は政策空家として管理しています。		
政策空き家戸数		達成率														
目標	225	B														
実績	225															
単位	戸															

No.161	事務事業名	移住促進お試し住宅事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実										
事業内容	定住促進を図るため、移住希望者に、お試し住宅として市営住宅を短期間使用できるように提供する				R5からふるさと納税課の所管事業となる。移住定住の専門部署が事業をすることにより、事業の促進に繋がると考える。											
指標に係る評価																
事業費	163千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">利用件数(延べ)</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>24</td> <td rowspan="3">B</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>世帯</td> </tr> </table>	利用件数(延べ)		達成率	目標	24	B	実績	20	単位	世帯	新型コロナの影響がないH28~R1までの平均件数は48件でした。今年度は、新型コロナ対策のため、住宅利用後から次に住宅を利用するまで4日間の空室期間を設けました。そのことにより利用可能日数が半減するため、24件を目標としました。予約後の取り下げ等により目標を若干下回り20件となったため、活動指標はB判定としました。		
利用件数(延べ)		達成率														
目標	24	B														
実績	20															
単位	世帯															
担当課	建設部住宅課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">お試し住宅を利用した方の累計移住世帯数(事業開始以降の累計世帯数)</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>52</td> <td rowspan="3">B</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>世帯</td> </tr> </table>	お試し住宅を利用した方の累計移住世帯数(事業開始以降の累計世帯数)		達成率	目標	52	B	実績	52	単位	世帯	新型コロナ5類へ移行により、次年度以降の成果が期待されます。		
お試し住宅を利用した方の累計移住世帯数(事業開始以降の累計世帯数)		達成率														
目標	52	B														
実績	52															
単位	世帯															

No.162	事務事業名	木造住宅耐震化支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続										
事業内容	建築基準法(耐震関係)が改正された昭和56年5月31日以前に着工され、所有者が居住している木造在来軸組工法の住宅を対象に耐震診断を実施する。				国庫支出金を確保し、耐震診断の受診率向上を図ります。											
指標に係る評価																
事業費	230千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">広報、HP等</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>1</td> <td rowspan="3">A</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>掲載</td> </tr> </table>	広報、HP等		達成率	目標	1	A	実績	1	単位	掲載	広報、HP等を活用した周知ができました。		
広報、HP等		達成率														
目標	1	A														
実績	1															
単位	掲載															
担当課	建設部住宅課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">耐震診断事業</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>5</td> <td rowspan="3">A</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>戸</td> </tr> </table>	耐震診断事業		達成率	目標	5	A	実績	5	単位	戸	耐震診断の実施により、建築物の評価ができました。		
耐震診断事業		達成率														
目標	5	A														
実績	5															
単位	戸															

事業評価結果(評価No.1~203)

No.163	事務事業名	木造住宅耐震化支援事業費補助金			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	建築基準法(耐震関係)が改正された昭和56年5月31日以前に着工され、所有者が居住している木造在来軸組工法の住宅に対し、補助対象経費の一部を補助する。				耐震改修の改修率向上を図ります。	指標に係る評価
					指標に係る評価	
事業費	2,000千円	活動指標	広報、ホームページ等		達成率	広報、ホームページ等を活用した周知ができました。
			目標	1	A	
			実績	1		
			単位			
担当課	建設部住宅課	成果指標	耐震設計		達成率	耐震改修の実施により、建築物の耐震化が概ね図られました。
			目標	4	B	
			実績	2		
			単位	戸		

No.164	事務事業名	建築物耐震化促進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	建築物の耐震改修の促進に関する法律第7条第3項に規定する通行障害既存耐震不適合建築物に対し、耐震診断の補助対象経費(限度額)の5/6以内の額及び耐震設計の補助対象経費(限度額)の2/3以内の額を補助する。				今後も継続的に通知や個別訪問で事業の必要性を説明し、所有者の理解を得ます。	指標に係る評価
					指標に係る評価	
事業費	2,398千円	活動指標	通知、訪問等		達成率	通知の発送や個別訪問により事業の必要性を説明し、理解を求めました。
			目標	1	A	
			実績	1		
			単位	件		
担当課	建設部住宅課	成果指標	耐震診断		達成率	事業の必要性を説明した結果、耐震診断を実施しました。
			目標	1	A	
			実績	1		
			単位	戸		

No.165	事務事業名	市営住宅等改修事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	建物の劣化状況に応じた改修を行い、長寿命化及び居住環境の向上を図る。				北社市公営住宅等総合活用計画・長寿命化計画に基づく整備順位により、個別改修等を順次行います。	指標に係る評価
					指標に係る評価	
事業費	33,154千円	活動指標	市営住宅改修		達成率	改修により建物の長寿命化及び居住環境の向上が図られました。(武川団地1棟)
			目標	1	A	
			実績	1		
			単位	棟		
担当課	建設部住宅課	成果指標	市営住宅改修		達成率	改修により建替費用が削減され、住宅の長寿命化が図られました。
			目標	1	A	
			実績	1		
			単位	棟		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.166	事務事業名	市営住宅解体事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	入居者が移転又は退去後に用途廃止の手続きを行い、市営住宅の解体を実施する。				北社市公営住宅等総合活用計画・長寿命化計画に基づき、市営住宅の解体事業を実施するとともに、持続的な執行が可能となるよう事業費の平準化を図ります。	
					指標に係る評価	
事業費	13,290千円	活動指標	市営住宅解体		達成率	耐用年数を経過した市営住宅を解体しました。
			目標	5	A	
			実績	5		
			単位	戸		
担当課	建設部住宅課	成果指標	市営住宅解体		達成率	解体により耐用年限を経過した市営住宅の倒壊等の危険性が解消され、普通財産等への活用転換が促進されました。
			目標	5	A	
			実績	5		
			単位	戸		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.167	事務事業名	市道管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	道路管理システムを有効に利用し、適正な市道の維持補修や改良を実施し、道路施設の瑕疵による交通事故の防止に努めながら、通行の安全確保を図る。				北杜市道の全路線において、道路瑕疵による損害賠償に備えるとともに、損害賠償事故発生件数の減少を目指し、市道の維持管理を行う。		
					指標に係る評価		
事業費	849千円	活動指標	道路管理賠償責任保険		達成率	市道全線について、道路管理賠償責任保険に加入している。	
			目標	1,083			A
			実績	1,083			
単位	km						
担当課	建設部道路河川課	成果指標	道路瑕疵による保険適用数		達成率	道路瑕疵による損害賠償件数を5件以内を目標としていたが、実績が5件(交渉中2件含む)となった。	
			目標	5			B
			実績	5			
単位	件						

No.168	事務事業名	主要市道除雪作業委託事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	道路の積雪が10cmに達した場合、市委託業者による除雪作業を行う。				除雪の要望が増加する一方で、近年、除雪業務を請け負っていただける事業者が減少しています。物価や人件費の上昇に伴い、除雪作業単価も毎年上昇していることや、除雪に使用する機械への固定費の増加等が要因であり、県に準じた支給が要望されています。将来にわたり安定した除雪体制を確立するため、道路維持業務と除雪業務の一体発注等を検討する必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	54,549千円	活動指標	除雪作業業務委託件数		達成率	除雪委託を請け負っていただく事業者数が、前年度の67者から2者減少した。	
			目標	67			B
			実績	65			
単位	者						
担当課	建設部道路河川課	成果指標	除雪延長		達成率	10cm以上の降雪時には、迅速に除雪作業ができた。除雪作業等を迅速かつ適切に実施し、冬季間の道路交通機能が確保できた。	
			目標	1,000			A
			実績	1,492			
単位	km						

No.169	事務事業名	市道除雪事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>凍結防止剤の散布(各総合支所の職員が専用の機械を使用し、散布)</li> <li>地域等への凍結防止剤等の配布</li> <li>市道上黒澤・下黒澤線ロードヒーティング</li> </ul>				融雪剤の散布については、主に各支所が直営で行っておりますが、予防型の早期散布が求められているなか、支所機能の縮小は融雪剤散布の負担が大きくなっており、安定した融雪剤の散布体制を早急に検討、確保する必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	8,525千円	活動指標	融雪剤散布量		達成率	予防型の早期散布が求められているなか、要望に応えるべく、支所職員も尽力した。	
			目標	32,500			A
			実績	68,000			
単位	kg						
担当課	建設部道路河川課	成果指標	道路瑕疵(路面凍結等)による損害賠償保険適用数		達成率	/	
			目標	0			A
			実績	0			
単位	件						



事業評価結果(評価No.1~203)

No.170	事務事業名	市道維持管理事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路パトロール</li> <li>・街路灯の管理</li> <li>・市道の除草、側溝清掃、緊急修繕</li> <li>・危険木の撤去</li> <li>・原材料(砕石)支給</li> </ul>				各総合支所の配置人員も減少する中で、民間事業者への業務委託について、拡充を検討する必要がある。これに伴い、近年物価や人件費が上昇する中、コストも拡充する必要がある。	
					指標に係る評価	
事業費	13,094千円	活動指標	シルバー人材センター委託		達成率	予算内で調整し、道路管理維持管理業務を実施した。
			目標	626	A	
			実績	626		
単位	人					
担当課	建設部道路河川課	成果指標	道路瑕疵による保険適用数		達成率	道路瑕疵による損害賠償事故が年間5件発生(3件示談成立、2件交渉中)した。
			目標	5	B	
			実績	5		
単位	件					

No.171	事務事業名	市道補修事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路補修</li> <li>・区画線整備</li> <li>・交通安全対策</li> </ul>				各総合支所で早期の補修等を行うことにより、道路機能を確保し、道路交通の安全を図るよう努めます。	
					指標に係る評価	
事業費	71,789千円	活動指標	補修等箇所数		達成率	道路パトロールや市民からの情報提供、また要望等を受け緊急性・重要性を考慮し補修工事を行うことができました。
			目標	199	A	
			実績	199		
単位	箇所					
担当課	建設部道路河川課	成果指標			達成率	活動指標で補修等箇所数を成果としており、道路の安全を図るよう補修工事等を行いました。
			目標			
			実績			
単位						

No.172	事務事業名	市単道路新設改良事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	砂利道や幅員の狭い道路を拡幅改良・舗装・側溝整備等を実施することにより、安全な車両等の通行を確保する。				北杜市道路整備基本計画を基に、これまで行ってきた事業を参考とし、効率的な事業実施に努めます。	
					指標に係る評価	
事業費	174,177千円	活動指標	整備延長		達成率	北杜市道路整備基本計画に基づき、優先的に整備する路線の明確化を図り、整備を段階的に行いました。
			目標	637	A	
			実績	637		
単位	m					
担当課	建設部道路河川課	成果指標			達成率	活動指標で整備延長を成果の指標としており、限りある予算で整備を行いました。
			目標			
			実績			
単位						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.173	事務事業名	道整備交付金事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	地域住民や観光客の交通利便性の向上と交流人口の増加を図る。また、地域をつなぐ道路ネットワークを拡大するための道路整備を行う。				北社市道路整備基本計画を基に、これまで行ってきた事業を参考とし、関係機関との協議・検討を反映し効率的で合理的な事業実施に努めます。	
指標に係る評価						
事業費	134,052千円	活動指標	整備延長 目標 1,156 実績 1,156 単位 m	達成率 A	事業の優先度を精査し効率良く事業の執行を行い、補助金の確保のために県と調整を図りました。	
担当課	建設部道路河川課	成果指標	整備延長 目標 実績 単位	達成率	整備延長を成果の指標としており、利便性向上のための整備を行いました。	

No.174	事務事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(交安)			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	国の社会資本整備総合交付金(国庫補助率56%)を活用し、通学路等の整備を行う。				北社市道路整備基本計画を基に、これまで行ってきた事業を参考とし、関係機関との協議・検討を反映し効率的で合理的な事業実施に努めます。	
指標に係る評価						
事業費	19,818千円	活動指標	整備延長 目標 70 実績 58 単位 m	達成率 B	設計段階において改良の規模や工法の更なる精査を行い、コスト低減に努力するほか、補助金の要望額満額確保のため県道路整備課と調整を図りました。	
担当課	建設部道路河川課	成果指標	整備延長 目標 実績 単位	達成率	活動指標で整備延長を成果の指標としており、児童等が安全・安心に通行できるように歩道設置の整備を行いました。	

No.175	事務事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(修繕)			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	橋梁長寿命化修繕計画に位置付けている橋梁及び、トンネル・カルバート長寿命化修繕計画について、定期点検及び個別計画に基づいた予防保全的な修繕を行い、安全・安心な道路ネットワークを確保する。道路のり面についても、早期の修繕・補強を行う。				長寿命化修繕計画を基に、これまで行ってきた事業を参考とし、関係機関との協議・検討を行い、効率的・効果的な事業実施に努めます。道路のり面修繕・補強を実施することにより、本来の道路機能が維持でき、地域産業と市民生活の安全確保を図ります。	
指標に係る評価						
事業費	287,931千円	活動指標	橋梁点検 目標 121 実績 121 単位 件	達成率 A	有利な補助事業の活用や点検の充実を図り、コスト縮減や安全性・信頼性・耐震性・長寿命化に努めました。	
担当課	建設部道路河川課	成果指標	橋梁点検 目標 実績 単位	達成率	活動指標で点検及び修繕の件数を成果の指標としており、利用者が安全・安心に通行できるように事業を行いました。	

事業評価結果(評価No.1~203)

No.176	事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(改築)			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	地域住民や観光客の交通利便性の向上と交流人口の増加を図る。地域をつなぐ道路ネットワークを拡大する。				事業の優先度を精査し効率良く執行を行い、補助金の要望額満額確保のために県と調整を図りました。	
指標に係る評価						
事業費	329,167千円	活動指標	整備延長		達成率	A
			目標	87		
			実績	87		
			単位	m		
担当課	建設部道路河川課	成果指標	達成率		達成率	整備延長を成果の指標としており、観光道路の安全性向上のための道路整備を行いました。
			目標			
			実績			
			単位			

No.177	事務事業名	河川維持管理事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	○準用河川の河川整備(護岸改修等) ○準用河川の堆積土砂管理(土砂の撤去、樹木の伐採)				24の準用河川のうち、4河川5地点の浚渫・伐木工事を実施した。他の河川の危険箇所においても、順次浚渫・伐木工事を実施するとともに、準用河川設備の補修も実施する。	
指標に係る評価						
事業費	19,951千円	活動指標	準用河川補修工事件数		達成率	A
			目標	4		
			実績	4		
			単位	件		
担当課	建設部道路河川課	成果指標	被災件数		達成率	A
			目標	2		
			実績	0		
			単位	箇所		

事業評価結果(評価No.1~203)

No.178	事務事業名	小中学校情報化推進事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	新学習指導要領を踏まえた情報教育やICT活用の推進、校務の情報化等を図るため、電子黒板や無線LAN等を整備する。				国が推進しているGIGAスクール構想に基づく学校教育現場のICT化の目標水準に向けて、更なる整備を進めていく必要があります。その結果、1人1台端末の活用が校内で積極的に図られ、国が示すICTを活用した質の高い教育や、個別最適化した学びの実現が図られます。今後は、国が示すGIGAスクール構想の実現に向けて、校内LANの高速大容量化に向けた検討や1人1台端末の計画的な更新を進めるほか、ICT機器を効果的に活用できるよう教職員を対象とした操作研修会の開催や、各校にICT支援員を派遣し教職員のスキルアップに取り組んでいきます。	
指標に係る評価						
事業費	194,932千円	活動指標	タブレット型PC(延べ数) 目標 3,030 実績 3,030 単位 台	達成率	A	令和3年度に北杜市立小中学校教育情報化整備計画の見直しを行い、タブレット端末を含む各種情報機器等の向こう5年間の各年度における整備計画を策定し、令和4年度については、整備計画に基づく機器更新・再リースなどを行いました。また、令和5年4月からの公立小学校3年生への25人学級の拡大に対応するため、電子黒板1台を購入するとともに移設等の対応を行いました。
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標	無線LAN環境整備率 目標 100 実績 100 単位 %	達成率	A	平成29年、31年度と総務省の補助金を活用し、校内無線LAN整備を行いました。また、国が示すGIGAスクール構想に基づき、1GBに対応していない総合支所と各学校間のメディアコンバーターの取替工事を実施し、ひと通りの無線LAN整備を終えたところです。令和4年度は、1人1台端末を活用した質の高い教育及び個別最適化した学びの実現を図るため、通信環境を改善すべく無線LAN補完工事を発注しました。
No.179	事務事業名	ふるさと探検事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	夏期休業中に2回、小学校3年生から6年生までの児童を対象に、北杜ふるさと探検隊として、北杜市内の資源(ひと・もの・こと)を活用した場所へ行き、現地で学習を行う。				北杜市では、「不屈の精神と大志を持った人材の育成」を目標に、「夢を持ち、未来を切り拓く、心身ともにたくましい北杜の子ども」の育成を目指し、原っぱ教育に取り組んでいます。この原っぱ教育を推進する上で地域の資源(ひと・もの・こと)を活用した学習を進めていきます。また、「確かな学力の向上」と「特色ある教育の推進」は原っぱ教育を推進していく上で重要であることから、更なる「ひと・もの・こと」を重視した教育を行っていくため、「学習応援事業」と「ふるさと探検事業」を「はくと学応援事業」として一本化し、より一体的な事業展開を図ることとします。	
指標に係る評価						
事業費	26千円	活動指標	参加児童数 目標 93 実績 93 単位 人	達成率		令和4年度については、文化・歴史・施設コースに46人、自然・環境・科学コースに47人の参加申込があったものの、実施直前の新型コロナウイルス感染者の急拡大により中止しました。
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標	参加児童の満足度(楽しかったと感じた児童) 目標 / 実績 / 単位 %	達成率		
No.180	事務事業名	教育支援センター運営事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	子どもに寄り添いながら学習支援や体験活動を行うとともに、教育相談や訪問指導を通して、学校への登校不安を徐々に解消し、学校への復帰を支援する。				市内の不登校児童生徒の支援のために適応指導をする場として、また、保護者を対象とする相談業務、学校への指導・助言など総合的な教育支援の機能を持つ場として、今後も運営していく必要がある施設です。引き続き、市内小中学校との連携を密に図り、子供に寄り添いながら学習支援や体験活動等の適応指導を通して、より多くの利用児童生徒の学校復帰を目指していきます。	
指標に係る評価						
事業費	14,859千円	活動指標	設置数 目標 1 実績 1 単位 施設	達成率	A	様々な理由で学校に行けない小中学生のための「心の居場所」となり、家庭と学校の架け橋としての役割を果たすことを目的に平成31年4月に開設しました。不登校児童生徒の増加や当センターの認知度の上昇により、仮入室者も含め年々利用者が増加している状況にあります。
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標	出席児童・生徒数(延べ) 目標 / 実績 1,517 単位 人	達成率	C	一人一人に合った丁寧な指導を行い、多くの児童生徒が適応指導教室を利用しました。また、支援員や友達とのふれあいを通じて学校への登校不安が徐々に解消され、9人の児童生徒が再登校に繋がりました。なお、進路指導を通して、通室する中学3年生4名の高校への進学が決定しました。

事業評価結果(評価No.1~203)

No.181	事務事業名	いじめ等早期対応強化事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	いじめや不登校、虐待、貧困など、学校や日常生活における問題に直面する子供を支援するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置する。また、児童生徒の学校生活における適応や友人関係の形成などを学級ごとの調査により把握し、いじめの発生防止及び不登校となる可能性の高い児童生徒の早期発見を図るため、学校生活意識調査を実施する。				いじめや不登校を早期に発見し、早期の解決に向けて取り組んでいくことは、子供たちの快適な学校環境を保つためにも必要なことです。今後も学校生活意識調査の実施・分析により、いじめの発生防止や不登校となる可能性の高い児童生徒の早期発見に努めるほか、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる児童生徒、保護者へのカウンセリングや学校との情報交換、学校管理職や教職員へのコンサルテーションを行い、学校、家庭、子供たちに関わる全ての関係機関と協働しながら問題解決に当たっていきます。
指標に係る評価					
事業費	9,598千円	活動指標	学校生活意識調査件数(年2回)	達成率	全ての児童生徒を対象に学校生活意識調査を実施(年2回)するとともに、支援を必要とする児童生徒に対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣し、心理的要因と環境的要因の双方から働きかけを行い、問題解決に当たりました。また、いじめの早期対応として、児童生徒や保護者がいつでも相談できる「ほくとこども相談ホットライン」を開設し、スクールソーシャルワーカーによる電話相談を行いました。
			目標	5,177	
			実績	5,177	
			単位	人	A
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標	いじめの認知件数	達成率	30日以上長期欠席の理由は、病気、不登校、経済的理由など様々であるが、年々増加傾向にあります。また、いじめの認知件数については、些細なことであっても積極的にいじめを認知し、学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが連携しながら早期発見、早期解決に努めることが求められており、平成30年度以降、いじめの認知件数は増えていますが、そのほとんどが解決に至っています。
			目標		
			実績	686	
			単位	件	B

No.182	事務事業名	小中学校就学援助事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行う。				経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い、経済的に困窮している家庭の児童生徒であっても、安心・安定的に就学するためには必要不可欠な事業であり、今後も継続していきます。また、制度改正など国の動向を注視し、必要な制度の拡充を図り、児童生徒が適切に義務教育を受けることができるよう支援していきます。
指標に係る評価					
事業費	21,496千円	活動指標	児童生徒への周知	達成率	小中学校から児童生徒を通じて、全世帯の保護者に制度の周知を行いました。また、不登校など、学校からの周知が困難な家庭に対しては、教育支援センターの協力を得る中で、周知を行いました。
			目標	2,918	
			実績	2,918	
			単位	人	A
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標	要保護児童・生徒	達成率	学校教育法第19条に基づき、経済的に困窮している家庭に対して、児童生徒が安心・安定的に就学できるよう支援しました。また、1人1台端末の持ち帰り学習など新たな取組に対応するため、家庭でのオンライン通信費を支給対象に加え制度の拡充を図りました。
			目標	0	
			実績	0	
			単位	人	A

No.183	事務事業名	英語指導助手招致事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	外国語指導助手による中学校での英語授業の補助、及び小学校の新学習指導要領に基づく外国語活動の補助を行う。				市内小中学校の児童生徒に対して、外国語や外国文化に触れる機会を提供し、国際感覚の養成を図ることは重要です。また、小学校においては、令和2年度に英語教科化がされたことより、外国語指導助手の必要性が高まっています。令和2年度からの学習指導要領改訂に伴い、本市においては平成30年度から英語教科化の先行実施を行い、英語指導助手を2名増員し10名としました。また、英語教科化や外国語指導助手の増員に伴い、外国語教育コーディネーターを配置し、外国語教育の充実を図っています。以上のことから、コストと事業を維持継続しつつ、更なる成果の向上を図っていきます。
指標に係る評価					
事業費	49,255千円	活動指標	外国語指導助手招致人数	達成率	市内の全小中学校に外国語指導助手を配置しました。小学校では3~4年生の外国語活動(週1回)及び5~6年生の外国語科(週1回)の授業に指導助手として参画し、中学校では、各学年とも週4時間の英語授業のうち2時間を外国人指導助手との協働授業(Team Teaching)としています。
			目標	10	
			実績	10	
			単位	人	A
担当課	教育委員会教育総務課	成果指標	山梨県学力把握調査(中2英語)正答率	達成率	山梨県学力把握調査において、山梨県平均を上回る正答率があることから、英語学力が向上していると考えられます。
			目標	56.0	
			実績	64.0	
			単位	%	A

事業評価結果(評価No.1~203)

No.184	事務事業名	公民館分館活動補助金			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	公民館分館が行う公民館活動に対して、分館から報告された世帯数を基に、事業費の一部を補助する。				地域の分館活動は、生涯学習の推進や地域交流の観点からも重要で引き続きそうした活動を支援します。		
					指標に係る評価		
事業費	7,642千円	活動指標	事業数		達成率	各分館において地域住民の生涯学習事業を計画し、文化活動やスポーツを実施しました。なお、一部の分館では、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止や事業内容の変更をしました。	
			目標	700			B
			実績	515			
単位	件						
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	達成率		達成率		
			目標				
			実績				
			単位				

No.185	事務事業名	生涯学習推進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	北杜市内で行われる各種講座等やイベント等の案内、活動状況を報告するための情報誌「まなびの杜」を年2回発行する。 発行日程:9月(当該年度後期分)、3月(来年度前期分)				市民が生涯学習講座の情報を得る手段として、広報誌やまなびの杜情報誌から得ているため有効です。民間事業との連携などについて、今後検討が必要です。		
					指標に係る評価		
事業費	885千円	活動指標	生涯学習事業啓発情報誌発行部数		達成率	市民が生涯学習の場の情報を得る手段として事業を実施し、さらに、区長を通じて全戸配布を行ったことで、市民に生涯学習の場の情報提供ができました。	
			目標	34,000			A
			実績	34,000			
単位	部						
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	まなびの杜情報誌掲載講座参加者数		達成率	まなびの杜情報誌を市民配布や公共施設・民間施設に設置し、市民に学習機会の場の情報提供を行いました。各種事業の縮小や新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、参加者数は前年に比べて増加しています。	
			目標	19,000			A
			実績	19,860			
単位	人						

No.186	事務事業名	生涯学習講座開催事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	大学との連携事業や太鼓教室等の文化継承事業等の身近で楽しく学ぶことができる生涯学習事業を行う。 また、市民が自主的に企画、運営する自主企画講座を支援する。				市民のニーズに即した講座を関係機関や庁内の関係関係係部局と連携して開催します。また、市民が自主的に行う講座の支援を継続します。		
					指標に係る評価		
事業費	966千円	活動指標	学習講座開催事業数		達成率	市民の学習ニーズや年代・趣向に応じた講座や大学との連携による特色ある事業を企画しましたが、一部については新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。また、市民が自主的に企画・運営する講座に対する支援を行いました。	
			目標	40			B
			実績	24			
単位	回						
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	参加者数(延べ)		達成率	アンケート結果よりニーズを把握し、興味の多い講座を企画開催する必要があります。また、講座内容の周知方法を検討し、積極的な情報提供を行う必要があります。	
			目標	3,000			B
			実績	2,912			
単位	人						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.187	事務事業名	北杜ふれあい塾開催事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	東京藝術大学・山梨大学との官学連携や、県内出身、在住の著名な講師を招いた講演会、コンサート、ワークショップ等を開催する。 アンケート等により市民ニーズを把握して、学習講座を年間7~9回程度開催する。				生涯学習社会の構築を目指し、様々なテーマを連続して受講することにより、人との出会いと学ぶ楽しさを市民に実感してもらうため、さらに多くの方に受講生になってもらう必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	1,201千円	活動指標	講座開催数		達成率	アンケート結果等を参考に、社会教育委員と事業内容について計画し、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、計画どおり実施することが出来た。	
			目標	10			A
			実績	10			
単位	回						
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	年間受講生数		達成率	新型コロナウイルス感染症が終息されていない中ではあるが、参加者数が増加しました。	
			目標	130			A
			実績	147			
単位	人						

No.188	事務事業名	芸術文化スポーツ振興基金活用事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	芸術文化スポーツ振興基金を活用し、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした一流の芸術文化スポーツ振興事業を企画する。				市内では様々な民間団体が実施する特色ある一流の芸術文化事業が企画されており、そうした民間事業者と連携し、子どもから大人まで幅広い世代への芸術鑑賞事業を開催します。		
					指標に係る評価		
事業費	1,476千円	活動指標	協力金件数		達成率	コロナ禍で企業訪問の自粛を余儀なくされ、企業訪問等ができない状況にあつて、文書による依頼やこれまでの事業実績等をまとめた「芸術文化スポーツ振興協力金のお願ひ」を公共施設に配布し、基金の周知に努めました。	
			目標	5			A
			実績	5			
単位	件						
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	基金活用事業参加者数		達成率	市内の小中学生親子を対象としたフィールドバレー又、市内の小学4年生から高校3年生までの親子を対象としたハヶ岳薪能、小淵沢百傾織乱鑑賞事業を企画し、一流の芸術文化に触れる機会を創出するとともに、鑑賞事業をきっかけとした親子の交流の促進による家庭教育の観点からも効果が期待されています。	
			目標	452			A
			実績	452			
単位	人						

No.189	事務事業名	北杜市文化協会補助金			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	北杜市文化協会の活動の補助及び支援を行う。				会員の高齢化や会員数が減少している中で、協会の自立化に向けた検討を行う必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	3,782千円	活動指標	文化協会会員数		達成率	会員数の減少や高齢化が進んでいますが、文化祭の開催により交流の促進と学習成果の場の提供を行いました。	
			目標	2,000			B
			実績	1,767			
単位	人						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.190	事務事業名	芸術文化スポーツ振興基金活用事業補助金			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	市民のための芸術文化スポーツ振興事業を公募し、活用検討委員会により選定された有益な振興事業に対し、芸術文化スポーツ振興基金を活用し、補助金を交付する。				市内では、芸術文化・スポーツが活発に行われていることから、北杜市を芸術文化スポーツのまちとしてアピールするため、そうした活動を行う団体を積極的に支援します。	
					指標に係る評価	
事業費	2,704千円	活動指標	補助金交付件数		達成率	B
			目標	15		
			実績	12		
		単位	件			
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	達成率		達成率	B
			目標			
			実績			
		単位			市内で、一流の芸術文化スポーツの鑑賞機会を提供することが概ね出来た。	

No.191	事務事業名	芸術文化自主・共催事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	ホール運営検討委員会の意見等を反映させる中で、一流の芸術文化事業を展開する。芸術鑑賞機会の充実を図るため、民間や関係団体・機関等と連携し共催事業等を展開する。地域のアーティストや文化団体の発表の場を提供する。				多くの市民が芸術文化事業に触れられるよう多岐にわたる内容の事業を企画し、また、より集客力を上げるため市民のニーズの把握や事業の周知に努めています。	
					指標に係る評価	
事業費	12,132千円	活動指標	自主・共催事業実施回数		達成率	B
			目標	12		
			実績	12		
		単位	回			
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	入場者数		達成率	B
			目標	3,300		
			実績	3,650		
		単位	人		一定の世代に偏ることなく、子どもや若者世代にも受け入れられるイベントを行い、入場者の増加に努めました。	

No.192	事務事業名	ホール施設管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	専門業者による保守点検等を実施し、施設が安全に利用できるよう維持管理に努める。配置スタッフによる日常の設備点検や、操作確認を行い、利用者の安全確保に努める。利用者が利用する場合の設備等の操作方法を指導し、安全確保に努める。				各ホールの建物や舞台設備等において、修繕が必要な箇所を精査し、優先順位をつけた中で、施設の修繕を行います。	
					指標に係る評価	
事業費	81,552千円	活動指標	施設設備点検		達成率	B
			目標	56		
			実績	54		
		単位	回		各ホールの建物や舞台設備等において、保守点検を行い、優先すべき必要な修繕箇所を精査しました。保守点検での指摘事項や突発的な修繕しました。	
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	ホール施設利用数		達成率	B
			目標	35,000		
			実績	34,405		
		単位	人		新型コロナウイルスの影響で自粛されていた文化活動が再開されつつあり、ホール貸館に対しても前年度に比べて増加となりました。	



事業評価結果(評価No.1~203)

No.193	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	・北の杜ふるさとウォーキングや体力測定会、軽スポーツ教室等の実施 ・スポーツ推進委員の育成を目的とする各種研修会への参加				国のスポーツ基本計画では、スポーツ推進委員の資質向上が求められていることから、今後も継続して、実技研修会や講習会等に積極的に参加することが必要です。また、研修で得られた知識等に基づき、弾力的に事業内容を検討し実施することが必要です。			
指標に係る評価								
事業費	1,930千円	活動指標	各種研修会数 目標 15 実績 22 単位 回	達成率	A	市スポーツ推進委員協議会が主催する研修会以外に、山梨県、全国スポーツ推進委員協議会主催の研修会が多数開催されました。		
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	各種研修会等参加率 目標 80 実績 73 単位 %	達成率			B	様々な研修会に積極的に取り組みましたが、仕事や家庭等との調整がつかず、目標の参加率の達成には至らなかったものの、研修を通じてスポーツ推進委員の役割の確認や、地域スポーツに関する情報共有、関係団体等との連携が図られ、質の高い事業を実施することが出来ました。

No.194	事務事業名	生涯スポーツ推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	スポーツ関係団体等との連携により、地域の特性を活かした、各種スポーツイベント及びスポーツ教室を実施する。				各種教室のほとんどが定員に達しています。今後も一流のスポーツ選手を活用した教室の開催や地域の特性を活かした事業等を継続して実施していきます。			
指標に係る評価								
事業費	2,364千円	活動指標	各種スポーツ教室等の開催数 目標 20 実績 25 単位 回	達成率	A	一流のスポーツ選手を招いた教室等を開催することで、スポーツの楽しさや素晴らしさを知る機会を創出するとともに、市民が気軽に運動できる場を提供しています。		
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	各種スポーツ教室等への参加者数 目標 1,000 実績 956 単位 人	達成率			B	各種教室のほとんどが定員に達するなど、スポーツに対する関心が高まってきています。教室開催はこれまで経験のないスポーツに挑戦しようとする子供達にとっては、手軽に安心してスポーツを体験できる貴重な機会となっています。

事業評価結果(評価No.1~203)

No.195	事務事業名	学校給食管理事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善
事業内容	単独調理場1施設、給食センター3施設の適正な管理を行う。また、運営に必要な調理員を随時確保し、安全安心な給食を提供するための研修会等を開催することにより、衛生面における向上化を図る。				今後の方向性として、安全安心な給食の提供を継続的且つ円滑に行っていくため、給食施設の統合並びに調理員の業務委託を進めていきます。 また、調理員に対して、衛生的な面だけではなく、自身や周囲の安全を確保するための指導及び研修についても実施していきます。	
					指標に係る評価	
事業費	464,348千円	活動指標	給食施設数		達成率	B
			目標	4		
			実績	4		
単位	施設	市内給食4施設における厨房機器等の定期的な保守点検を行い、整備計画に基づいた機器の更新を計画的に実施しました。また、随時調理員の確保に努め、目標値の達成には至りませんでした。が、昨年度より2名増員し、実績値を向上させることが出来ました。				
担当課	教育委員会学校給食課	成果指標	食中毒件数		達成率	B
			目標	0		
			実績	0		
単位	件	調理員に対する衛生管理の研修会及び、ミーティング時における指導等を行ったため、調理場からの食中毒発生件数については0件となりましたが、調理現場での労務災害が1件発生しました。				

No.196	事務事業名	小中学校給食事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	給食を提供する上で、児童生徒に必要な栄養価やカロリーを確保し、安全安心な給食の提供を実施する。				安全・安心な給食の提供については、食材が安定的に供給されることが重要ですが、昨今における気候の変動及び物価の高騰は食材価格にも大きな影響を及ぼしています。 また、燃料の高騰、人手不足による人件費の高騰、配送料の高騰など、食材価格に転嫁される社会的要素が多数想定されますので、今後は国及び県の補助金や交付金等を積極的に活用し、安定的な給食事業の実施に努めていきます。	
					指標に係る評価	
事業費	171,029千円	活動指標	給食提供数		達成率	B
			目標	628,897		
			実績	574,725		
単位	食	給食提供数の目標値は児童生徒数を基に算出していますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学級閉鎖による影響等などにより、実績数は前年度を下回りました。				
担当課	教育委員会学校給食課	成果指標	一食あたりの単価(小学校)		達成率	B
			目標	263		
			実績	277		
単位	円	子育て支援を目的として1食あたり小学校23.05円・中学校41.07円を市が補助し、子供たちに必要な栄養価やカロリーを安定的に確保して、成長期にある児童生徒の発達に寄与しました。また、同じく子育て支援を目的とした給食費の無償化を実施し、保護者の経済支援を図りました。				

No.197	事務事業名	地産地消給食事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	地元農家や商店との連携を図るため、事前に綿密な打ち合わせ等を行い、年間スケジュールに沿った旬の野菜等を給食で提供するための体制を推進する。				学校給食物資取扱契約業者からの供給品目・提供期間・提供量等を調査し、栄養士との情報提供及び情報共有を図ることによって、地産地消率の向上化を図ります。また、併せて郷土食や献立内容に対する研究についても促進を図っていきます。なお、今後も学校給食感謝祭の定期的且つ継続的な開催に努めます。	
					指標に係る評価	
事業費	8,531千円	活動指標	地産地消対象数		達成率	A
			目標	10		
			実績	10		
単位	品目	主要野菜10品目について、地元産や有機食材を積極的に献立に取り入れました。 また、食育を推進するための学校給食感謝祭を市内小中学校にて実施しました。				
担当課	教育委員会学校給食課	成果指標	給食における地産地消率		達成率	B
			目標	49.3		
			実績	46.8		
単位	%	地産地消率は年々上昇していますが、令和4年度は市内における野菜が不作であったため、目標値の達成には至りませんでした。				

事業評価結果(評価No.1~203)

No.198	事務事業名	文化財活用推進事業			評価に対する今後の方向性	⑨休廃止・終期設定	
事業内容	史跡梅之木遺跡を核とした、外国人旅行者にも対応できる縄文文化体験プログラムを3種造成する。 3種とは 1. 縄文クラフト体験 2. 黒曜石交易体験 3. 縄文生活体験 であり、これらのプログラムを実施するための準備として縄文生活体験用品製作、英語話者縄文ガイド養成、外国人旅行者向けの体験プログラム音声ガイド制作、外国人旅行者向けに体験プログラムを改善するための海外旅行会社招聘、一般参加者を招待してのプログラム体験モニターツアー、電動アシスト4輪自転車製作を実施する。				縄文文化体験プログラム3種の造成に関わる各種委託業務は令和4年度に完了することから、今事業は廃止します。		
					指標に係る評価		
事業費	10,665千円	活動指標	業務委託の適正な執行		達成率	委託業務については予定どおり全て執行しました。	
			目標	6			A
			実績	6			
単位	件						
担当課	教育委員会学術課	成果指標	達成率		達成率		
			目標				
			実績				
			単位				

No.199	事務事業名	文化財保存事業費補助金			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	所有者等が行う保存修理事業、管理事業に対し、要綱に基づき補助金を交付し、文化財の保護・管理・継承を支援する。補助率は事業費の1/2以内。				指定文化財を適切に保存していくには継続的な管理はもとより、問題が発生した場合には早期の処置が必要です。これは文化財所有者に経済的な負担を強いるものであり、これが理由で処置が遅れる場合も想定されます。文化財所有者の経済的負担や不安を少しでも軽減し、必要な処置を講じてもらうためにもこの補助事業は必要です。		
					指標に係る評価		
事業費	1,343千円	活動指標	補助金交付件数		達成率	予算作成時に事業化されたものについては、コロナウィルスの影響で中止となった民俗行事に関する補助金以外は交付することができました。また、緊急対応として補助金を交付した案件が3件あり、文化財を管理するうえで問題となる前に対応することができました。	
			目標	10			A
			実績	8			
単位	件						
担当課	教育委員会学術課	成果指標	指定文化財管理に対する補助件数		達成率	天然記念物の病害虫の防除や樹勢の維持、枯枝の除去について緊急的に補助金を交付することで、文化財への被害が拡大する前に処置することができました。	
			目標	8			
			実績	6			
			単位	件			

No.200	事務事業名	資料館施設運営事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展の開催 年5回程度</li> <li>講座等の開催 年5回程度</li> <li>学芸員出前講座の開催 年20回程度</li> <li>学校団体の受入れ並びに学校への出張授業 年30回</li> </ul>				「飛び出せ！学芸員事業」については、利用が増加しており定着しつつあります。一方で来館者は、市民以外の交流人口が多くを占め、市民の利用が低調です。今後は地域公民館活動等との連携を進め、「飛び出せ！学芸員事業」を実施していくとともに、企画展を開催することで市民の来館者増に努め、「地域で市民に届く学芸活動」を展開します。		
					指標に係る評価		
事業費	2,958千円	活動指標	企画展開催数		達成率	企画展、講座を概ね計画どおりに開催しました。	
			目標	5			A
			実績	5			
単位	回						
担当課	教育委員会学術課	成果指標	施設見学者数		達成率	コロナによる行動制限が緩和されたことにより、各館来館者がもどりつつあり、考古資料館では大幅に来館者が増加しました。	
			目標	5,500			
			実績	7,587			
			単位	人			

事業評価結果(評価No.1~203)

No.201	事務事業名	浅川兄弟顕彰事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	・出版物の刊行 ・企画展の開催 ・読書感想文コンクールの開催				基金を活用しながら、今後も出版物などを活用し、浅川兄弟の功績を市民等に広く周知、顕彰していきます。	
					指標に係る評価	
事業費	1,647千円	活動指標	企画展等の開催		達成率	A
			目標	1		
			実績	1		
			単位	回		
予定通り企画展や読書感想文コンクールを開催することができました。						
担当課	教育委員会学術課	成果指標	浅川関係出版物販売数		達成率	A
			目標	100		
			実績	699		
			単位	冊		
浅川兄弟学習漫画の評判がよく、600冊以上の販売がありました。初めて開催した学習漫画の読書感想文コンクールへは小中学生から90点を超える作品の応募がありました。次世代を担う子どもたちへ兄弟の業績への理解を深めることができました。						

事業評価結果(評価No.1~203)

No.202	事務事業名	甲陵高等学校教育振興事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	甲陵高等学校の教材備品、消耗品、図書等を購入します。			引き続き所要の冊数を購入する。併せて利用者ニーズを把握することで、効果的な選定を行い、貸出数の向上を目指します。難関校受験に役立つ書籍を積極的に購入し、旧帝大合格者の増加を図ります。本校はスーパーサイエンスハイスクール指定校であることから、理数系の専門書を重点的に購入し、科学的資質の向上を図ります。最終的に全校生徒が毎月1冊、貸出を受けることを目標とします。(4,320冊/年)	指標に係る評価
事業費	497千円	活動指標	図書書籍の充実確保		
			目標	200	目標数200冊に対して304冊の書籍を新たに購入しました。
			実績	304	
			単位	冊	
担当課	教育委員会甲陵高等学校	成果指標	図書の年間貸出数	達成率	目標数2,500冊に対して2,556冊の貸出がありました。
			目標	2,500	
			実績	2,556	
			単位	冊	A

事業評価結果(評価No.1~203)

No.203	事務事業名	環境保全基金活用事業費(増富出張所)		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	・県立北杜高校のサッカー一部を中心とした生徒の協力のもと、地域住民等との協同での、増富地域内の道路・河川等の環境美化活動を行い環境保全を図る。 ・地元小学校の児童を対象として、増富地域の住民等を講師に迎え、地域内に生息する貴重な生物を発見・観察することにより自然の尊さを学んでもらう。			環境美化事業については、学校側と協議をしながら、継続していきます。 環境教育事業については、地元小学校の4年生の校外事業の一環であり、年間計画に含まれている。また振り返りとして子どもからの感想からも、当事業が環境保全について理解度の向上が繋がっている。		
				指標に係る評価		
事業費	180千円	活動指標	環境美化事業実施数	達成率	環境美化事業については、県立北杜高校サッカー一部を中心とした生徒により実施することができました。 環境教育事業については、地元住民の方を講師に迎え実施することができました。	
			目標	1		A
			実績	1		
			単位	回		
担当課	須玉支所増富出張所	成果指標	環境美化事業参加人数	達成率	地元住民の方を講師として、水田にてドジョウやタニシなど日頃目にしない希少生物の採取を行い、採取したドジョウなどは、学校へ持ち帰り水槽にて観察を続けるなど環境保全向上につながる事業となりました。 また、増富ラジウム温泉の湧水地にも行き、温泉を手に取りラジウムの効能などについて学んでもらうことができました。	
			目標	70		A
			実績	66		
			単位	人		